

# 順天堂大学医学部附属静岡病院年報

2020 年度版



#### 順天堂大学医学部附属静岡病院院長 佐藤浩一

2020 年度は新型コロナウイルス感染症が全世界的に流行し、日本そして当院の立地する 静岡県東部でも猛威を振るいました。日常診療に加えて新型コロナウイルス感染症患者の 受け入れ、発熱外来の設置、新型コロナウイルスワクチンの大規模接種など、新型コロナ ウイルス感染症撲滅に向け多くの仕事を成し遂げました。

こうした未曾有の感染症流行にも拘らず、昨年度は「不断前進」の精神のもと多くの成果を挙げて参りました。一つには、昨年1月に地鎮祭を行い新棟の建設を行って参りましたが、本年6月に新棟I期工事が終了し、7月30日に竣工式を予定しております。新棟は、地上7階、地下1階の免震構造の建築物で、新棟I期の完成により手術室8室をはじめ救急外来、救急救命センター、NICU、MFICU、シネアンギオ室、内視鏡室などの設備が整います。これらの最新の設備や医療機器を利用し、高度で安全・安心な医療を提供し地域医療に貢献していきたいと考えております。

また 2020 年度から指定研修機関として看護師特定行為研修を開始しました。初年度は院内の7名が1年間の研修を修了し特定看護師として活動しております。今後はさらに領域を拡大し、救急領域、皮膚排泄ケア領域、麻酔領域などに必要な区分・行為について特定行為が出来る看護師を養成していきます。2024年に迫る働き方改革への対応として、特定看護師の活用を図ることで、タスクシフト・タスクシェアリングの推進し、医師業務負担軽減が期待されます。

冒頭に述べましたように、2020 年度は新型コロナウイルス感染症対策に大きな時間と投資をしてまいりました。まず行ったことは、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、非接触で一度に多人数の体表面温度を計測できるサーマルカメラを病院入口に設置しました。また、12 月には発熱患者の診察および待機のプレハブを設置いたしました。外気温度が低下する中、気温を気にせず診察を行なう事が出来るようになりました。さらに、新型コロナウイルス感染症有無の判別を行えるフルオートメーションのリアルタイム PCR 検査システムを導入しました。多検体を自動処理できるようになり、検査の効率化・迅速化が図れると共に、検査を行う職員の安全性も確保されました。また当院は静岡県よりワクチン基本型接種施設に指定され、さらには大規模接種施設にも指定されました。今後もあらゆる手段を尽くし、新型コロナウイルス感染症の撲滅に尽力する所存であります。

# 行事写真



2020.4.1 新入職員講習会



2020.4.13 看護師特定行為研修 一期生開講式



2020.10.17 緩和ケア研修会



2020.12.22 コロナ対応発熱外来



2021.3.15 看護師特定行為研修 一期生修了式



2021.3.17 臨床研修修了式

# ミニレクチャー(動画 WEB 配信)



# 目次

1. }	病院概要					
1	-1	基本理念	3			
1	1-2	基本方針	3			
1	1-3	施設概要	3			
1	-4	組織機構図	4			
1	1-5	所属長一覧	5			
1	-6	医師名簿	6			
1	<b>-</b> 7	職員数	7			
1	-8	各種委員会	8			
1	-9(1)	活動報告	9			
1	-9(2)	講演会	10			
1	-10	社会貢献・地域交流活動	11			
1	-11	指定•認定•許可事項	12			
2. 言	診療科	報告				
2	2-1	膠原病・リウマチ内科	17			
2	2-2	血液内科	19			
2	2-3	消化器内科	21			
2	2-4	呼吸器内科	24			
2	2-5	腎臓内科	26			
2	2-6	糖尿病•内分泌内科	28			
2	2-7	循環器内科	30			
2	2-8	小児科	35			
2	2-9	一般外科	38			
2	2-10	脳神経外科	43			
2	2-11	整形外科	48			
2	2-12	脳神経内科	55			
2	2-13	心臟血管外科	59			
2	2-14	呼吸器外科	62			
2	2-15	形成外科	64			
2	2-16	眼科	66			
2	2-17	耳鼻咽喉科	71			
2	2-18	麻酔科	73			
2	2-19	放射線科	76			
2	2-20	メンタルクリニック	77			
2	2-21	皮膚・アレルギー科	80			
2	2-22	泌尿器科	83			
2	2-23	産婦人科・総合周産期母子医療センター	87			
2	2-24	救急診療科	91			
2	2-25	病理診断科	98			
2	2-26	リハビリテーション科	99			

2-27	臨床検査科101

3.	部門報	部門報告					
	3-1	薬剤科	104				
	3-2	栄養科	10				
	3-3	放射線室	10				
	3-4	検査室	11				
	3-5	手術室	11				
	3-6	血液浄化センター	11				
	3-7	臨床工学室	11				
	3-8	輸血室	11				
	3-9(1)	看護部	12				
	3-9 (2)	看護外来業務課	12				
	3-9 (3)	看護教育課	12				
	3-10	救命救急センター	13				
	3-11	ドクターへリ運航対策室	13				
	3-12	新生児センター	13				
	3-13	がん治療センター	14				
	3-14	予防医学センター	14				
	3-15	GCP センター	14				
	3-16	臨床研修センター	14				
	3-17看記	隻師特定行為研修センター	15				
	3-18	医療サービス支援センター					
	3-18 (1)	地域医療連携室	15				
	3-18 (2)	医療福祉相談室	15				
	3-18 (3)	退院支援看護師	15				
	3-18 (4)	患者·看護相談室	15				
	3-18 (5)	受診相談・総合案内	16				
	3-19	医療安全管理室	16				
	3-20	感染対策室	16				
	3-21	安全衛生管理室	16				
١.	統計						
	4-1	病床利用率	170				
	4-2	在院日数	170				
	4-3	診療科別延患者数(外来)	17				
	4-4	診療科別延患者数(入院)	17				
	4-5	新患者数(外来)	17				
	4-6	新患者数(入院)	17				
	4-7	退院患者数	17.				
	4-8	年齢別延患者数(外来)					
	4-9	年齢別延患者数(入院)					
	4-10	地区別延患者数(外来)					

4-11	地区別延患者数(入院)	178	3

# 1. 病院概要



### 1-1 基本理念

- 1. 学是「仁」の精神で人々の生命を尊重する
- 2. 「不断前進」の理念で創造的な前進と改革を進める
- 3. 大学医学部附属病院として、診療・教育・研究の充実を計る

### 1-2 基本方針

- 1. 患者さん一人一人に、安全で根拠に基づく高い質の医療を提供する
- 2. 患者さんに満足していただける、きめ細かい手作りの看護をおこなう
- 3. 快適な療養生活ができる環境を提供する
- 4. 医療安全対策、病病・病診連携に取り組む
- 5. 最新の医療情報の提供に努める

### 1-3 施設概要

名称 : 順天堂大学医学部附属静岡病院

所在地 : 〒410-2295

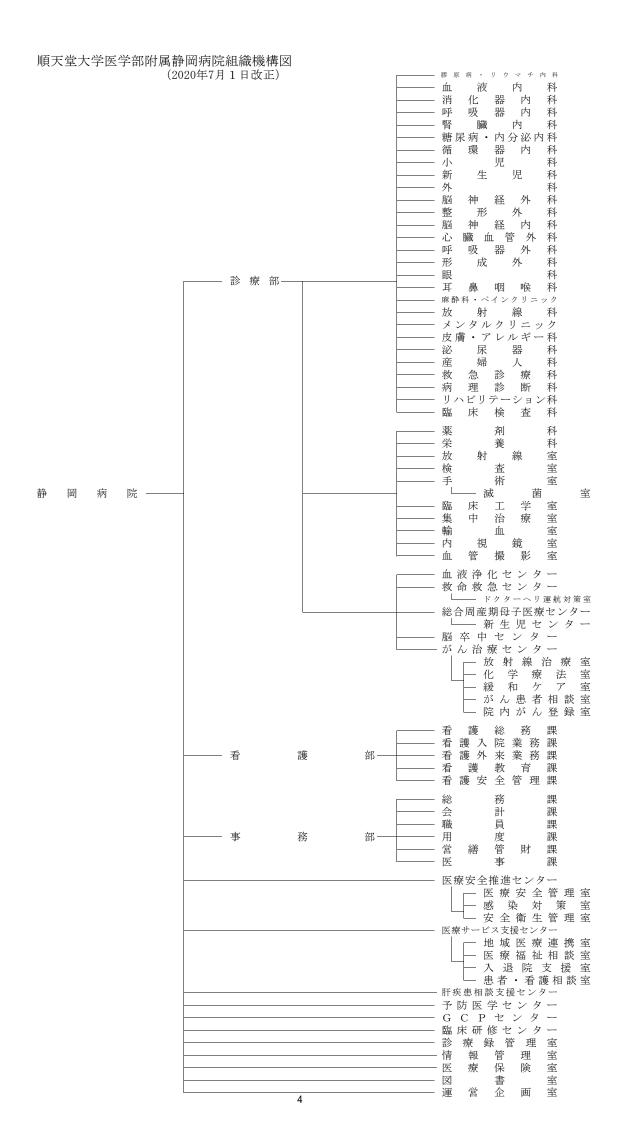
静岡県伊豆の国市長岡 1129

電話番号 : 055-948-3111(代表)

FAX : 055-948-5088

敷地面積 : 27,122.83 平方メートル

病床数 : 577床



# 1-5 所属長一覧

令和3年3月31日現在

部署	責任者	部 署	責任者
院長	佐藤 浩一	看護部長	田中 ひとみ
副院長	藤田和彦	看護総務課	堀 込 克代
副院長	太田俊彦		野澤陽子
院長補佐	小池 道明		濱口 真知子
院長補佐	山本 拓史		矢田 みどり
診療部長	山本拓史		荻島 真弓
膠原病・リウマチ内科	片 桐 彰	事務部長	小野 隆宏
血液内科	小池 道明	総務課	小池 直樹
消化器内科	玄田 拓哉	会計課	小野 隆宏
呼吸器内科	岩神 真一郎	職員課	阿部 幸雄
腎臓内科	清 水 芳 男	用度課	尾﨑治之
糖尿病•内分泌内科	池田富貴	営繕管財課	小野 隆宏
循環器内科	諏 訪 哲	医事課	萩 原 賛 泰
小児科	有井 直人		柳川洋一
外科	佐藤 浩一	新生児センター	有井 直人
脳神経外科	山本 拓史	総合周産期母子医療センター	田中利隆
整形外科	大 林 治	脳卒中センター	山本 拓史
脳神経内科	野田和幸	がん治療センター	田中 顕一郎
心臟血管外科	梶 本 完	予防医学センター	清 水 芳 男
呼吸器外科	平山俊希	GCPセンター	玄田 拓哉
形成外科	千田 大貴	臨床研修センター	中尾 保秋
眼科	太田俊彦	診療録管理室	諏 訪 哲
耳鼻咽喉科	楠 威 志	情報管理室	岡 崎 敦
麻酔科・ペインクリニック	尾 前 毅	医療安全推進センター	藤田和彦
放射線科	松 波 環	医療安全管理室	藤田和彦
メンタルクリニック	桐野衛二	感染対策室	岩神 真一郎
皮膚科	長谷川 敏男	安全衛生管理室	桐野衛二
泌尿器科	藤田和彦	医療サービス支援センター	櫻 田 睦
産婦人科	田中利隆	地域医療連携室	櫻 田 睦
救急診療科	柳川洋一	医療福祉相談室	櫻 田 睦
病理診断科	和 田 了	入退院支援室	櫻 田 睦
臨床検査科	田内 一民	患者•看護相談室	櫻 田 睦
薬剤科	玄田 拓哉	医療保険室	山本 拓史
栄養科	前 川 博	図書室	諸 橋 達
放射線室	松波環	運営企画室	小野 隆宏
検査室	和 田 了		
手術室	尾 前 毅		
リハビリテーション科	田沼明		
血液浄化センター	清水 芳男		
臨床工学室	岡 崎 敦		
集中治療室	久 米 村 正 輝		
輸血室	岩尾 憲明		
内視鏡室	佐藤 浩一		
血管撮影室	諏 訪 哲		

#### 1-6 医師名簿

□併任 令和3年3月31日現在 膠原病・リウマチ内科 馬 介藤 萌 臨 床 研 修 場 田 雅 史中 村 医 洋 林 Ш 樹 桐 和 紀古 直 佐 美渥 美 介 根 郎 也 津 島 浩 将 待 Щ 祐 Ш П 幹 裕 小 野 匠 隆 射 樹 畄 田 宮 﨑 萌 香リハビリテーション科 放 科尾 原 祐 澤 子 江 原 尚 弘田 沼 松 波 環 加 藤 究 太 古 之 万里 子口 林 秀 門 椋  $\mathbb{H}$ 裕 坂 野 治水 谷 好 富 隆 洋 液 内 科 新 科脳 神経 内 科 入 江 介 河 口 ĺП. 明 有 井 か 小 池 直 人野 田 和 幸 田 畑 孝 純河 П る 道 明 Ш 夏 史 岩 尾 大 紀 熊 泰 宇 田川 剛 菊 池 遥 太 真 美 井 史 髙 野 弥 奈 井 福 友 安 藤 真 矢 新 雅 小 池 周 平 タルクリニ 奈 澤 恭 池 田 奈 帆 星 野 泰 延 ック 五. 藤 千 生 功 田 翔 神 山 樹 野 衛 石 井 幹 福 田 隆 神 山 恵 里 佳佐 野 麻 理 子 安 誠 佐 治 正 太 恵 幹 中 翔 西 村 朗心 臟 血 管 外 科 永 友 理 拓 竹 化 内 科 貴梶 本 皮膚・アレルギー ·科 中 就 藤  $\blacksquare$ 田 哉 井 美 輝丹 原 圭 谷川 男中 山 拓 己 拓 敏 田 井 西 芙 未 裕 河 正 晶 周 俊 輔 藤 浩 石 淳 実 山 梨 治 西 意 博 Ш 輝 田 礼 前 Ш 祐 細 井 美 都 野 П 中 顕 貴 田 貝 昂田 郎呼 科 松 田 真 佑 香 野 嶋 希櫻 祥 睦 平 井 純 道 櫻 田 山 郎 延 島 貴 裕 知 Ш 智 明 池 田 至 田 志 市 博巡 尿 科 美 原 徳 櫛 平 智 壁 村 至 彰長 崹 勇 典藤 伊 藤 田 和 彦 田 昂 介形 阳 吸 内 駿 外 恵 奕 科 庭 藤 劉 平千 晶 子 斗 神 真 郎 田 脩 田 大 貴中 島 青 勇 岩 之 央 藤 記 伊 藤 智 弘 龍之 介 宗 加 野 尊 秋 間 原 永 П 岩 神 直 子 山 本 陸東 名 怜水 島 和 彦 田 尚 基 池 泉 明 万 里 悠 也 田 浩 成 博眼 科 宇 井 子 井 松 小 石 由 香 里 井 勇 太太 俊 悠 斗 石 原 俊 太 郎 加藤 村 田 彦 好 安 沙 宏 穂岩 崎 真 山 勇 魚 藤 美 土 至 田 好 美 有 萌 平 翔 子 井 婦 敬 1 田 板 倉 麻 紀産 科 岩 本 臓 内 科 亚 高 朔松 﨑 有 修田 中 利 隆 厳 玾 華 芳 男渡 邉 大林 介 秀 水 武 雄 容 桐 Щ 雅 通 清 田 金 平田 林 啓 神経外 科市 Ш 浩 中 里 美 島 孝 幸 脳 五. 建 山 本 拓 史 朝 尚 聖 子 藤 雅 也 榊原 子 澤 加 万 佑 有 沙中 尾 保 秋 田 蓉 子 昌太 郎 本 祐 史 池 田 矢 田 阪 反 隆太 祐 次 邉 瑞 也杉 丈 夫 村 瀬 佳 子 郎 田 鈴 木 糖尿病・内分泌内科 野 英 明黒 田 浩 平伊 藤 早 紀 汐 織 上 須 田 彦瀬 田 富 貴 渡 邉 碧 音廣 澤 邦 Ш 将 田 昂 己 鼻咽喉 介 谷 Ш 浩 耳 科保 歩 隆 治  $\mathbb{H}$ 髙 田 保 田 都 立 知 司楠 牧 野 祐 也田 嶋 俊 彬 足 孝 井 村 吾本 間 博 友 秋 葉 純 也 ₹. 林 優 祐 企 洲 涼 基 り哲 田 恒 玉 琢 磨城 所 淑 信石 田 ゆ 翁 直 之 Ш 朗 環 器 内 科 杉 Ш 裕 紀石 数 馬救 療 科 寺 井 訪 村 高 京 愛 莉柳 Ш 洋 東 奎  $\blacksquare$ 学 新 # 晶小 島 崇 史 大 森 彦 中 原 直 人 知 之 外 果 塩 整 形 科麻 酔 科 出 靖 将濵 田 通 樹 林 史 和 田 英 治尾 前 毅大 坂 裕 通 福 原 啓 翔一 朗 敦日 孝 最 上 敦 彦岡 崎 域 佳 藤 井 宗 樂 準 男長 谷 川 神 田 章 陽 子 池 X B 藤 出 靖 彦 郎 司 髙 野 信 諸 橋 達洪 景 都村 賢 本 圭 宏 宏 田 糸 井 陽櫻 袁 子串 田 好 本 崇 健 太 郎 孝高 生 守 屋 秀 太 田 正 橋 大 悟 Щ 剛 石 橋 仁 志久 米 村 澤 宏 村 郎 雅 敏勝 診断 科 洪 田 介病 理 菅 佑 本 周 平和 了 太米 田 規石 壮 志 鶴 上 浩 井 宏 和臨床検査 科 科 原 航山 崹 翔田 内 一 民 木 有 井 直 人波 多江 文 俊山 内 大 志

## 1-7 職員数

令和3年3月31日現在

		正規	職員	パ -	- F		派遣	•委託		7.31 口現仕
職	種	男	女	男	女	小計	男	女	小計	合計
看	護師	107	589		2	698			0	698
助			40			40			0	40
准			7			7			0	7
介		6	12		1	19			0	19
助		1	3		7	11	1	79	80	91
中事			1			0	5	29 22	34 22	34 23
小		114	652	0	10	776	6	130	136	912
楽		26	9	U	5	40	U	130	0	40
薬	剤 科 事 務 員					0		12	12	12
診	療放射線技師	27	6			33			0	33
放放						0		5	5	5
臨		9	25	1	4	39		3	0	39
検			2		4	6			0	6
検	査 室 事 務 員					0		8	8	8
理		14	5			19			0	19
作言		3	4			7			0	7
	##	1	3			<u>4</u> 0		1	0	<u>4</u>
管		2	5		1	8		1	0	8
栄	養士	1	1		1	3			0	3
調	理師	13	2			15			0	15
栄		2	2			4	6	32	38	42
栄視	<ul><li>養 科 事 務 員</li><li>能 訓 練 士</li></ul>	2	4		1	6			0	6
臨		11	3		1	15			0	15
臨		11	1		1	13			0	1
メ	ンタルクリニック助手		_			0			0	0
小		111	72	1	17	201	6	58	64	265
事		49	27		7	83	9	176	185	268
社保		4	5						0	
	活・労務・警備・施設	3	3			3	64	41	105	108
助	手					0		18	18	18
医					5	5			0	5
小		56	35	0	12	103	73	235	308	411
医感			1			1 1			0	1 1
	者看護相談室 看護師・准看護師		1			1			0	1
	療福祉相談室 看護師·准看護師		3			3			0	3
	退院支援室 看護師·准看護師		7			7			0	7
	ん治療センター 看護師・准看護師		8			8			0	8
小		0	21	0	0	21	0	0	0	21
	特   任   教   授	13				13			0	3 13
医	先 任 准 教 授	4				4			0	4
	先 任 准 教 授 ( 臨 床 )	6				6			0	6
	准教授(大学院)	1				1			0	1
	准教授(講座)	4	4			4			0	4
	准教授(診療) 准教授(実習)	10 2	1			11			0	11 3
	准教授(美音)	6	1			6			0	6
	講師		1			1			0	1
	助教	21	8			29			0	29
	助 手	57	26			83			0	83
師	専 攻 生	6	6			12			0	12
비녀	大学院生 シニアレジデント	21 4	2			22 6			0	22 6
	臨床研修医	48	5			53			0	53
小	計	206	51	0	0	257	0	0	0	257
合	· ====================================	487	831	1	39	1,358	85	423	508	1,866

# 1-8 各種委員会

2020年4月1日時点

委員会名	委員長名	委員会名	委員長名
病院運営委員会	佐 藤 浩 一	運営協議会	佐藤浩一
診療会議	山 本 拓 史	管理会議	小 野 隆 宏
医療安全・危機管理委員会	藤田和彦	感染対策委員会	岩 神 真一郎
災害対策委員会	柳川洋一	救命救急センター運営会議	柳川洋一
褥瘡対策委員会	千 田 大 貴	静岡病院安全衛生委員会	桐野衛二
放射線安全委員会	水谷好秀	放射線治療品質管理委員会	水谷好秀
CPC・CRC・デスカンファレ ンス委員会	和田了	倫理委員会	小 池 道 明
倫理審査委員会	玄 田 拓 哉	治験審査委員会	玄 田 拓 哉
薬事委員会	楠 威志	資材委員会	太田俊彦
機種選定委員会	佐 藤 浩 一	医療保険委員会	山 本 拓 史
施設基準委員会	山 本 拓 史	クリニカルパス委員会	神 田 章 男
DPC コーディング委員会	山 本 拓 史	内視鏡運営委員会	伊 藤 智 彰
輸血療法委員会	岩 尾 憲 明	手術室運営委員会	尾 前 毅
病棟利用・外来対策委員会	山 本 拓 史	臨床検査適正化委員会	和 田 了
予防医学センター運営委員会	清水芳男	広報委員会	最上敦彦
脳死・臓器移植委員会	中尾保秋	虐待対策委員会	有 井 直 人
がん治療センター運営委員会	田 中 顕一郎	がん診療委員会	田 中 顕一郎
医療機器保守委員会	太田俊彦	廃棄物管理委員会	和 田 了
医療ガス安全管理委員会	岡 崎 敦	業務委託委員会	小 池 道 明
礼儀・接遇マナー向上委員会	佐 藤 浩 一	栄養管理委員会	前 川 博
透析機器安全管理委員会	清水芳男	医療情報システム委員会	中 尾 保 秋
患者さん満足度調査委員会	櫻 田 睦	診療録管理委員会	諏 訪 哲
勤務環境改善委員会	太田俊彦	図書管理委員会	諸 橋 達
臨床研修センター会議	中尾保秋	研修管理委員会	佐藤浩一
看護師特定行為研修管理 委員会	太田俊彦		

# 1-9(1) 活動報告

年月日	会議・行事実施事項
2. 4. 1	新入職員オリエンテーション
5. 11	春季健康診断(~22日)
25	感染対策研修会
	〔5月25日、11月2日(eラーニング)、9月11日(会場型))
26	医療安全研修会
	〔5月26日、6月11·29日、7月30日、9月29日、1月5·23日(DVD))
11. 12	秋季健康診断(~19 日)
11. 24	静岡県東部ドクターへリ運航調整委員会(書面開催)
3. 1. 6	賀詞交歓会
1. 15	東部保健所病院立入書面検査
2. 17	消防図上訓練
2. 18	水害対策図上訓練
22	抗菌薬研修会
	〔2月19日(eラーニング))
	上記のほか毎月定例として開催される会議
第1火曜日	薬事委員会、治験審査委員会、がん診療委員会
第1木曜日	管理会議
第2月曜日	資材委員会
第2水曜日	診療会議、医療情報システム委員会(奇数月)
第3火曜日	業務委託委員会
第3水曜日	クリニカルパス委員会(奇数月及び4月)、救命救急センター運営会議(奇数月)
第3木曜日	栄養管理委員会(奇数月及び4月)
第3金曜日	医療安全危機管理委員会
第4月曜日	運営協議会
第4水曜日	静岡病院安全衛生委員会
第4木曜日	褥瘡対策委員会、がん治療センター運営委員会(奇数月)
第4金曜日	感染対策委員会
最終水曜日	施設基準委員会、医療保険委員会
毎月1回	病院運営委員会
隔月1回	輸血療法委員会、内視鏡運営委員会、災害対策委員会
3ヶ月に1回	コーディング委員会、臨床研修センター会議、診療録管理委員会、放射線安全委員会、広報
	委員会

# 1-9(2) 講演会

年月日	講 座 名・テーマ
2. 11. 26	第 43 回東部周産期研究会
	「切迫早産の周産期管理」
	「早産児の周産期予後」
3. 1. 17	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会
2. 1	ミニレクチャー動画配信 <web 配信=""></web>
~28	「J3 アスルクラロ沼津でのチームドクター活動とスポーツ選手に思うこと」
3. 4	第 44 回東部周産期研究会
	「周産期における COVID-19 感染症対策の現状と課題」
	「日本における新生児 COVID-19 感染症について」

# 1-10 社会貢献·地域交流活動

年月日	活 動 名
	新型コロナコロナウイルス感染症感染防止のため、主な活動無し

## 1-11 指定·認定·許可事項

指 定 事 項	指定年月日
救命救急センター 40 床	昭和 56 年 11 月 1 日
新生児センター 30 床	昭和57年4月1日
エイズ拠点病院	平成8年5月20日
災害拠点病院	平成8年11月26日
日本医療機能評価機構認定病院	平成 16 年 3 月 15 日(初回認定日)
静岡県東部ドクターへリ基地病院	平成 16 年 3 月 17 日
臨床研修指定病院	平成 16 年 4 月 1 日
地域がん診療連携拠点病院	平成 19 年 1 月 31 日
総合周産期母子医療センター	平成 20 年 8 月 1 日
静岡県肝疾患診療連携拠点病院	平成 21 年 3 月 10 日
DPC 対象病院	平成 23 年 4 月 1 日
災害派遣医療チーム静岡 DMAT 指定病院	平成 24 年 3 月 1 日
指定小児慢性特定疾病医療機関	平成 27 年 1 月 1 日
難病法に係る難病指定医療機関	平成 27 年 1 月 1 日
静岡県アレルギー疾患医療拠点病院	平成 30 年 10 月 1 日
肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関	平成 30 年 12 月 1 日
地域医療支援病院	令和2年1月7日
特定行為研修指定研修機関	令和2年2月26日

診療科名	学会認定		
成而現代到	日本呼吸器内視鏡学会認定施設		
呼吸器内科	日本呼吸器学会認定施設		
	日本消化器病学会認定施設		
消化器内科	日本肝臓学会認定施設		
	日本消化管学会胃腸科指導施設		
膠原病・リウマチ内科	日本リウマチ学会教育施設		
血液内科	日本血液学会血液研修施設		
腎臓内科	日本透析医学会教育関連施設		
	日本腎臟学会研修施設		
糖尿病•内分泌内科	日本糖尿病学会認定教育施設		
	日本心血管インターベンション治療学会研修施設		
循環器科	日本循環器学会循環器専門医研修施設		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設		
	IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル実施施設		
外科	日本消化器内視鏡学会指導施設		
7547	日本食道学会全国登録認定施設		

外科	日本外科学会外科専門医制度修練施設	
外科		
外科	日本消化器外科学会専門医修練施設	
	日本乳癌学会関連施設	
	日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設	
	日本膵臓学会認定指導施設	
	日本麻酔科学会麻酔科認定病院	
麻酔科・ペインクリニック	日本心臟血管麻酔学会心臟血管麻酔専門医認定施設	
	日本ペインクリニック学会指定研修施設	
	日本脳卒中学会研修教育施設	
脳神経外科	日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設	
	日本脳卒中学会一次脳卒中センター	
	日本整形外科学会専門医制度研修施設	
整形外科	日本手外科学会研修施設	
	日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設	
	関連 10 学会構成 ステントグラフト実施基準管理委員会	
	腹部ステントグラフト実施施設	
> n+ts なな ね てい	関連 10 学会構成 日本ステントグラフト実施基準管理委員会	
心臟血管外科	胸部ステントグラフト実施施設	
	下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設	
	三学会構成心臟血管外科専門医認定機構基幹施設	
新生児科	日本周産期・新生児医学会周産期専門医(新生児)認定施設	
九田刹	日本小児科学会小児科専門医研修施設	
小児科	日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設	
眼科	日本眼科学会専門医制度研修施設	
	日本角膜学会羊膜移植実施施設	
耳鼻咽喉科	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	
□V 카뉴◊▽ ᠨ ՀՎ	日本神経学会教育施設	
脳神経内科	日本臨床神経生理学会認定施設	
皮膚・アレルギー科	日本皮膚科学会認定専門医研修施設	
泌尿器科	日本泌尿器科学会専門医教育施設	
	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	
	日本周産期•新生児医学会認定施設	
	静岡県医師会母体保護法指定医師研修機関	
産婦人科	日本産科婦人科学会専門研修連携施設	
	日本超音波医学会超音波専門医制度研修施設	
	日本女性医学学会専門医制度認定研修施設	
	日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設	
D (D) DI - B	日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設	
メンタルクリニック	日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設	

呼吸器外科	呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設
診療科名	学会認定
放射線科	日本医学放射線学会専門医総合修練機関
救急診療科	日本航空医療学会認定施設
	日本救急医学会救急科専門医指定施設
	日本外傷学会外傷専門医研修認定施設
病理診断科	日本病理学会研修認定施設
リハビリテーション科	日本リハビリテーション医学会研修施設
救命救急センター	日本集中治療医学会専門医研修施設
栄養科	日本病態栄養学会栄養管理·NST 実地施設
	日本静脈経腸栄養学会 NST 稼動施設
薬剤科	日本病院薬剤師会プレアボイド報告施設
がん治療センター	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
	日本がん治療認定医機構認定研修施設

# 2. 診療科報告



### 2-1 膠原病内科・リウマチ科

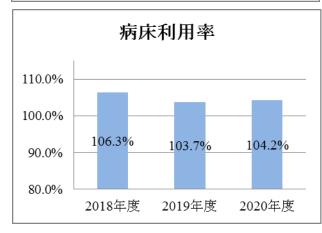
#### 診療実績













#### 研究•教育活動

1. 津島浩、富田裕之、岡田隆、片桐彰 「当院における JAK 阻害剤の使用経験について」 JAK 阻害薬 を考える会 2021 年 1 月 21 日

2.	津島浩、富田裕之、岡田隆、片桐彰 「関節リウマチにおける JAK 阻害剤の立ち位置」 リウマチ治療を考える会 2021 年 3 月 18 日	静岡県東部

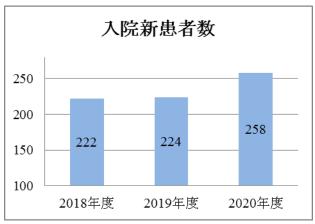
## 2-2 血液内科

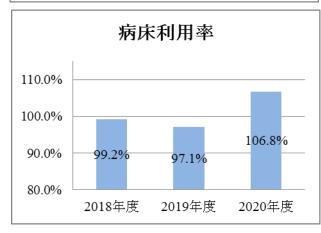
#### 診療実績













### 研究、研究活動

#### 原著 (和文)

1. 松田紘佳、三澤恭平、森洋輔、落合友則、藤岡功、岩崎寿代

岩尾憲明、小池道明、小松則夫 ミエロペルオキシダーゼ染色が 弱陽性を呈し形態学的診断が困難であった急性前骨髄性白血病 microgranular type. 臨床血液 61:1511-1513,2020

#### (報告)

1. 小池道明、岩尾憲明、今田春子、酒井寛美、菊地麻里、土屋明実 静岡県における大規模災害時の輸血療法に関するアンケート調査の 結果から分かった今後の課題 日本輸血細胞治療学会誌;66:598-604,2020

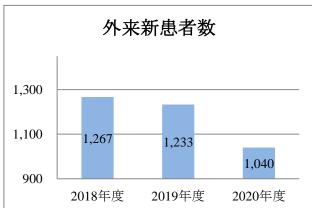
#### (その他)

- 1. 藤岡功、三澤恭平、岩尾憲明、小池道明 リンパ節腫大、汎血球減少で発症し診断に苦慮した CD20 陰性 EBER 陽性 びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫 第9回日本血液学会東海地方会 名古屋 4月19日
- 2. 菊地麻里、岩尾憲明、今田春子、酒井寛美、村岡裕美、古谷華菜、土屋明実、小池道明 学会認定・臨床輸血看護師取得後の活動報告—輸血療法に対する教育 第 68 回日本輸血・細胞治療学会総会 札幌 5 月 28 日
- 3. 岩尾憲明、土屋明実、白須智奈美、伊東彩花、片山瑞希、小池道明 血液搬送装置 ATR700 を搭載したドクターへリでの救急患者への病院前輸血 第68 回日本輸血・細胞治療学会総会 札幌 5月28日
- 4. 三澤恭平、藤岡功、岩尾憲明、小松則夫、小池道明 当院における高齢者白血病の特徴 第82回 日本血液学会学術集会 京都 10月9,10,11日
- 5. 細谷英里奈,藤岡功,福田泰隆,三澤恭平,岩尾憲明,高野弥奈,小池道明 アザシチジンが著効し輸血依存を離脱した急性骨髄性白血病の1例 第82回 日本血液学会学術集会 京都 10月9,10,11日

## 2-3 消化器内科

#### 診療実績













### 研究•教育活動

#### 【原著(英文)】

1. Analysis of the safety of pretransplant corticosteroid therapy in patients with acute liver failure and late-onset hepatic failure in Japan. JGH Open. 2021; 5: 428-433.

- 2. Outcome of patients with acute liver failure awaiting liver transplantation in Japan. Hepatol Res. 2020; 50: 1186-1195.
- 3. Marked heterogeneity in the diagnosis of compensated cirrhosis of patients with chronic hepatitis C virus infection in a real-world setting: A large, multicenter study from Japan. J Gastroenterol Hepatol. 2020; 35: 1420-1425.
- 4. Elevated serum procalcitonin levels and their association with the prognosis of patients with liver cirrhosis. Eur J Gastroenterol Hepatol. 2020; 32: 1222-1228.
- 5. Prognostic significance of serum tyrosine concentration in patients with primary biliary cholangitis under ursodeoxycholic acid therapy. Hepatol Res. 2020; 50: 214-223.
- 6. The effectiveness and safety of glecaprevir/pibrentasvir in chronic hepatitis C patients with refractory factors in the real world: a comprehensive analysis of a prospective multicenter study. Hepatol Int. 2020; 14: 225-238.
- 7. On-treatment Serum Mac-2 Binding Protein Glycosylation Isomer (M2BPGi) Level and Risk of Hepatocellular Carcinoma Development in Patients with Chronic Hepatitis B during Nucleot(s)ide Analogue Therapy. Int J Mol Sci. 2020; 21: 2051.
- 8. Randomized controlled study on the effects of triple therapy including vonoprazan or rabeprazole for the second-line treatment of Helicobacter pylori infection. Therap Adv Gastroenterol. 2020; 13: 1756284820966247.
- 9. Linked color imaging improves visibility of reflux esophagitis. BMC Gastroenterol. 2020; 20: 356.
- 10. The Association between Frailty and Abdominal Symptoms: A Hospital-based Cross-sectional Study. Intern Med. 2020; 59: 1677-1685.
- 11. Linked Color Imaging and the Kyoto Classification of Gastritis: Evaluation of Visibility and Inter-Rater Reliability. Digestion. 2020; 101: 598-607.

#### 【原著(和文)総説】

- 1. 急性肝不全の内科的集中治療 日本消化器病学会雑誌 2020;117:763-771
- 2. 脳死肝移植待機患者の予後—わが国における実態 消化器・肝臓内科 2020;7:238-244
- 3. SVR により肝硬変の予後は改善するか-非代償性肝硬変も含めてー 肝胆膵 2020; 80: 831-837
- 4. 先天性アンチトロンビン欠損症と門脈血栓症 肝胆膵 2020; 81: 449-454.

#### 【学会発表(国際)】

 Protective effect of PPI against gastric mucosal injuries in patients taking each DOACs - Comparison among individual DOACs - UEG Week virtual 2020, (Amsterdam, Netherlands), October 11-13, 2020

#### 【学会発表(国内)】

- 1. 移植待機予後から見た非代償性肝硬変に対する抗ウイルス療法の生存インパクト 第 27 回日本門脈 圧亢進症学会総会 Web 開催 2020 年 9 月 11 日
- 2. それぞれのDOAC内服症例における胃粘膜傷害の程度差に関する検討 第16回日本消化管学会総会 学術集会, 姫路, 2020 年 2 月 7 日
- 3. DAPT に用いる P2Y12 受容体拮抗薬の違いが胃粘膜傷害に与える影響 ークロピドグレル vs プラスグレルー 第28回 JDDW (第62回日本消化器病学会大会), (神戸),2020年11月5-8日
- 4. 胃拡大内視鏡における胃表層微小血管の血流速度の検討 第 28 回 JDDW2020 (第 100 回日本消化器 内視鏡学会総会)、神戸、2020 年 11 月 7 日

- 5. 当院における HBV キャリアの現状と肝がん合併リスク因子の解析 第 43 回日本肝臓学会東部会,オンライン開催,2020 年 12 月 3 日
- 6. Warfarin 内服症例における胃粘膜傷害と制酸薬 (PCAB・PPI・H2RA) との関係 第 16 回日本消化 管学会総会学術集会、姫路、2020 年 2 月 7 日
- 7. リスク因子に乏しい比較的若年者に発症した微小食道癌の一例 "第 361 回 日本消化器病学会関東 支部例会 2020 年 9 月 12 日
- 8. 芳香族アミノ酸チロシンの血中濃度上昇は肝硬変患者の予後不良と関連する 第 28 回 JDDW (第 24 回日本肝臓学会大会) 2020 年 11 月 5 日-6 日
- 9. DAPT に用いる P2Y12 受容体拮抗薬の違いが胃粘膜傷害に与える影響 クロピドグレル vs プラスグレル 第 106 回日本消化器病学会総会 広島 2020 年 8 月 11 日-13 日
- 10. 脂肪性肝疾患:治療のターゲットとゴール 地域で取り組む脂肪性肝疾患に対する肝線維化評価プログラム 第43回日本肝臓学会東部会 2020年12月3日-5日
- 11. 分子標的治療時代における背景肝マネージメントの重要性 第106回日本消化器病学会総会 広島 2020 年 8 月 11 日-13 日
- 12. 脂肪肝 地域で取り組む肝線維化評価プログラムの構築 第 56 回日本肝臓学会総会 大阪 2020 年 8 月 28 日-29 日
- 13. 潰瘍性大腸炎に対して生物学的製剤導入後に好酸球性胃腸炎を発症した 1 例 第 16 回日本消化管 学会総会学術集会, 姫路, 2020 年 2 月 7 日
- 14. それぞれの DOAC 内服症例における胃粘膜傷害の程度差に関する検討 第 16 回日本消化管学会総会学術集会, 姫路, 2020 年 2 月 7 日
- 15. TKI シークエンシャル療法と TACE の組み合わせにより病態制御が可能だった 2 例 第 56 回日本 肝癌研究会 大阪 2020 年 12 月 22 日-23 日
- 16. 当科におけるレンバチニブ開始後のシークエンシャル治療の現状 第 22 回日本肝がん分子標的治療研究会 金沢 2020年11月14日

### 2-4 呼吸器内科

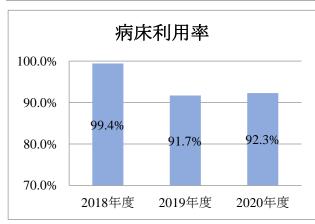
#### 診療実績













#### 研究・教育活動

英文原著

1. Sumiyoshi I, Okabe T, Togo S, Takagi H, Motomura H, Ochi Y, Shimada N, Haraguchi M, Shibayama R, Fujimoto Y, Watanabe J, Iwai M, Kadoya K, Iwakami S, Takahashi K. High lymphocyte population-related predictive factors for a long-term response in non-small cell lung cancer patients treated with pemetrexed: A

retrospective observational study. Journal of Translational Medicine, 2021 in press.

- Miyashita Y, Hara M, Iwakami S, Matsuda H, Iwakami N, Takahashi K. Sarcoidosis with marked necrosis in swelling lymph nodes mimics mycobacterial infection: a case report. Journal of Medical Case Reports, 15:178, 2021 https://doi.org/10.1186/s13256-021-02797-3
- 3. Matsuda H, Hara M, Iwakami S, Takahashi K. EML4-ALK positive lung adenocarcinoma with skeletal muscle metastasis in the right calf which was treatable with lorlatinib after resistance to treatment with alectinib. BMJ Case Rep 2021;14:e240295. doi:10.1136/bcr-2020-240295

和文報告その他

- 1. 岩神真一郎:新型コロナウイルスに打ち勝つために~正しい知識と今私たちにできること~. 緊急 対談 伊豆の国市令和2年4月定例記者会見 2020年4月23日 伊豆の国市役所 あやめ会館
- 2. 五藤千奈、松田浩成、増田孝一、上田翔子、宮下洋佑、岩神直子、原宗央、岩神真一郎: CT ガイド下生検後に穿刺経路部播種を来した肺扁平上皮癌の一例. 第117回日本呼吸器学会東海地方学会 2020年5月23日 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス(誌上開催)
- 3. 岩神真一郎、原宗央、岩神直子:自然災害発生時における在宅酸素療法患者に対する地域ネットワーク構築に関する検討. 令和元年度 静岡災害医学研究センター紀要 32-33,2020
- 4. 原宗央、松田浩成、宮下洋佑、岩神真一郎、高橋和久:吸入ステロイドにより改善が認められたアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の1例. 第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020年6月26日 旭川市民文化会館(誌上開催)
- 5. 松浦亨、中島隆良。鈴木美沙子、岩神真一郎:カルバペネムの使用量抑制が Enterobacter aerogenes の薬剤感受性に与えた影響に関する検討. 第68回日本化学療法学会総会 2020年9月14日 神戸国際会議場
- 6. 岩神真一郎、原宗央、岩神直子、高橋和久:災害発生時に在宅酸素療法患者に対して安定した酸素 供給を行うシステムの構築. 第60回日本呼吸器学会学術集会 2020年9月21日 神戸国際展示 場(誌上開催)
- 7. 岩神真一郎: Opening remarks. 1<sup>st</sup> Anniversary Symposium in 静岡 2020 年 11 月 6 日 オンライン 開催
- 8. 古澤星子、松田浩成、増田孝一、加藤由香里、上田翔子、岩神直子、原宗央、岩神真一郎:ジンカンカ(市販のサプリメント)による薬剤性肺障害の一例. 第118回日本呼吸器学会東海地方学会2020年11月7日 WEB開催

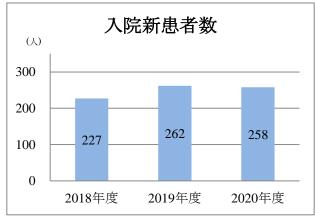
## 2-5 <u>腎臟内科</u>

#### 診療実績













#### 研究・教育活動

#### 和文図書

1. 清水芳男 脈拍 診察基本手技マニュアル 第2版 医歯薬出版 2020;53-58 監修:富野康日己

2. 清水芳男 血圧 診察基本手技マニュアル 第2版 医歯薬出版 2020; 58-64 監修: 富野康日己

#### 学会発表

- 1. 荻原慶 若林啓一 青木良輔 清水芳男 当院で経験した Nivolumab による急性腎障害に関する 検討 第 56 回 静岡腎不全研究会 静岡市 2020 年 10 月 11 日
- 2. 千葉紀宏 中村一賀 山本亮 若林道郎 大石成省 地引敬枝 鈴木克治 若林良則 若林正 則 清水芳男 大型台風の上陸予想にて透析日を変更 第56回 静岡腎不全研究会 静岡市 2020 年10月11日
- 3. 清水芳男、若林啓一、中田純一郎、鈴木祐介、井尾浩章、濱田千江子、富野康日己 予期しない血 液透析施設変更に伴う QOL の変化 第 65 回日本透析医学会学術集会・総会 2020 年 11 月 2 日-24 日
- 4. 林陽子、清水芳男、濱田千江子、鈴木祐介 伊豆半島における慢性腎臓病 (CKD) 患者の初診時から透析導入に至るまでの経過と性差 第65回日本透析医学会学術集会・総会 2020年11月2日-24日
- 5. 前田拓也、青木良輔、若林啓一、清水芳男、鈴木祐介 胸膜炎にて発症し、膜性腎症を呈した IgG4 関連疾患の一例. 第 50 回日本腎臓学会東部学術大会. 2020 年 9 月 26 日-27 日
- 6. 清水芳男、前田拓也、青木良輔、若林啓一、鈴木祐介 目視による尿沈渣所見が診断の端緒となった Fabry 病の一例. 第50回日本腎臓学会東部学術大会. 2020年9月26日-27日
- 7. 若林啓一、大熊輝之、前田拓也、清水芳男、鈴木祐介 抗 GBM 抗体型急速進行性糸球体腎炎の治療中に可逆性後頭葉白質脳症を発症した 1 例 第 65 回日本透析医学会学術集会・総会 2020 年 11 月 2 日-24 日

## 2-6 糖尿病・内分泌内科

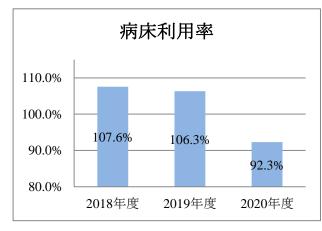
#### 診療実績













#### 研究・教育活動

#### 学会発表

- 1. 杉本大介, 池田富貴, 田島翼, 佐藤綾子, 保田都,三浦正樹: 1 型糖尿病合併妊娠で SAP(Sensor Augmented Pump)療法を使用した 2 例. 第 94 回日本糖尿病学会中部地方会, 岐阜県(日本), 2020/9/19-20, 口演
- 2. 尾崎敦子, 三浦正樹, 田島翼, 保田都, 杉本大介,池田富貴: コントロール不良の2型糖尿病に合併し

たフルニエ壊疽の1例. 第94回日本糖尿病学会中部地方会, 岐阜県(日本), 2020/9/19-20, 口演

3. 保田都, 杉本大介, 田島翼, 平井春那, 伊藤智之, 千田大貴,池田富貴: 発達障害で意思疎通困難な患者が壊死性筋膜炎を契機に重度糖尿病を指摘された1例. 第94回日本糖尿病学会中部地方会, 岐阜県(日本), 2020/9/19-20, 口演.

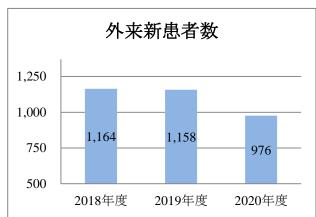
#### 和文著書

- 1. フランシーヌ R.カウフマン, 池田富貴(和訳):第12章 CGM の実際. インスリンポンプと CGM 第2版 ~糖尿病をうまく管理するためのガイド~, 雨宮伸,難波光義, 医歯薬出版, アメリカ, 2020
- 2. 池田富貴:いま読んでおきたい! 血糖データの活かし方, (編集) 小出景子, 渥美義仁, 南山堂, 東京都(日本), 2020

# 2-7 循環器内科

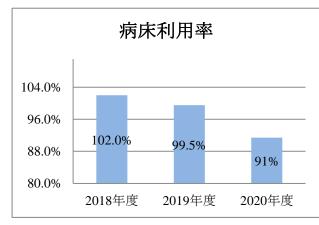
## 診療実績













## 研究・教育活動

英文原著

1. Suwa S, Ogita M, Ebina H, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M; J-MINUET investigators.

Admission during off-hours does not affect long-term clinical outcomes of Japanese patients with acute myocardial infarction: J-MINUET substudy.

Int Heart J. 2020 Mar 28;61:215-222.

2. Wada H, Ogita M, Suwa S, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M; J-MINUET investigators.
Guideline adherence and long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction: a Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) substudy.
Eur Heart J Acute Cardiovasc Care. 2020 Jan 24:2048872620902024.

3. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Takahashi N, Nishio R, Takeuchi M, Takahashi N, Endo H, Ogita M, Iwata H, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Daida H.

Neutrophil to lymphocyte ratio and long-term cardiovascular outcomes in coronary artery disease patients with low high-sensitivity C-reactive protein level.

Int Heart J. 2020 (In Press).

4. Takeuchi M, Ogita M, Wada H, Takahashi D, Nozaki Y, Nishio R, Yasuda K, Takahashi N, Sonoda T, Yatsu S, Shitara J, Tsuboi S, Tomotaka Dohi T, Suwa S, Miyauchi K, Daida H. Comparison of long-term mortality between living alone patients versus living together patients with acute coronary syndrome treated with percutaneous coronary intervention.

Eur Heart J Qual Care Clin Outcomes. 2020 Feb11. (Epub ahead of print).

- 5. Takahashi N, Ogita M, Suwa S, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M; J-MINUET investigators.
  Guideline adherence and long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction: a Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) substudy.
  Int Heart J. 2020 (In Press).
- Suwa S, Ogita M, Takahashi N, Wada H, Dohi T, Kasai T, Okazaki S, Shimada K, Miyauchi K, Bujo H, Daida H.
   Impact of LR11 as residual risk on long-term clinical outcomes in patients with coronary artery disease

treated with statins after first percutaneous coronary intervention.

Int Heart J. 2020 Apr 29. (Epub ahed of print).

7. Takano AM, Iwata H, Miyosawa K, Kimura A, Mukaida H, Osawa S, Kubota K, Doi S, Funamizu T, Takasu K, Okai I, Tamura H, Isoda K, Okazaki S, Suwa S, Miyauchi K, Sumiyoshi M, Amano A, Daida H.

Reduced number of platelets during intra-aortic balloon pumping counterpulsation predicts higher cardiovascular mortality after device removal in associaton with systemic inflammation. *Int Heart J.* 2020 *Jan* 31;61(1):89-95.

8. Watanabe H, Domei T, Morimoto T, Natsuaki M, Shiomi H, Toyota T, Ohya M, Suwa S, Takagi K, Nanasato M, Hata Y, Yagi M, Suematsu N, Yokomatsu T, Takamisawa I, Doi M, Noda T, Okayama H, Seino Y, Tada T, Sakamoto H, Hibi K, Abe M, Kawai K, Nakao K, Ando K, Tanabe K, Ikari Y, Hanaoka KI, Morino Y, Kozuma K, Kadota K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kimura T; STOPDAPT-2 investigators.

Details on the effect of very short dual antiplatelet therapy after drug-eluting stent implantation in patients with high bleeding risk: insight from the STOPDAPT-2 tiral.

Cardiovasc Interv Ther. 2020 Feb 21(Online ahead of print).

Yatsu S, Yanagawa Y, Nagasawa H, Tambara K, Suwa S.
 Successful treatment of cardiac tamponade due to rupture of the heart performing an open-chest pericardiotomy.
 Cureus 2020 Feb 25;12(2):e7101.

#### 海外学会

- 1. Nishio R, Ogita M, Suwa S, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M. Shorter door-to-balloon time,better long-term clinical outcomes in ST-segment elevation myocardial infarction (STEMI) patients: Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) Substudy (moderate poster), ACC.2020-69th Annual Scientific Session&Expo, Chicago USA, 2020/3/28-30 (digital e-poster)
- Yasuda K, Ogita M, Tsuboi S, Nishio R, Takeuchi M, Sonoda T, Wada H, Dohi T, Suwa S. Impact of complete
  percutaneous coronary revascularization on long-term outcoms in ACS patients with multivessel coronary
  artery disease. (better poster), ACC.2020-69th Annual Scientific Session&Expo, Chicago USA, 2020/3/28-30
  (digital e-poster)
- 3. Yatsu S, Ogita M, Wada H, Nozaki Y, Takahashi D, Nishio R, Yasuda K, Takeuchi M, Sonoda T, Shiozawa T, Tsuboi S, Dohi T, Suwa S. Outcome after primary percutaneous coronary intervention for ST-segment elevation myocardial infarction complicated by cardiogenic shock. European Society of Cardiology Acute Cardiovascular Care 2020, Athens-Greece, 2020/3/7-9 (digital e-poster)
- 4. Shiozawa T, Shimada K, Lee-Okada H, Kadoguchi T, Aikawa T, Hayashi H, Miyazaki T, Matsushita S, Suwa S, Yokomizo T, Amano A, Nakazato Y, Daida H, Minamino T. Levels of phospholipids omega 3 fatty acids and triacylglycerol in myocardial tissue of patients with myocardial infarction: analyzed by a lipidomics profiling method. ESC2020, Amsterdam, 2020/8/29-9/2 (digital e-poster)

#### 国内学会

- 1. Shiozawa T, Hayashi H, Sekita G, Takahashi D, Nozaki Y, Nishio R, Yasuda K, Takeuchi M, Yatsu S, Sonoda T, Wada H, Ogita M, Suwa S, Sumiyoshi M, Nakazato Y. The Association of Right Pulmonary Vein Carina Size and the Remaining of Carina Conducation after Pulmonary VeinIsolation. 第84回日本循環器学会学術集、京都、2020/7/27-8/2 (Web 開催)
- 2. Wada H, Ogita M, Suwa S, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M. Long-term Outcomes in Acute Myocardial Infarction Patients with Cardiogenic Shock: A Landmark sub-analysis from Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) Registry. 第 84 回日本循環器学会学術集、京都、2020/7/27-8/2 (Web 開催)
- 3. Nishio R, Ogita M, Suwa S, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M. Shorter door-to-balloon time, better long-term clinical outcomes in ST-segment elevation myocardial infarction (STEMI) patients: Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) Substudy. 第84回日本循環器学会学術集、京都、2020/7/27-8/2 (Web 開催)
- 4. Yasuda K, Ogita M, Tsuboi S, Nishio R, Takeuchi M, Sonoda T, Wada H, Dohi T, Suwa S. Impact of complete percutaneous coronary revascularization on long-term outcoms in ACS patients with multivessel coronary artery disease. 第 84 回日本循環器学会学術集、京都、2020/7/27-8/2 (Web 開催)
- 5. Takeuchi M, Ogita M, Tsuboi S, Nishio R, Takahashi N, Iso T, Sonoda T, Yatsu S, Wada H, Dohi T, Suwa S, Daida H, Impact of a prior history of stroke on long-term cardiac mortality in patients with acute coronary syndrome treated with percutaneous coronary intervention. 第 84 回日本循環器学会学術集、京都、2020/7/27-8/2 (Web 開催)
- 6. Nozaki Y. ヘリ搬送 ACS に対する Primary PCI 〜女性循環器内科医の立場から〜 第 2 回 SING LIVE 研究会、静岡、2020/8/29
- 7. Sonoda T, Wada H, Takahashi D, Nozaki Y, Nishio R, Yasuda K, Takeuchi M, Yatsu S, Shiozawa T, Ogita M, Suwa S. 右鎖骨下動脈閉塞に対して、両側橈骨動脈アプローチにて血管内治療を行った 1 例、 日本心血管インターベンション治療学会第 43 回東海北陸地方会、2020/10/9-10 (Web 開催)
- 8. Ogita M, 多枝病変を有する急性冠症候群の非責任病変に対するアプローチ~当院における取り組み

~、 第 156 東海・第 141 北陸日本循環器病合同地方会(Web 開催)、2020/10/31

# 2-8 小児科

# 診療実績













## 研究・教育活動

#### 原著

 Kantake M, Ikeda N, Nakaoka H, Ohkawa N, Tanaka T, Miyabayashi K, Shoji H, Shimizu T. IGF1 gene is epigenetically activated in preterm infants with intrauterine growth restriction. Clin Epigenetics 12:108. 2020

- Kantake M. Commentary of expertise on the epigenetic program during intrauterine development.
   Data Mining Genomics Proteomics 11:229.2020
- 3. 馬場洋介,宮林和紀,寒竹正人,清水俊明. 早産・低出生体重児の食物アレルギー発症に関する検討. アレルギーの臨床 40:321-326.2020
- 4. 羽根将之,馬場陽介,石田翔二,江原尚弘,宮林和紀,横倉友諒,稲毛英介,大塚宜一,清水俊明. 鶏卵摂取前に監査を認めた児の経過に関する検討. アレルギーの臨床 40:35-41.2020

#### 総説

- 1. 馬場洋介,宮林和紀,寒竹正人,清水俊明. 早産・低出生体重児の食物アレルギー発症に関する検 討. アレルギーの臨床 40:73-78.2020
- 2. 馬場洋介. 小児における深頸部膿瘍の病態と免疫学的考察. 小児科 61:193-200.2020

#### 講演

- 1. 有井直人. 重症心身障害児者の医療と支援について. 在宅重症心身障害児者対応多職種連携研修会, 伊東. 2020.2.8.
- 2. 有井直人. 様々な疾患とてんかんの鑑別. 静岡東部 Epilepsy Education Seminar online, Web 開催. 2020.11.10.
- 3. 馬場洋介. 食物アレルギーに対する経口免疫療法の実際. 順天堂大学第 45 回都民公開講座, 東京. 2020.2.15.
- 4. 馬場洋介. 小児における炎症と 免疫応答のメカニズム. 静岡小児炎症免疫研究会, Web 開催. 2020.12.18.

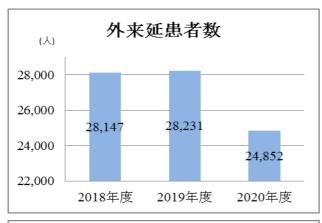
## 学会発表

- Baba Y, Miyabayashi K, Ishida S, Ebara T, Kojima M, Yamada H, Yoneyama T, Yokokura T, Yamazaki S, Honjo A, Inage E, Kudo T, Ohtsuka Y, Shimizu T. A role of basophil activation and antigen specific antibody in sublingual immunotherapy for seasonal allergic rhinitis. JSA WAO Joint Congress 2020, Kyoto, Japan. Online. 2020.9.17.
- 2. 寒竹正人,池田奈帆,大川夏紀,宮林和紀,粟田健太郎,加護祐久,斎藤雪香,東海林宏道,清水俊明. 在胎 32 週未満出生児における IGF1 遺伝子 P2 プロモーター領域メチル化の解析. 第 123 回日本小児科学会学術集会,神戸(Web 開催). 2020.8.21-23.
- 3. 宮林和紀, 馬場洋介, 長谷川恵理, 横倉友諒, 稲毛英介, 大塚宜一, 寒竹正人, 清水俊明. 小児アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法の検討-特異的抗体と好塩基球活性化の推移-. 第123回日本小児科学会学術集会, 神戸(Web 開催). 2020.8.21-23.
- 4. Miyabayashi K, Baba Y, Ishida S, Yoneyama T, Yamazaki S, Inage E, Kudo T, Ohtsuka Y, Shimizu T. Non-randomised controlled trial of systemic steroids for acute bronchial asthma attack in children. 第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会,横浜(Web 開催). 2020.10.31-11.1.
- 5. 石田翔二,馬場洋介,宮林和紀,横倉友諒,稲毛英介,大塚宜一,寒竹正人,清水俊明. 加熱卵黄による食物蛋白誘発性胃腸症の症状経過と好塩基球活性化の検討. 第123回日本小児科学会学術集会,神戸(Web 開催). 2020.8.21-23.
- 6. 石田翔二,江原尚弘,宮林和紀,横倉友諒,馬場洋介. 加熱卵黄による食物蛋白誘発胃腸炎の症状

経過と好塩基球活性化の検討. 第76回静岡小児アレルギー研究会,静岡. 2020.11.14.

# 2-9 外科

# 診療実績















#### 研究•教育活動

# 英文原著

- Hiroshi Maekawa, Tomoaki Ito, Hajime Orita, Tomoyuki Kushida, Mutsumi Sakurada, Koichi Sato, Alicia Hulbert, Malcolm V. Brock: Analysis of the methylation of CpG islands in the CDO1, TAC1and CHFR genes in pancreatic ductal cancer, DOI:10.3892/ol.2020.11340
- 2. Ito, T., Saeki, H., Guo, X., Sysa-Shah, P., Coulter, J., Tamashiro, K., Lee, R. S., Orita, H., Sato, K., Ishiyama, S., Hulbert, A., Smith, W. E., Peterson, L. A., Brock, M. V., & Gabrielson, K. L.: Prenatal stress enhances NNK-induced lung tumors in A/J mice. Carcinogenesis. 2020
- 3. Liu, B., Ricarte-Filho, J., Mallisetty, A., Villani, C., Kottorou, A. E., Rodgers, K. P., Chen, C., Ito, T., Holmes, K., Gastala, N., Valyi-Nagy, K., David, O., Gaba, R. C., Ascoli, C., Pasquinelli, M., Feldman, L. E., Massad, M. G., Wang, T. H., Jusue-Torres, I., Benedetti, E., Winn, R. A., Brock, M. V., Herman, J. G., & Hulbert, A.: Detection of promoter DNA methylation in urine and plasma aids the detection of non-small cell lung cancer. Clin Cancer Res, 2020
- Kiichi Sugimoto, Hirotaka Momose, Tomoaki Ito, Hajime Orita, Koichi Sato, Kazuhiro Sakamoto, Malcolm V. Brock: Genome-Wide Analysis of DNA Methylation in Gastrointestinal Cancer. jove.com September 2020 • 163 • e6135

### 和文原著

- 1. 櫻庭駿介 腹部領域感染症患者 (大腸穿孔を除く) に対する PMX-DHP の使用経験 vol.24 No.1 2020 エンドトキシン血症救命治療研究会誌
- 2. 上田脩平 当院における下部消化器穿孔死亡症例の検討 vol.24 No.1 2020 エンドトキシン血症救命治療研究会誌
- 3. 五島孝幸 胆嚢原発の内分泌腫瘍の一例 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 81 巻増刊 Page573、 2020.10

#### 学会発表

- 1) 国内発表
- 1. 加藤永記、安藤美沙、村井勇太、小泉明博、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、 櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一:治療に難渋した外傷性肝損傷の一例(ホ テルシティオ静岡)第 20 回術後管理フォーラム 2020.1.18
- 2. 上田脩平、伊藤智彰、安藤美沙、村井勇太、小泉明博、巾匡洋、山本陸、加藤永記、徳田智史、櫻 庭駿介、朝倉孝延、櫛田知志、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一:当院における下部消化器 穿孔死亡症例の検討(ホテル日航福岡)
  - 第24回エンドトキシン血症救命治療研究会2020.1.31

3. 櫻庭駿介、伊藤智彰、安藤美沙、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、上田脩平、徳田智史、朝倉孝延、櫛田知志、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一: 腹部領域感染症患者に対するPMX-DHP の使用経験(ホテル日航福岡)

第24回エンドトキシン血症救命治療研究会2020.1.31

- 4. 櫻庭駿介、安藤美沙、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、上田脩平、徳田智史、朝倉孝延、 伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一:特徴的な画像を呈し、内視鏡にて止血し得た回腸憩室出血の一例(アクトシティー浜松4F)静岡県外科医会第242回集談会発表抄録集2020.3.7
- 5. 加藤永記、安藤美沙、村井勇太、小泉明博、山本陸、上田脩平、徳田智史、櫻庭駿介、朝倉孝延、 伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一: 診断に苦慮した虫垂腫瘍の一例(アクトシティー浜松 4F) 静岡県外科医会第242回集談会発表抄録集2020.3.7
- 6. 伊藤智彰:血液維持透析患者における胃癌手術症例の短期成績の検討(webポスター) 第92回日本胃癌学会総会2020.7.1
- 7. 前川博: 膵頭十二指腸切除症例の術前の栄養状態が術後成績に与える影響の検討 (web) 第120回 日本外科学会定期学術集会2020.8.13
- 8. 櫻庭駿介、大腸癌におけるFatty acid binding protein5(FABP5)発現に関する検討 (web) 第120回日本外科学会定期学術集会2020.8.13
- 9. 小泉明博:大腸癌患者における術前血清B7H3濃度と予後の関連性の検討 (webポスター) 第120回日本外科学会定期学術集会2020.8.13
- 10. 伊藤智彰:肺腫瘍モデルマウスを用いた胎児期ストレスによる成人期発症肺腫瘍への影響の検討 (webポスター) 第120回日本外科学会定期学術集会2020.8.14
- 11. 山本陸、宗像慎也、牧野有里香、安藤美沙、村井勇太、小泉明博、加藤永記、上田脩平、徳田智史、 櫻庭駿介、朝倉孝延、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、

田中顕一郎、前川博、坂本一博、佐藤浩一:虚血性腸患者における終末糖化産物受容体の関連性の解明(web発表)第120回日本外科学会定期学術集会2020.8.15

12. 上田脩平、李賢哲、小林敏之、安藤美沙、村井勇太、小泉明博、山本陸、櫻庭駿介、徳田智史、朝 倉孝延、伊藤智彰、折田創、櫛田知志、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一:大腸癌における 極長鎖脂肪酸の発現(webポスター)

第120回日本外科学会定期学術集会2020.8.15

13. 田中顕一郎,板倉萌,仁平高朔,渡邉武大,安藤美沙,小泉明博,村井勇太,加藤永記,山本陸, 上田脩平,櫻庭駿介,徳田智史,朝倉孝延,伊藤智彰,櫛田知志,櫻田睦,前川博, 佐藤浩一,和田了,齊藤光江 :オラパリブの少量投与が奏効した1例 (webポスター)

第26回日本遺伝性腫瘍学会学術集会2020.8.21

14. 仁平高朔、渡邊武大、板倉萌、安藤美沙、村井勇太、小泉明博、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、和田了、佐藤浩一: 嚢胞状変性をきたした巨大胃GISTの一例、静岡県外科医会第243回集談会、富士市交流プラザ2階 2020.9.5

- 15. 板倉萌、田中顕一郎、安藤美沙、渡邊武大、仁平高朔、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、 上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、和田了、佐藤浩一、斉藤光江:遺伝 性乳癌卵巣癌症候群と診断されたトリプルネガティブ乳癌の一例、静岡県外科医会第243回集談会、 富士市交流プラザ2階2020.9.5
- 16. 安藤美沙、田中顕一郎、板倉萌、渡邊武大、仁平高朔、村井勇太、小泉明博、山本陸、 加藤永記、上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一:サブタイプの 異なる異時性両側癌の1例(webポスター)第17回日本乳癌学会中部地方会2020.9.12
- 17. 板倉萌、田中顕一郎、安藤美沙、渡邊武大、仁平高朔、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、 上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一: 3<sup>rd</sup> opinionまでに施行した 乳癌が疑われた乳管内乳頭腫の1例、第17回日本乳癌学会中部地方会(web) 2020.9.13
- 18. 田中顕一郎,板倉萌,仁平高朔,渡邉武大,安藤美沙,小泉明博,村井勇太,加藤永記,山本陸, 上田脩平,櫻庭駿介,徳田智史,朝倉孝延,伊藤智彰,櫛田知志,櫻田睦,前川博,佐藤浩一, 和田了,齊藤光江:高齢者でlate phaseにおけるパルボシクリブの使用経験 (webポスター) 第28回日本乳癌学会総会 2020.10.13
- 19. 山本陸、田中顕一郎、安藤美沙、板倉萌、渡邊武大、仁平高朔、村井勇太、小泉明博、加藤永記、 上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一:多発性乳癌の一例、(web ポスター) 第28回日本乳癌学会総会2020.10.13
- 20. 村井勇太、田中顕一郎、板倉萌、渡邊武大、仁平高朔、安藤美沙、小泉明博、山本陸、加藤永記、 上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一:高齢者・多レジメン症例 に対するアベマシクリブ投与の経験(webポスター)第28回日本乳癌学会総会2020.10.13
- 21. 安藤美沙、田中顕一郎、板倉萌、渡邊武大、仁平高朔、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、 上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一:乳癌と胃癌を併発した1例 (webポスター) 第28回日本乳癌学会総会2020.10.13
- 22. 板倉萌、田中顕一郎、安藤美沙、渡邊武大、仁平高朔、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、 上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一: 腫瘍増大をきっかけに診 断された非浸潤性アポクリン癌の一例(webポスター)第28回日本乳癌学会総会2020.10.13
- 23. 仁平高朔, 板倉 萌, 渡邉 武大, 安藤 美沙, 小泉 明博, 村井 勇太, 加藤 永記, 山本 陸, 上田 脩平, 櫻庭 駿介, 徳田 智史, 朝倉 孝延, 伊藤 智彰, 櫛田 知志, 櫻田 睦, 田中 顕一郎, 前川博, 佐藤 浩一: 胸水ドレナージが困難な状況で治療し得た癌性胸水の1例 (webポスター) 第28回日本乳癌学会総会2020.10.13
- 24. 渡邊武大、仁平高朔、板倉萌、安藤美沙、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一:治療に難渋した扁平上皮癌の1例(webポスター)第28回日本乳癌学会総会2020.10.13
- 25.田中顕一郎:高齢者集団におけるエリブリン投与前のリンパ球絶対数(ALC), 好中球/リンパ球比(NLR)とPFSとの関係、(webセッション)第82回日本臨床外科学会総会2020.10.29 26. 伊藤智彰: 胃癌手術患者におけるERASパス導入による周術期管理の変化

- (webセッション) 第82回日本臨床外科学会総会2020.10.29
- 27. 安藤美沙: センチネルリンパ節生検を省略した高齢者乳癌の2例 (webセッション) 第82回日本臨床外科学会総会2020.10.29
- 28. 伊藤智彰: 高齢大腸直腸癌手術患者におけるERASパス導入による周術期管理 変化、(web) 第75回 日本消化器外科学会総会2020.12.15
- 29. 山本陸: 肉眼的膀胱浸潤大腸癌切除例の臨床病理的検討(web) 第75回日本消化器外科学会総会 2020.12.15
- 30. 徳田智史:大腸癌手術症例に対するストレス関連マーカーとしてのRPL17,RPL34測定意義、(web) 第75回日本消化器外科学会総会2020.12.15

#### その他

- 1) 座長・講演
- 1. 田中顕一郎:座長 JBCM 研究会 2020.1.26 順天堂大学 10 号館 1 階.2020.1.26
- 2. 安藤美沙:講演 JBCM 研究会「進行乳癌、皮膚・肺転移により肺血栓塞栓症を発症した 1 例」2020.1.26 順天堂大学 10 号館 1 階.2020.1.26
- 3. 佐藤浩一: 座長「第13回静岡県東部胃癌診療研究会」 静岡、沼津リバーサイド4階「秀麗」、2020.1.30
- 4. 小泉明博:講演「ストレスによる消化管機能異常・大腸ガン患者における、B7H3の測定および解析」 静岡、順天堂大学静岡病院、G 棟 4 階,2020.1.17
- 5. 伊藤智彰:座長「静岡災害医学研究センター第6回プログレスミーティング」 静岡、順天堂大学静岡病院、G棟4階,2020.1.17
- 6. 佐藤浩一: opening lecture 「ピロリ除菌と胃がんの関係」静岡、三島プラザホテル 4F ローズマリー、2020.2.20
- 7. 田中顕一郎:講演「乳がん領域における診断と治療」静岡、エーザイ株式会社 三島オフィス (web 開催)、2020.8.7
- 8. 田中顕一郎: 座長 B-4 静岡県外科医会第 243 回集会 日本臨床外科学会 静岡支部 静岡、富士市交流プラザ 2 階、2020.9.5
- 9. 伊藤智彰:座長 A-1「静岡県外科医会第 243 回集会 日本臨床外科学会 静岡支部 静岡、富士市交流プラザ 2 階、2020.9.5
- 10. 田中顕一郎: web 講演「第 16 回静岡乳がんセカンドライン研究会」 静岡エーザイ株式会社 2020.9.28
- 11. 田中顕一郎: web 講演「静岡県東部地区免疫チエックポイント阻害剤チーム医療を考える会」静岡、 小野薬品工業株式会社・ブリスオルマイアーズ スクイプ株式会社 2020.10.23
- 12. 櫻田睦: 講演「大腸癌について知っておきたいこと」静岡、SBS 健康増進センター 2020.11.1

# 2-10 脳神経外科

# 診療実績

XX.2							
病床数	57 床						
外来新患数	1,059 人						
年間入院数	1,042 人						
手術総数	556 件						
腫瘍(脳、脊髄、眼窩)	54						
動脈瘤	72						
AVM	10						
血行再建術 (CEA/バイパス術)	17						
外傷	126						
感染症	7						
脊髄・脊椎疾患	1						
機能外科	10						
血管内手術	79						
緊急手術数	311 (55.9%)						
集光照射	21						

(グラフ:年度(4月~翌3月)集計)











#### 研究実績

#### 英文原著

- Shiba M, Ishida F, Miya F, Arai T, Mase M, Kurita H, Kasuya H, Yamamoto T, Kato Y, Iwabuchi S, Suzuki H,: Role of Computational Fluid Dynamics for Predicting Delayed Cerebral Ischemia after Aneurysmal Subarachnoid hemorrhage:Study Protocol for a Multicenter Prospective Study. Acta Neurochir Suppl 127:161-164, 2020
- 2. Kitamura T, Oishi H, Fujii T, Teranishi K, Yatomi K, Yamamoto M, Arai H: Delayed Complications Due to Polymer Coating Embolism after Endovascular Treatment. NMC Case Reort Journal 7:5-10, 2020,

#### 和文原著

1. 松崎粛統、赤須 功、田中将大、佐々木裕亮、山川功太、北川 亮、吉田浩貴、酒井 淳、沼澤真 一、伊藤康信、渡邉貞義、山本拓史、豊岡輝繁、和田孝次郎、森健太郎:未破裂脳動脈瘤患者における無症候性出血(silent hemorrhage)についての研究。脳神経外科ジャーナル別冊, VOL30 NO.3 224-229, 2021.3

#### 和文総説

1. 山本拓史、川村海渡、杉山夏来、鈴木一幹、上野英明、渡邉瑞也、中尾保秋: 内視鏡下血腫除去術の基本と応用、脳卒中の外科、48:190-195、2020

#### 和文著書

- 1. 山本拓史:脳卒中の栄養療法. 羊土社,2020
- 2. 山本拓史: 脳室内出血. CLINICAL NEUROSCIENCE 月刊 臨床神経科学, 中外医学社, Vol.38 No.4 485-487, 2020
- 3. 山本拓史: 脳卒中の栄養管理~回復期につなげる急性期からの早期経腸栄養~. Nursing Care+—エビデンスと臨床知—, 総合医学社, Vol.2 No.4 489-495, 2020
- 4. 山本拓史: 内視鏡下血腫除去術—標準的手術手技とそのコツ. 脳神経外科速報, MC メディカ出版, Vol.30 No.11 1189-1195, 2020

#### 症例報告

1. 渡邉瑞也、阿部瑛二、阪本浩一朗、堀越 恒、上野英明、中尾保秋、山本拓史: 脳梗塞と診断された 特発性脊髄硬膜外血腫の分析—抗血栓療法が行われた症例を中心に—. 脳神経外科, 48(8): 683-690, 2020

#### 学会発表

- 1. 渡邉瑞也、堀越 恒、中尾保秋、山本拓史:慢性硬膜下血腫とサルコペニアとの関連性. 第 33 回日本老年脳神経外科学会、誌上開催, Jul. 15, 2020
- 2. 堀越 恒、渡邉瑞也、中尾保秋、山本拓史:当院における 80 歳以上高齢者高血圧性脳出血症例 連続 171 例の検討. 第 33 回日本老年脳神経外科学会, 誌上開催, Jul. 15, 2020
- 3. 渡邉瑞也:高安病に伴う非動脈瘤性くも膜下出血の1例. STROKE2020, Web 開催, Aug. 23~Sep. 24, 2020
- 4. 北村高之: 頚動脈直接穿刺法により血栓回収療法を施行した症例の検討. STROKE 2020, Web 開催, Aug. 23~Sep. 24, 2020
- 5. 堀越 恒:外傷性椎骨動脈損傷に対する血管内治療の一例. STROKE2020, Web 開催, Aug. 23~Sep. 24, 2020
- 6. 渡邉瑞也:抗血栓療法中の脳出血の検討. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 79 回学術総会, Web 開催, Oct. 15~Nov. 30, 2020
- 7. 上野英明:小脳出血における内視鏡下血腫除去術の検討. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 79 回 学術総会, Web 開催, Oct. 15~Nov. 30, 2020
- 8. 長谷川浩:心原性脳塞栓症例における左心耳の形態に関する後方視的検討. 一般社団法人日本脳神経外科学会第79回学術総会, Web 開催, Oct. 15~Nov. 30, 2020
- 9. 北村高之:血栓回収時にガイディングカテーテルの遠位への誘導が難しい症例に対する REXAS 法 の有効性. 一般社団法人日本脳神経外科学会第79回学術総会, Web 開催, Oct. 15~Nov. 30, 2020
- 10. 新井 晶: 脳内出血で発症した中大脳動脈遠位部 (M4) の解離性動脈瘤の1例. 一般社団法人日本 脳神経外科学会第79回学術総会, Web 開催, Oct. 15~Nov. 30, 2020
- 11. 堀越 恒:外傷性椎骨動脈損傷に対する血管内治療の一例. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 79 回学術総会, Web 開催, Oct. 15~Nov. 30, 2020
- 12. 植木泰仁: 出血性脳卒中で発症した perimedullary AVF O 3 例. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 79 回学術総会, Web 開催, Oct. 15~Nov. 30, 2020
- 13. 宮原 怜: 頚部内頚動脈及び頭蓋内椎骨動脈の多発特発性解離を認めた症例. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 79 回学術総会, Web 開催, Oct. 15~Nov. 30, 2020
- 14. 黒田清隆:血管内治療後に再発した頭皮動静脈瘻に対して外科的治療が有効であった症例. 一般社団法人日本脳神経外科学会第79回学術総会, Web 開催, Oct. 15~Nov. 30, 2020
- 15. 渡邉碧音:開頭術が必要となった器質化慢性硬膜下血腫の一例. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, Web 開催, Oct. 15~Nov. 30, 2020
- 16. 山本拓史:被殻出血の治療として内視鏡下血腫除去術を選択すべき手術適応〜自験例 159 例の検討と文献学的考察〜. 第 27 回一般社団法人日本神経内視鏡学会, Web 開催, Nov. 5, 2020
- 17. 上野英明: 小脳出血における内視鏡下血腫除去術の検討. 第 27 回一般社団法人日本神経内視鏡学会, Web 開催, Nov. 5, 2020

- 18. 堀越 恒:硬膜外操作における手術外視鏡の試用経験. 第 27 回一般社団法人日本神経内視鏡学会, Web 開催, Nov. 5, 2020
- 19. 北村高之:ガイディングカテーテルの誘導困難が予想される症例に対する REXAS 法の有効性. 第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, Web 開催, Nov. 19-21, 2020
- 20. 渡邉碧音: 水中毒により pseudosubarachnoid hemorrhage を呈した 1 例. 第 26 回日本脳神経外科救急 学会, Web 開催, Feb. 5-6, 2021
- 21. 杉山裕紀: 頭部外傷後、頚部内頚動脈及び頭蓋内椎骨動脈の遅発性多発解離を認めた一例. 第 44 回日本脳神経外傷学会, Web 開催, Feb. 26-27, 2021
- 22. 山本拓史: 脳卒中急性期における抗てんかん薬の役割とは. STROKE2021 ランチョンセミナー, 福岡, Mar. 11, 2021
- 23. 山本拓史: 脳卒中急性期における栄養療法の重要性. STROKE2021, Web 開催, Mar. 13, 2021
- 24. 渡邉瑞也: 脳梗塞と診断され抗血栓療法が行われた特発性脊髄硬膜外血腫の分析. STROKE2021, Web 開催, Mar. 13, 2021
- 25. 上野英明: DOAC 時代の非外傷性脳出血の多施設登録研究~J-ICH registry. STROKE2021, 福岡, Mar. 11, 2021

#### 講演会

- 1. 山本拓史: COVID-19 感染症における栄養管理、Abbott Web セミナー, Jun. 16, 2020
- 2. 山本拓史: 脳関連疾患に伴うてんかんへの早期治療介入の意義. 東海エリアオリジナル~ペランパネルインターネットライブセミナー~, Jul. 10, 2020
- 3. 植木泰仁: くも膜下出血例におけるペランパネルの試用経験. フィコンパ®適応追加記念講演 in 静岡東部, Aug. 19, 2020
- 4. 山本拓史: 脳関連疾患に伴うてんかんへの早期治療介入の意義~基礎・臨床から見えてきたペランパネルの可能性~. 脳卒中後てんかんについて考える会, Aug. 27, 2020
- 5. 山本拓史: てんかん診療における AMPA 受容体の役割と脳卒中後てんかんについて. Web 講演会 脳 卒中と AMPA を考える会 in 鹿児島, Sep. 1, 2020
- 6. 山本拓史: 脳卒中関連発作に対してペランパネルをいかに使うか!. 脳血管疾患 WEB seminar in TAIHAKU, Sep. 7, 2020
- 7. 山本拓史: 急性症候性発作と脳卒中後てんかんのマネージメント. 脳卒中診療 Web セミナー, Sep. 24, 2020
- 8. 山本拓史: 脳関連疾患に伴う"seizures"から"epilepsy"における地域連携の意義. 地域連携てんかん診療インターネットライブセミナー, Oct. 21, 2020
- 9. 山本拓史: 脳関連疾患に伴う"seizures"から"epilepsy"への早期治療介入. 脳卒中周術期管理セミナー, Oct. 26, 2020
- 10. 山本拓史:日常診療で遭遇するてんかんへのアプローチ〜当院におけるペランパネルの使用経験と可能性〜. 脳卒中後てんかんを考える会 WEB セミナー, Oct. 27, 2020
- 11. 山本拓史: てんかん診療における AMPA 受容体の役割と脳卒中後てんかんについて. 脳卒中後てんかん治療を考える会, Nov. 18, 2020
- 12. 長谷川浩: 脳卒中急性期における栄養療法. グルセルナ®-REX 発売3周年記念症例検討ライブセミ

- ナー〜経腸栄養時の血糖変動が患者に与える影響〜, Dec. 2,2020
- 13. 山本拓史: 脳卒中患者に必要な栄養療法. デバイス&ニュートリション In Shizuoka, Dec. 4, 2020
- 14. 北村高之: 当院での血栓回収療法-REACT の初期使用経験-. デバイス&ニュートリション In Shizuoka, Dec. 4,2020
- 15. 山本拓史: 脳関連疾患に伴うてんかんへの早期治療介入の意義~基礎・臨床から見えてきたペランパネルの可能性~. 脳卒中関連てんかん診療 Premium Digital 座談会, Dec. 16, 2020
- 16. 山本拓史: 脳関連疾患に伴う"seizures"から"epilepsy"への対応. 第2回桜山てんかん外科研究会, Dec. 18, 2020
- 17. 山本拓史:脳関連疾患に伴う"seizures"から"epilepsy"への対応. 青森県てんかん診療 WEB 講演会, Dec. 21, 2020
- 18. 山本拓史: 急性症候発作と脳卒中後てんかんのマネージメント. 脳卒中診療 Web セミナー, Jan. 20, 2021
- 19. 山本拓史: 抗凝固療法が必要な症例は何か? ~DOAC 時代の抗血栓療法の適応について. Hamamatsu Stroke Web Seminar, Jan. 29, 2021
- 20. 山本拓史: 脳関連疾患に伴う"seizures"から"epilepsy"への AMPA 受容体阻害薬の可能性. 北信 WEB セミナー, Feb. 17,2021
- 21. 山本拓史: 脳関連疾患に伴う"seizures"から"epilepsy"へのペランパネルの可能性. 上田市脳神経外科 てんかん WEB セミナー, Feb. 19, 2021
- 22. 山本拓史: 出血性脳卒中における手術と周術期管理~内視鏡下血腫除去術の手技とてんかん発作の 術後管理~. 脳卒中後てんかん診療 Web セミナー, Mar. 2, 2021
- 23. 山本拓史: 急性症候性発作と脳卒中後てんかんのマネージメント. てんかん WEB セミナー, Mar. 17. 2021
- 24. 山本拓史: てんかん診療における医療連携について. てんかん治療 Web セミナーin 伊豆, Mar. 24, 2021
- 25. 山本拓史: 脳関連疾患に伴う"seizures"から"epilepsy"への対応~AMPA 受容体阻害薬の可能性~. 神経救急連携 WEB セミナー, Mar. 30, 2021
- 26. 山本拓史: 脳関連疾患に伴う"seizures"から"epilepsy"への対応~AMPA 受容体阻害薬の可能性~. 脳卒中に関連するてんかん診療ライブセミナーin 東海, Mar. 31, 2021

#### その他

- 1. 山本拓史、中尾保秋、上野英明、渡邉瑞也:災害時における症候性てんかん患者の服薬管理と重積 発作への対応に関する検討.静岡災害医学研究センター紀要, P36-37, 2020
- 2. 渡邉瑞也、上野英明、中尾保秋、山本拓史:災害時における頭部外傷によるけいれん発作と患者の 栄養状態に関する検討. 静岡災害医学研究センター紀要, P38, 2020
- 3. 上野英明、山本拓史:新規治療法開発を目指したストレスキナーゼ活性の亢進する glioblastoma 細胞株移植動物モデルのストレスキナーゼ阻害薬の効果の検討. 静岡災害医学研究センター紀要, P39-40, 2020

# 2-11 整形外科

# 診療実績















# 研究•教育活動

#### 原著 (邦文)

- 1. 諸橋 達、神田章男、最上敦彦、大林 治、岩瀬秀明、錦野匠一、金子和夫: 股関節滑膜骨軟骨腫症に対して股関節鏡で摘出した1例. Hip Joint 46, 977-981, 2020.
- 2. 井上純彌、小林佑介、佐竹勇人、澳昂佑、小林敦郎、大林治、熊井司 自転車トラック競技ナショナルチーム 選手における腰痛と身体機能の関連 JOSKAS 45(2),340-341,2020
- 3. 髄内釘固定を用いた遠位脛骨斜め骨切り術(原著論文症例報告) 諸橋 達、最上 敦彦, 亀田 壮, 松尾 智次, 村岡 辰彦, 大林 治 日本足の外科学会雑誌 (0916-7927)41 巻 1 号 Page328-331(2020.08)
- 4. 西嶋 智子, 最上 敦彦, 諸橋 達, 神田 章男, 大林 治, 金子 和夫. 恥骨骨片が膀胱穿通をきたした骨盤輪骨折の1例. 骨折2020;42(1):833-837

#### 総説

- 1. 阿多由梨加、寺門敦彦、大林治、井上純彌、熊井司 スポーツドクターの現場(第7回)自転車 関節外科 39 巻 P458-462:2020
- 2. 最上敦彦:

上腕骨近位端骨折に対する髄内釘固定術.

Orthopaedics 33 別冊, 47-59, 2020.

- 3. 大林 治、岩瀬秀明、前田浩行、小林敦郎、佐藤太一: 災害時被災者のロコモティブシンドロームおよび運動器不安定症患者の運動機能評価. 令和元年度静岡災害医学研究センター紀要 47-51. 2020.
- 4. 最上敦彦、岩瀬秀明、大林 治:

災害時の躯幹骨骨折の治療機器の力学的評価 - 大腿骨転子部骨折における新規骨接合材料の開発 フックピンによる骨頭把持力の力学的評価-

令和元年度静岡災害医学研究センター紀要 52-53.2020.

- 5. 神田章男、岩瀬秀明、大林 治、諸橋 達、前田浩行、武井裕輔、三井和幸: 災害・救急医療で使用可能な画期的な駆血装置の開発-至適加圧条件の検討と新しい駆血システムの開発-令和元年度静岡災害医学研究センター紀要 105-108. 2020.
- 6. 諸橋 達、岩瀬秀明、神田章男、最上敦彦、大林 治、佐藤太一、山口雅史:

人工股関節全置換術におけるステム挿入時に発生する打ち込み音の解析-確実なステム設置のための簡便な術 中評価法を目指して

令和元年度静岡災害医学研究センター紀要 109-112.2020.

- 7. 最上敦彦: 大腿骨頚基部骨折に対する骨接合術. 特集 大腿骨頚部・転子部骨折の手術 整復と 内固定 材の選択一. 関節外科 37(9), 株式会社メジカルビュー社,53-63,2018.
- 8. 最上敦彦: 上腕骨近位端骨折に対する髄内釘固定術. 新 執刀医のためのサージカルテクニック 上肢. 株式会 社メジカルビュー社, 27-54, 2019.
- 9. 最上敦彦:上腕骨近位端骨折に対する髄内釘固定術. 肩周辺骨折の治療. MB Orthop. 33(12), 47-59, 2020
- 10. 最上敦彦: インプラント周囲大腿骨骨折(TKA後のインプラント周囲骨折)③髄内釘固定. スタンダード骨折手術治療 下肢. 株式会社メジカルビュー社. 188-197. 2021.

11. 最上敦彦: Pilon 骨折 ②髄内釘固定. スタンダード骨折手術治療 下肢, 株式会社メジカルビュー社, 364-375, 2021.

#### 著書

1. 守屋秀一、最上敦彦:

鎖骨骨折

スポーツ整形外科学 疾患別スポーツツ診療、肩関節・上腕部、文光堂、P241-243、2020.

- 2. 名井陽、最上敦彦(編): 誌上シンポジウム 外傷における人工骨の臨床. 臨床整形外科 53(12), 医学書院, 1046-1102, 2018
- 3. 最上敦彦 (編): 特集/整形外傷治療における新基軸 (innovation). Bone Joint Nerve 通巻第34号第9巻第3号, アークメディア社、2019
- 4. 最上敦彦(編): 骨折治療基本手技アトラス ~押さえておきたい 10 のプロジェクト~. 全日本病院出版会, 東京、2019

#### 学会発表

1. 糸井 陽 他:

第3腰椎骨粗鬆症性椎体骨折に対する2期的short 再建予定が3ヶ月の間に第8胸椎固定まで至った1例~後悔などあろうはずしかありません~

第21回圧迫性脊髄症研究会 2020年1月18日(東京)

2. 志村有永 他:

当院におけるコンドリアーゼ注入療法の治療経験

第45回静岡整形外科脊椎研究会 2020年2月14日(静岡)

3. 水野洋佑

胸痛を主訴とする胸痛椎間板へにア:症例報告

第45回静岡整形外科脊椎研究会 2020年2月14日(静岡)

4. 糸井 陽 他:

陳旧性骨粗鬆症性椎体骨折・遅発性神経障害に対する術式選択近年での後方固定併用椎体形成術の位置づけとは 第15回御茶ノ水脊椎セミナー 2020年2月22日(東京)

5. 志村 有永 他:

腰椎椎間板ヘルニアに対するコント・リア・セ、注入療法の治療経験

第15回御茶ノ水脊椎セミナー 2020年2月22日(東京)

6. 最上敦彦:

上腕骨骨幹部骨折(遠位 1/3)には髄内釘が一番や!

第32回日本肘関節学会学術集会、ディベート 2020年2月6-8(奈良)

7. 神田章男

術前仰臥位 Sacral Slope から手術台における仰臥位 Sacral Slope への変化予測

第50回日本人工関節学会 2020年2月20-22日(福岡)

8. 水野洋佑 神田章男

外傷性股関節症に対する人工股関節全置換術の成績

第50回日本人工関節学会 2020年2月20-22日(福岡)

9. 志村有永 他:

Terrible Triad 損傷に対する治療戦略

第93回日本整形外科学会学術総会 2020年6月11-8月31日(WEB)

10. 神田章男

手術中の骨盤傾斜変化がポータブルナビゲーションを使用した術後寛骨臼側インプラント 第93回日本整形外科学会学術総会 2020年6月11-8月31日(WEB)

11. 最上敦彦:

進化型髄内釘を用いた下肢髄内釘治療.

第46回日本骨折治療学会学術集会、セミナー、 2020年9月19-21(WEB)

Journal of Japanese Society for Fracture Repair 42, s95, 2020.

12. 守屋秀一、最上敦彦、諸橋 達、神田章男、西島智子、金子和夫:

上腕骨近位端骨折に対する人工肩関節置換術とリバース型人工肩関節置換術の治療経験。

第46回日本骨折治療学会学術集会、2020年9月19-21(WEB)

Journal of Japanese Society for Fracture Repair 42, s199, 2020.

13. 小畑宏介、内藤聖人、金子彩夏、後藤賢司、杉山陽一、馬場智規、最上敦彦、岩瀬嘉志、大林 治、金子和夫: 橈骨遠位端骨折に対する小皮切手術.

第46回日本骨折治療学会学術集会、2020年9月19-21(WEB)

Journal of Japanese Society for Fracture Repair 42, s203, 2020.

14. 小畑宏介、内藤聖人、金子彩夏、後藤賢司、杉山陽一、馬場智規、最上敦彦、岩瀬嘉志、大林 治、金子和夫: 橈骨遠位端開放骨折に対する一期的掌側ロッキングプレート固定の治療経験.

第46回日本骨折治療学会学術集会、2020年9月19-21(WEB)

Journal of Japanese Society for Fracture Repair 42, s237, 2020.

15. 分島智子、神田章男、諸橋 達、最上敦彦、大林治、二村謙太郎、上田芳彦:

当院で初期治療を行ったのち転院搬送を要した下腿開放骨折の治療経験、

第46回日本骨折治療学会学術集会、2020年9月19-21(WEB)

Journal of Japanese Society for Fracture Repair 42, s294, 2020.

16. 木原 航、最上敦彦、西島智子、大林治、金子和夫:

開放性距骨脱臼に対して靭帯修復に足関節架橋型創外固定を併用した一例.

第46回日本骨折治療学会学術集会、2020年9月19-21(WEB)

Journal of Japanese Society for Fracture Repair 42, s319, 2020.

17. 守屋秀一、最上敦彦、大林治、金子和夫:

非定型大腿骨骨折に対して術後にロモソズマブを使用した 2 例.

第46回日本骨折治療学会学術集会、2020年9月19-21(WEB)

Journal of Japanese Society for Fracture Repair 42, s483, 2020.

18. 守屋秀一、最上敦彦、諸橋 達、神田章男、西嶋 智子、金子和夫:

大腿骨転子部骨折に対するフックピンネイルの治療成績。

第46回日本骨折治療学会学術集会、2020年9月19-21(WEB)

Journal of Japanese Society for Fracture Repair 42, s528, 2020.

19. 波多江文俊、神田章男

大腿骨頚部骨折をきたした 21 トリソミー (ダウン症) の一例.

第46回日本骨折治療学会学術集会、2020年9月19-21(WEB)

Journal of Japanese Society for Fracture Repair 42, s543, 2020.

20. 糸井 陽

馬尾の牽引で頚髄は牽引される-新鮮4屍体での解剖学証明-

第49回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020年9月6-9日(WEB)

21. 最上敦彦

Debate 企画:感染性偽関節の治療-ILizarov 法 VSMasquelet 法-

第33回日本創外固定·骨延長学会 2020年9月3-15(WEB)

22. 糸井 陽 他:

片側2本の腸骨スクリュ-(MBT-DIS)の骨粗鬆症例に対する刺入精度 第27回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会 2020年10月2-3日(WEB)

23. 寺本樹里 他:

C2 以外への intralaminar screw という選択肢~中下位頸椎も含めて~ 第 27 回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会 2020 年 10 月 2-3 日(WEB)

24. 守屋秀一

腱板断裂と帯状疱疹による C5 運動神経麻痺が合併した 1 例 肩甲骨関節窩骨折鳥口突起重複骨折を合併した 1 例 投球障害患者の胸椎弯曲アライメントに着目した形態特性の比較 第 47 回日本肩関節学会 2020 年 10 月 9-10 日 (WEB)

25. 神田章男

Direct lateral approach を用いた大腿骨転子下短縮骨切り併用人工股関節全置換術. 第 47 回日本股関節学会 2020 年 10 月 23-24 日(WEB)

26. 諸橋 達

変形性股関節症に対する画像評価と理学療法の効果 第47回日本股関節学会 2020年10月23-24日(WEB)

27. 寺本樹里 神田章男

ペルテス様扁平骨頭に対して大腿骨骨切り併用偏心性寛骨臼回転骨切り術 (ERAO) を施行した一例. 第 47 回日本股関節学会 2020 年 10 月 23-24 日(WEB)

28. 西村 佑、佐藤太一、本間康弘、岩瀬秀明、諸橋 達、大林治: 人工股関節全置換術におけるステム挿入状態評価のための打検ハンマの開発。 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 2020年11月6-7日(WEB)

29. 待山 祐一郎, 諸橋 達, 石橋 仁志, 佐々木 響子, 最上 敦彦, 大林 治, 亀田 壮, 松尾智次 神経鞘内ガングリオンにより足根管症候群を生じた一例(会議録/症例報告) 第45回日本足の外科学会学術集会 2020年11月26-12月13日(WEB)

30. 石橋仁志 他:

強剛性母趾に対して Cheilectomy および短縮骨切りを行った 4 例 第 45 回日本足の外科学会学術集会 2020 年 11 月 26-12 月 13 日(WEB)

31. 諸橋 達

外反母趾に対する新しい基節骨骨切りの提唱

第45回日本足の外科学会学術集会 2020年11月26-12月13日(WEB)

32. 守屋秀一

距骨下関節脱臼整復により関節内に陥入した骨片を関節鏡視下に摘出した1例第12回日本関節鏡・膝・スポ-ツ整形外科学会第46回日本整形外科スポ-ツ医会学術集会2020年12月17-19(WEB)

#### 講演・その他

1. 最上敦彦:

開放t<sup>®</sup> iv骨折の治療戦略 第4回湘南の重度四肢外傷 2020年5月17日

2. 最上敦彦

髄内釘治療にあける「学と術と道」

第93回日本整形外科学会学術総会(教育研修講演) 2020年6月11-8月31日(WEB)

3. 最上敦彦

最上の髄内釘シリーズ①大腿骨編

Fractur Web Forum 2020年6月20日(WEB)

4. 大林 治

骨粗鬆症治療の最近の診断と治療

三島薬剤師研修会 2020年8月19日(静岡)

5. 最上敦彦

第11回京大外傷研究会 2020年6月27日(大阪)

6. 最上敦彦

Fracture Web Forum 2020年5月23日 2020年6月20日(WEB)

7. 最上敦彦

ZIMMER BIOMET Reverse Shoulder Arthroplasty License Course 2020年7月19日(WEB)

8. 分島 智子

重度四肢外傷 Web スターターセミナー2020, 演者業務

Web 開催,2020年8月15日~8月16日

9. 最上敦彦

ZIMMER BIOMET Reverse Shoulder Arthroplasty License Course 2020年11月8(WEB)

#### (参加)

1. 守屋 秀一 (世話人)

第3回上腕骨近位端骨折研究会 2020年1月10-11日(福岡)

2. 分島 智子

第3回上腕骨近位端骨折研究会 2020年1月10-11日(福岡)

3. 糸井 陽

第6回日本脊椎前方側方侵入手技研究会 2020年1月25-26(東京)

4. 糸井 陽 (座長)

第45回静岡整形外科脊椎研究会 2020年2月14日(静岡)

5. 大林 治

第50回日本人工関節学会 2020年2月20-22日(福岡)

6. 諸橋 達

第50回日本人工関節学会 2020年2月20-22日(福岡)

7. 鶴上 浩規

第93回日本整形外科学会学術総会 2020年6月11-8月31日(WEB)

8. 守屋 秀一

第93回日本整形外科学会学術総会 2020年6月11-8月31日(WEB)

9. 木原 航

第93回日本整形外科学会学術総会 2020年6月11-8月31日(WEB)

10. 分島 智子

第93回日本整形外科学会学術総会 2020年6月11-8月31日(WEB)

11. 寺本 樹里

第93回日本整形外科学会学術総会 2020年6月11-8月31日(WEB)

12. 大谷 慧

第93回日本整形外科学会学術総会 2020年6月11-8月31日(WEB)

13. 石橋 仁志 第93回日本整形外科学会学術総会 2020年6月11-8月31日(WEB)

14. 諸橋 達 第93回日本整形外科学会学術総会 2020年6月11-8月31日(WEB)

15. 神田 章男 第46回日本骨折治療学会学術集会 2020年9月19-21 (WEB)

16. 鶴上 浩規 第 47 回日本肩関節学会 2020 年 10 月 9-10 日(WEB)

17. 糸井 陽 第29回日本脊椎インストウルメンテーション学会 2020年11月13-22日(WEB)

18. 分島 智子 第 34 回日本外傷学会学術集会 2020 年 12 月 7-8 日(WEB)

# 2-12 脳神経内科

#### 診療実績













# 【はじめに】

2020 年度の静岡病院脳神経内科では、新型コロナウィルスの蔓延の中、医局員の先生方共々、忙しい日々を送ってまいりましたが、大きな問題もなく順調な運営に協力して頂き感謝申し上げます。 当科は引き続き、静岡県東部地区の数少ない神経内科専門の診療科の使命を全うすべく、以下の 点に注意し診療活動を行っております。外来診療では、初診や紹介患者は来院してから待ち時間を 最小限にするよう、可及的速やかな初期対応を継続しております。外来患者数も徐々に増加傾向であります。入院患者の診療でも医師同士の連携を密に行い、私も1日1回は必ず病棟を自分で回診するなどのサポートを継続し、医療安全の面でも最善を尽くして参ります。

研究面では、恵まれた環境を生かして約18年の間1度も欠かさず地方会発表を継続し、発表例を 含め、臨床上意義のある症例は論文として発表して参りました。少しづつ論文化を継続しておりま す。

初期研修医の教育も重要です。静岡病院は1ヶ月ずつのローテーションなので、まず神経学のエッセンシャルを吸収していただければと思います。1年目に脳内をローテーションして興味を持ち、2年目にも選択してくれる研修医も出てきて、大変ありがたいことであると感じます。2020年は、静岡病院への学生さん(M4から M5)のローテーションがなく、残念でしたが、来年度以降のラウンドでは、教育をしっかり行い、静岡病院の初期研修医を増やし、さらには神経学教室への入局者増加に貢献したいと考えております。

当科の人事ですが、安藤真矢と星野 泰延医師らが中核として、診療及び教育にリーダーシップを発揮してくれています。安藤医師は、准教授に昇進し静岡病院の各科と緊密に連携しリーダーシップを発揮しております。星野医師は、医局の中心として診療のみならずローテーションの医師、研修医の指導を熱心に行っております。さらには、継続して自治医大出身の下田メディカルセンター勤務の医師を週1日受け入れ、専門医として教育を行ってくれています。当科の筋電図の件数を減らすことなく継続しております。これまでの歴代教授・医局長・教室の諸先生のご理解に感謝するとともに、今後とも一層のご指導・ご支援を賜ればありがたく存じます。

#### 【スタッフ (R2年12月現在)】

野田和幸(科長 先任准教授)、大熊泰之(教授)、星野泰延(病棟医長・助手)、石黒雄太(序助手)、2名の助手はローテーションで、卒後3-5年目の各先生が3ヶ月ごとに2名ずつ勤務し、病棟・救急外来等で活躍してくれました。

#### 【診療データ】

外来患者数ですが、初診は月平均 100 人で昨年とほぼ同等で、再診は月平均 1,800 人と増加傾向で した。

例年通り沼津、三島、伊豆半島全域をはじめ、熱海、湯河原、御殿場、裾野、富士、富士宮などから通院しておられます。静岡市、東京都、山梨県からもパーキンソン病や運動障害の患者さんが通院されました。富士市の池辺クリニック、静岡市の城西クリニック、富士宮市の東静脳神経センター、三島市の森本神経内科クリニックといった、当科出身の諸先生方からも随時ご紹介頂き、大変光栄に思います。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 【週間外来表 (R2年12月現在)】

	曜日	月	火	水	木	金	土
午前	1診	星野	野田	石黒	野田	星野	交代制
	2診	初診医	石黒	初診医 (野田)	大熊	大熊	第4筋電図(野田)
午後	1診	星野		石黒	野田	星野	
		ボトックス			星野(筋電		
					図)		

病棟は 4B 病棟で眼科と脳神経内科の 2 科体制になって 3 年経ちました。看護師さんらスタッフも 眼科は動ける患者さんが多いものの入退院が激しく、脳神経内科は介護度が高く大変だと思いますが、慣れてきたようです。入院患者の総数は 500 人(兼科含む)で昨年と横ばいでした。パーキンソン病の入院患者が最も多く、次いで脳梗塞の患者でした。その次が ALS、痙攣などの運となって おりました。その他、ほぼ神経学のすべての領域の症例を診療しております。平均在院日数は、ほぼ年間を通じて 20 日以内達成を継続できており、MSW や退院支援ナースの働きには常に感謝して います。

病病連携、病診連携の重要性も常に認識しています。また長岡リハビリテーション病院、松崎研一郎院長はじめスタッフの皆様には、患者さんだけでなく教室員が毎度お世話になっております。さらに日頃からお世話になっている病院・医院の先生方や施設の方々にも心から御礼申し上げます。

#### 【研究】

#### (1) パーキンソン病等 Movement disorders の病態および治療に関する研究:

大熊は関東パーキンソン病勉強会の主要メンバーとして、数々の共同研究に参加してきました。 パーキンソン病の姿勢異常の研究では自治医大ステーションクリニック藤本先生が論文投稿目前 まで来ています。また新しい共同研究として、東京女子医大飯嶋先生を中心に嗅覚障害とレム睡眠 行動異常(RBD)を中心に調べており、昨年症例登録が終了しました。解析結果が楽しみです。

重度嗅覚障害をともなうパーキンソン病患者において、ドネペジルが認知症発症を予防できるかどうかを前向きに調べる DASH-PD 試験も無事終了しました(厚生労働科学研究費補助金[現 AMED 臨床研究・治験推進研究事業];平成 24 年~28 年度[分担研究者])。イベント発生率が少ない関係で1年間延長になりましたが、当院では全国で4番目に多い12 例をエントリーしてフォローしています(大熊、野田). さらにドネペジルの歩行に対する効果を客観的にみるために、患者さんの携帯歩行計記録を行っています(大熊)。

大熊はオランダの Prof. Bas Bloem と共同で、日内変動とすくみ足を有するパーキンソン病における転倒の前方視的調査を行いました。また携帯歩行計を用いてパーキンソン病や関連疾患の歩行解析を行っています。パーキンソン病患者さんの家庭での転倒とすくみ足を客観的に評価する試みを継続しています。

野田は不随意運動を呈する例をこれまでに多数英文で症例報告しました。今後も診療と並行して、

症例報告を継続しようと考えております。

さらに、徳島大学主導での高用量 E0302 の筋萎縮性側索硬化症に対する第Ⅲ相試験-医師主導治験-に参加し、症例を登録いたしました。引き続き、アンケート調査への協力も参加する予定です。 静岡東部地域での遠隔診療を準備中です。

#### (2) 脳血管障害に関する研究:

脳血管障害グループの先生からの依頼で、心房細動の実態把握と予後調査のための患者登録研究 (RAFFINE)に参画し、17 例登録を行い無事終了となりました。

# (3) 神経免疫学的研究:

多発性硬化症に対して使用できるようになった種々の Disease modifying therapy(DMT)を試みて症例を蓄積しています.

## 【研究業績、活動等】

日本神経学会関東地方会へ年4回欠かさず報告しております。

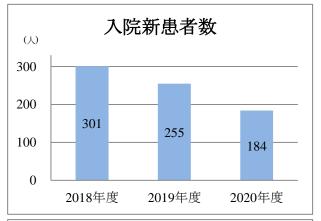
# 2-13. 心臟血管外科

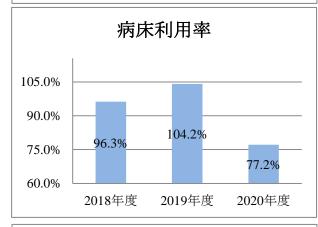
## 診療実績

















#### 診療活動

順天堂大学医学部附属静岡病院心臓血管外科では、平成 2020 年度の 1 年間で心臓・大血管(腹部大動脈を含まない)手術 112 例、腹部大動脈瘤やその他の手術を含めて計 205 例の手術を実施しました。緊急手術はそのうち 89 例でした。2020 年 12 月より診療責任者交代となり更なる診療成績の向上、治療方法の拡充を目指して参ります。

当科は現在4人のスタッフで診療を行っております。診療圏は伊豆半島を含む静岡県東部地域でありますが、心臓血管外科診療を行う施設は多くありません。一方で地域の高齢化は進んでおり、循環器治療が必要な患者様が多くいらっしゃいます。さらに首都圏と比較しても高齢者、全身疾患や併存症を有する患者様の割合が多いことも特徴です。このようなリスクの高い患者様に対しても大学附属病院の利点である他診療科および多職種との強力な連携を築き診療を行っております。循環器内科との合同カンファレンス、麻酔科・手術室・集中治療室・臨床工学室との多職種カンファレンスを毎週開催しております。

## 次年度目標

近年は小切開や内視鏡で行う低侵襲心臓手術(MICS; Minimally Invasive Cardiac Surgery)を積極的に行い、2017年には DaVinci システムによるロボット心臓手術の認定を取得しました。順天堂グループの優れた成績を維持しながら低侵襲化に取り組むことに特に力を入れております。近い将来、静岡病院でロボット心臓手術が実施できるように準備を行っております。

低侵襲治療分野においては内視鏡手術のみならず血管内治療も症例数が増加しその治療成績も向上しております。大動脈瘤に対するステントグラフトは耐術能に悖る患者様や Frail 症例に対して行われる血管内治療でありますが、従来の開胸手術とともにその成績は良好です。また実施資格を有するスタッフが加わったことと、近くハイブリッド手術室が開設されることから 2022 年には循環器内科と合同で経カテーテル大動脈弁植え込み術(TAVI; Transcatheter Aortic Valve Implantation)を開始する予定です。2021 年度も引き続き、臨床面においては手術成績の向上により重点を置いて、県東部地域の基幹病院としての地位を確固たるものとすることを目標といたします。また、静岡病院発(静岡病院のスタッフが筆頭著者・責任著者となっているもの)の研究発表を発信していき、研究面でも地域・業界に寄与すべく各種地方会や研究会に積極的に演題を発表していきます。

診療・研究・教育の 3 分野で、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構における基幹施設にふさわしい活動を年間通じて継続してまいりますので、みなさま方からのご指導・ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 研究 • 教育活動

- ① 原著(英文)
- 1. Mukaida H, Hayashida M, Matsushita S, Endo D, Oishi A, Shimada A, Hata H, <u>Kajimoto K</u>, Yamamoto T, Amano A: Free triiodothyronine (fT3) and B-type natriuretic peptide (BNP) predict in-hospital mortality after valve surgery. Mukaida H, Hayashida M, Matsushita S, Endo D, Oishi A, Shimada A, Hata H, Kajimoto K, Yamamoto T, Amano A. Gen Thorac Cardiovasc Surg 68:585-595, 2020

2 . Oishi A, Yamamoto T, Kajimoto K, Amano A: Surgical Treatment of Celiacomesenteric Trunk Aneurysm: Report of 2 Cases. Am J Case Rep. 21:e927077, 2020

# ② 学会発表 (国内)

1. <u>梶本完</u>, 山本平, 遠藤大介, 大石淳実, 嶋田晶江, 西田浩介, 李智榮, 小田遼馬, 大野峻哉, 畑博明, 浅井徹, 天野篤: Short- and log-term outcomes of CABG with proximal anastomosis: A propensity analysis of Juntendo multicenter CABG registry. 第 73 回日本胸部外科学会, パネルディスカッション, 名古屋, 2020

# 2-14 <u>呼吸器外科</u>

# 診療実績















# 研究•教育活動

## 学会発表

- 1.平山俊希: 前縦隔腫瘍に対して臥位の左胸腔アプローチによる RATS 縦隔腫瘍摘出術を施行した一例. 第 37 回日本呼吸器外科学会, Web 開催, 2020 年 10 月 29 日
- 2.平山俊希: イブニングセミナー -より効率的なロボット支援下肺癌手術を目指して- 第 37 回日本呼吸器外科学会, Web 開催, 2020 年 10 月 29 日
- 3.平山俊希: Fusion Surgery for Thoracic. 肺葉切除の port placement と使用器具. The 2nd Fusion Surgery for Thoracic. Web 開催, 2021 年 2 月 22 日

# 2-15 形成外科

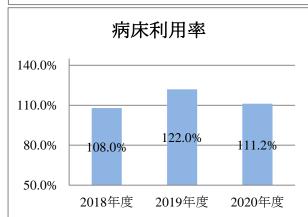
# 診療実績















### 研究・教育活動

#### 学会発表 (国内)

1. 千田大貴、下地一彰、水野博司、小室裕造

同一術野における Posterior cranial vault distraction osteogenesis と foramen magnum decompression の併用 第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会(2020 年 名古屋)

2. 千田大貴、下地一彰、水野博司、小室裕造

水頭症を合併した頭蓋骨縫合早期癒合症における脳室-腹腔内シャント挿入部の検討 第 16 回 Craniosynostosis 研究会 (2020 年 埼玉)

3. 内山美津希、千田大貴、植木響政、水野博司

ベタイン/ポリヘキサヒドゲルによる壊死性筋膜炎の治療検討 第63回日本形成外科学会総会・学術集会(2020年 名古屋)

# 学会発表 (パネルディスカッション)

1. 千田大貴、下地一彰、小室裕造

Unfavorable result から学ぶ posterior cranial vault distraction osteogenesis を軸とした治療における注意点 第 38 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会(2020 年 東京)

#### 論文

1. Case report

Robinow syndrome in a newborn presenting with hydrocephalus and craniosynostosis

Koichiro Sakamoto & <u>Daiki Senda</u> & Sandro von Däniken & Bedirhan Boztepe & Yuzo Komuro & Kazuaki
Shimoji

Child's Nervous System published online 17 February 2021

2. 皮膚・皮下組織の縫合

伊藤智之、中川雅裕

臨床外科 第75巻 第11号 2020年増刊号

# 2-16 眼科

# 診療実績















#### 研究・教育活動

#### 原著(和文)

- 1. 市川浩平, 太田俊彦, 朝岡聖子, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏: 新しい眼内レンズ iMics1(MP70)の術後早期成績, 臨床眼科, 2020.06, 74(6), 713-720
- 2. 土至田宏, 松崎有修, 東千晶, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 太田俊彦: 過去3年間に入院を要した角膜潰瘍例の検討,臨床眼科, 2020.07, 74(7), 887-891

#### 原著 (英文)

 Toshida H: Topographical Central Island-Like Pattern After 24 Hrs of Continuous Intraocular Pressure Monitoring with a Contact Lens Sensor., International Medical Case Reports Journal 2020, 13:19-26

#### 総説

- 1. 土至田宏: CL 白熱教室 2019: 処方の基礎と応用 眼疾患患者の QOL 向上を目的とした CL の 処方に必要な手続き. 日本コンタクトレンズ学会誌, 2020.3;62(1):22-26
- 2. 土至田宏:治療用としてのソフトコンタクトレンズの選択. あたらしい眼科, 2020.11; 37(11): 1411-1415
- 3. 太田俊彦: 手術相談室 症例呈示 Marfan 症候群の水晶体脱臼に対する水晶体再建術後に虹彩 捕獲を繰り返した症例, 眼科手術, 2020.07; 33(3): 425-429
- 4. 土至田宏: コンタクトレンズ関連疾患, 眼科救急疾患 2020, 眼科 2020年10月 臨時増刊号 2020, 62(11): 1103-1109
- 5. 土至田宏: 翼状片手術, 【特集 すべて見せます! 患者説明・同意書マニュアル】臨床眼科増刊号 2020, 74(11):139-141
- 6. 市川浩平: 眼内レンズ縫着術, 【特集 すべて見せます! 患者説明・同意書マニュアル】臨 床眼科(増刊号), 2020; 74(11):186-188
- 7. 土至田宏: コンタクトレンズ処方への角膜形状解析の応用法を教えてください, 眼科イメージ ング 2020 Q&A, あたらしい眼科 2020, 38 (臨増): 4-10
- 8. 太田俊彦: こだわりの診療器具「眼内レンズ強膜内固定用器具」, IOL & RS, 2020.12

#### 報告

- 1. 杉田丈夫, 土至田宏, 矢田千紘, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 太田俊彦: 角膜擦過物の検鏡が治療効果判定に役立った真菌性角膜潰瘍の1例.
  - 第74回静岡県眼科医会集談会,静岡市,2020.1.18
- 2. 土至田宏:連続眼圧測定用コンタクトレンズ、トリガーフィッシュの装用経験. 第74回静岡県 眼
  - 科医会集談会, 静岡市, 2020.1.18
- 3. 小野純治, 土至田宏, 太田俊彦:レンティス コンフォート®とテクニス シンフォニーVB の臨床
  - 成績比較. 第74回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2020.1.18

#### 著書

- 1. 市川浩平, 太田俊彦: 虹彩(22) 外傷性虹彩離断 眼疾患アトラスシリーズ 前眼部アトラス 大鹿 哲郎・外園千恵編 総合医学社,332-333,2020 年 4 月発行
- 太田俊彦:白内障 今日の治療指針 2021 年版-私はこう治療している.
   総編集:福井次矢,高木 誠,小室一成. 眼科編集:坂本泰二,医学書院,1570-1571, 2020 年 11 月発行

#### 学会発表 (国際)

- 1. Jobu Sugita, Kohei Ichikawa, Yusuke Matsuzaki, Toshihiko Ohta, Akira Murakami: Pinpoint Intrascleral Haptic Fixation Using I Fixation Technique. 米国白内障 屈折矯正 手術学会 (38th ASCRS Film Festival, ASCRS Annual Meeting), Virtual, 2020.5.16.~17 (一般講演)
- 2. Kohei Ichikawa, Yusuke Matsuzaki, Toshihiko Ohta, Murakami A: Postoperative Result of a New Hydrophobic Acrylic IOL. 米国白内障・屈折矯正手術学会 (ASCRS Annual Meeting), Virtual, 2020.5.16.~17. (一般講演)
- 3. Toshihiko Ohta, Jobu Sugita, Kohei Ichikawa, Yusuke Matsuzaki, Akira Murakami: Pinpoint intrascleral haptic fixation using I fixation technique.

  米国眼科学会(AAO 2020, The American Academy of Ophthalmology's annual meeting),

# 学会発表 (国内)

Virtual, 2020.11.14~17. (一般講演)

- 1. 太田俊彦: 眼内レンズ強膜内固定 T-fixation technique. 眼内レンズ強膜内固定&強膜縫着固定術 Ver.2020 (総会長企画). 第 43 回 日本眼科手術学会学術総会, 東京都, 2020.1.24~26
- 2. 林雄介, 土至 宏, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 杉田丈夫, 松崎有修, 太田 俊彦: 全層角膜移植術後に角膜内皮移植術を施工した 1 例. 第 43 回 日本眼科手術学会学術総会, 東京都, 2020.1.24~26 (学術展示)
- 3. 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 土至田宏, 太田 俊彦: iMics1(MP70)の強膜内固定術後成績. 第 43 回 日本眼科手術学会学術総会, 東京都, 2020.1.24~26 (一般講演)
- 4. 太田俊彦, 西村栄一, 山根真, 松島博之:明日からできる!眼内レンズ強膜内固定術のすべて. 第 43 回 日本眼科手術学会学術総会, 東京都, 2020.1.24.~26 (インストラクションコース)
- 5. 鈴木久晴, 稲村幹夫, 太田俊彦, 市川一夫: CCC を極める!. 第 43 回 日本眼科手術学会学術総会, 東京都, 2020.1.24.~26 (インストラクションコース)
- 6. 太田俊彦:眼内レンズ強膜内固定術の進歩と長期予後. 第43回 日本眼科手術学会学術総会,東京都,2020.1.24~26 (シンポジウム)
- 7. 太田俊彦: 道に迷うことこそ道を知ること!.第 43 回 日本眼科手術学会学術総会, 東京都, 2020.1.24~26 (ランチョンセミナー)
- 8. 太田俊彦: 眼内レンズ偏位・脱臼への対処法. 第 43 回 日本眼科手術学会学術総会, 東京都, 2020.1.24.~26 (教育セミナー)
- 9. 土至田宏, 林雄介, 矢田千紘, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 杉田丈夫, 松崎有修, 太田俊彦:順天堂静岡病院における角膜移植手術の変遷. 角膜カンファランス 2020, Web 開催,

2020.4.15~5.8

- 10. 土至田宏, 林雄介, 矢田千紘, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 杉田丈夫, 松崎有修, 太田俊彦: 順天堂大学病院における角膜移植手術の変遷. 角膜カンファランス 2020, Web 開催, 2020.4 15~5.8 (一般講演)
- 11. 松崎有修, 土至田宏: 虹彩捕獲に対して single-pass four-throw pupilloplasty を施行した 1 例. 第 35 回 JSCRS 学術総会, Web 開催, 2020.7.1~7.14. (ケースレポート)
- 12. 杉田丈夫, 太田俊彦, 市川浩平, 松崎有修, 土至田宏, 小野純治: レンティス コンフォート®と テクニス シンフォニーVB の臨床成績比較. 第 35 回 JSCRS 学術総会, Web 開催, 2020 年 7 月 1 日~7 月 14 日. (一般講演)
- 13. 市川浩平, 太田俊彦, 杉田丈夫, 松崎有修, 土至田宏: 虹彩捕獲に対して single-passfour-throw pupilloplasty を施行した 1 例. 第 35 回 JSCRS 学術総会, Web 開催, 2020.7.1~7.14. (ケースレポート)
- 14. 土至田 宏: コンタクトレンズに関する医療情報. 2020年度 日本コンタクトレンズ協会主催 コンクトレンズ営業所管理者継続研修, Web 開催, 2020.10~11
- 15. 太田俊彦, 江口秀一郎, 小早川信一郎, 松島博之, 西村栄一: IOL 縫着術と強膜内固定術 A to Z. 第74回日本臨床眼科学会, Web 開催, 2020.11.5~12.6 (インストラクションコース)
- 16. 朝岡聖子, 松田彰, 春日俊光, 黒田浩平, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦:アーメド緑内障インプラント挿入術の術後1年の成績. 第74回日本臨床眼科学会, Web 開催, 2020.11.5~25 (一般講演)
- 17. 黒田浩平, 太田俊彦, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田 宏: Z-fixation technique の術後成績. 第74回日本臨床眼科学会, Web 開催, 2020.11.5~25 (一般講演)
- 18. 土至田宏: 屈折矯正手術講習会・オルソケラトロジー講習会,第 74 回日本臨床眼科学会, Web 開催, 2020.11.5~12.6(日本眼科学会オルソケラトロジー講習会)

#### その他

- 1. 土至田宏: 私の処方 私の治療 第 37 回 レーシック術後に対する CL 処方. 識者のコメント 165-166
- 2. 朝岡聖子, 松田彰, 東千晶, 反田蓉子, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀,
- 3. 土至田宏, 太田俊彦: 当院におけるアーメド緑内障インプラント挿入術の術後 1 年の成績, 眼科臨床紀要, 2020.01; 13(1): 65
- 4. 市川浩平, 朝岡聖子, 林雄介, 東千晶, 反田蓉子, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦: iMics1(MP70)の術後早期成績, 眼科臨床紀要, 2020.01; 13(1): 65
- 5. 土至田宏:角膜ケア. 東京新聞・中日新聞 生活面 2020年4月21日号
- 6. 土至田宏: TODAY'S FOCUS「テレワーク中のドライアイについて」Japan FM Network, Oh! Happy Morning. 2020 年 5 月 6 日放送
- 7. 土至田宏:在宅勤務で悪化する目の疲れを改善する.日刊ゲンダイ 生活面 2020年5月12 日号
- 8. 杉田丈夫, 土至田宏, 矢田千紘, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 太田俊彦: 角膜擦過物の検鏡が治療効果判定に役立った真菌性角膜潰瘍の1例, 眼科臨床紀要, 2020.06, 13(6), 442
- 9. 土至田宏: 連続眼圧測定用コンタクトレンズ、トリガーフィッシュの装用経験, 眼科臨床紀要, 2020.06; 13(6): 443
- 10. 小野純治(小野眼科クリニック), 土至田宏, 太 俊彦:レンティスコンフォートとテクニスシン

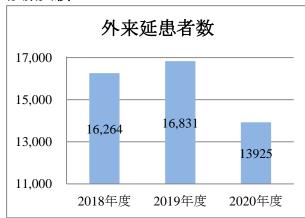
フォニー

VBの臨床成績比較, 眼科臨床紀要, 2020.06, 13(6), 443

- 1. 土至田宏:テレワークであなたの目は大丈夫? NHK テレビ ひるまえほっと 2020 年 6 月 29 日放送
- 2. 土至田宏:日常生活オンライン化、ドライアイに注意 朝日新聞朝刊 2020年7月2日号
- 3. 土至田宏:テレワークと眼精疲労。美楽 2020年 10月号 p14-18 株式会社美楽界
- 4. 堀裕一、土至田宏:目のケアは潤すだけではない。角膜の傷をケアする時代へ。~目を酷使している人の 73%が角膜に傷がついていた!角膜の傷がわかるチェックリスト&角膜ケア方法を紹介. Asahi.com &M 2020 年 11 月 12 日配信

# 2-17 <u>耳鼻咽喉科</u>

# 診療実績















## 研究・教育活動

#### 英文原著

Hara S, Kusunoki T, Kidokoro Y, Homma H, Ikeda K. Efficacy of the additional effect of hyperbaric oxygen therapy in combination of systemic steroid and prostaglandin E1 for idiopathic sudden sensorineural hearing loss. Am J Otolaryngol 2020,41 102363

Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yoshikawa A, Tanaka K, Kubo S, Wada R, Ikeda K. Tracheal stenosis and recurrent nerve paralysis due to thyroid malignant lymphoma with huge chronic thyroiditis. Clinics and Practice 2020;10:1276.

Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yoshikawa A, Tanaka K, Kubo S, Wada R, Ikeda K.

A Case of Nasopharyngeal tuberculosis with cervical Lymph node tuberculosis suspected of cervical malignant disease at the first examination. Clinics and Practice 2021;11:43-46

Hara S, Kusunoki T, Nakagawa H, Toyoda Y, Nojiri S, Kamiya K, Furukawa M, Takata Y, Okada H, Anzai T, Matsumoto F, Ikeda K. Association between earwax-determinant genotypes and acquired middle ear cholesteatoma in a Japanese population. Otolaryngol Head Neck Surg 2021 Mar 16; 1945998211000374. doi: 10.1177/01945998211000374. Online ahead of print.

#### 和文原著

楠 威志:災害時医療機関機能停止時における、気道系疾患に対する「自宅でできる腹式呼吸を重点に 置いた音声訓練法」の有用性. 令和元年度 静岡災害医学研究センター紀要 45-46,2020.

1.城所淑信、楠 威志:深頸部感染症と鑑別を要した学齢期の川崎病 耳鼻臨床 114:320-321、640-641、 2021.

### その他

小学写真新聞社 小学保険ニュース「鼻呼吸と腹式呼吸の重要性」2020年

# 科研費

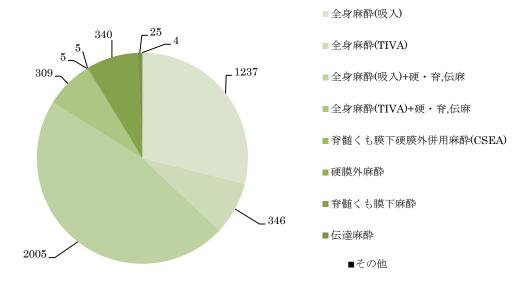
- 1. 楠 威志 2018 年度科学研究費補助金 基盤研究 C 継続
- 2. 城所淑信 2018 年度科学研究費補助金 若手研究 継続
- 3. 本間博友 2019 年度科学研究費補助金 基盤研究 C 継続

# 2-18 麻酔科

# 診療実績



# 2020年麻酔法別手術件数(麻酔科管理症例)



# 教育研究活動

### 原著 (英文)

K Koh, K Yamada, T Enomoto, A Kawai, S Hamaoka, S Chiba, and M Iseki.
 Sex-Specific Impact of Pain Severity, Insomia, and Psychosocial Factors on Disability due to Spinal

## 著書(和文)(共著)

- 1. 尾前毅, 日めくり麻酔科エビデンス アップデート3 8新しい血管内手術 論文① 非弁膜症性 心房細動に対する経皮的左心耳閉鎖術は、ワルファリンと同等の塞栓症予防効果を持つ, 克誠堂出 版㈱, 2020, 86-87
- 2. 尾前毅, 日めくり麻酔科エビデンス アップデート3 8 新しい血管内手術 論文② 腹部大動脈 瘤に対する EVAR と開腹手術の長期生存率に有意差はない, 克誠堂出版㈱, 2020, 88-89
- 3. 尾前毅, 日めくり麻酔科エビデンス アップデート3 8 新しい血管内手術 論文③ 複雑多枝病 変を持つ冠動脈疾患症例には、PCIよりも CABG が有効である, 克誠堂出版㈱, 2020, 90-91
- 4. 尾前毅, 日めくり麻酔科エビデンス アップデート3 8 新しい血管内手術 論文④ 低リスクの 大動脈弁狭窄症症例において、TAVR は外科的大動脈弁置換術よりも術後成績は良好である, 克誠 堂出版㈱, 2020, 92-93
- 5. 尾前毅, 日めくり麻酔科エビデンス アップデート3 8 新しい血管内手術 論文⑤ 中等度 重度の二次性僧帽弁閉鎖不全症患者に経皮的僧帽弁形成術は有効である, 克誠堂出版㈱, 2020, 94-95
- 6. 尾前毅, 新型コロナウイルス感染症 巻頭言, 麻酔, 2020; 69(9): 929

# 学会発表 (国内)

- 1. 米本周平, 久米村正輝, 櫻庭園子, 洪景都, 尾前毅, 岡崎敦, 体幹手術に対する ESPB(Erector Spinae Plane Block)の有効性の検討-層別ランダム化による観察者盲検化比較試験-. 日本麻酔科学会第 67 回学術集会, Web 開催, 2020 年 7 月 1 日-8 月 31 日
- 2. 尾前毅, POC 止血モニタを活用した心臓血管手術時の止血戦略-Fib Car の活用を中心に-, 日本 心臓血管麻酔学会第 25 回学術大会 イブニングセミナー2, Web 開催, 2020 年 9 月 20 日-11 月 14 日
- 3. 尾前毅, TEEセミナー, SAM論, 日本心臓血管麻酔学会第 25 回学術大会 ワークショップ, Web 開催, 2020 年 9 月 20 日-11 月 14 日
- 4. 岩坪千恵,尾前毅,ACE阻害薬が周術期心房細動発症に与える影響,日本心臓血管麻酔学会第25回学術大会,Web 開催,2020年9月20日-11月14日
- 5. 櫻庭園子, 久米村正輝, 洪景都, 山崎翔, 前方アプローチ式の人工股関節置換術における術後鎮痛に対する外側大腿骨皮神経ブロックの有効性の検討, 日本区域麻酔学会第7回学術集会、Web 開催, 2020 年8月9-22 日
- 6. 山崎翔, 洪景都, 櫻庭園子, 久米村正輝, 肩手術のエコーガイド下腕神経叢ブロック (斜角筋間) による術後神経障害の発生率, 日本区域麻酔学会第7回学術集会、Web 開催, 2020 年8月9-22 日
- 7. 米本周平, 久米村正輝, 櫻庭園子, 尾前毅, 腹腔鏡下大腸切除術に対する Thoracoabdominal nerves through perichondral approach block の有効性の検討, 日本区域麻酔学会第7回学術集会, Web 開催, 2020 年8月9-22 日
- 8. 岩佐美,福田征孝,川越いづみ,西村欣也,安藤望,日齢0日で肺葉切除術を要した先天性肺気道 奇形症例,日本臨床麻酔学会第40回大会 Web 開催 2020年11月6-30日
- 9. 安居真梨子, 櫻庭園子, 久米村正輝, 洪景都, 勝田陽介, 右大動脈弓合併上行大動脈瘤に対しての 人工血管置換術の麻酔管理中に再膨張性肺水腫を経験した1例, 日本臨床麻酔学会第40回大会,

- Web 開催, 2020年11月6-30日
- 10. 米本周平, 久米村正輝, 勝田陽介, 全身麻酔後に嗄声で発見された披裂軟骨脱臼の1例, 日本臨床 麻酔学会第40回大会, Web 開催, 2020年11月6-30日
- 11. 太田正孝, 久米村正輝, 筋電図式筋弛緩モニターの使用経験と加速度式筋弛緩モニターとの比較, 日本臨床麻酔学会第40回大会, Web 開催, 2020年11月6-30日
- 12. 中村萌, 洪景都, 勝田陽介, 尾前毅, 橈骨遠位端骨折手術におけるエコーガイド下腕神経叢ブロック後の神経障害発生率, 日本臨床麻酔学会第40回大会, Web 開催, 2020年11月6-30日
- 13. 川口幹裕, 寺西功輔, 川越いづみ, 佐藤大三, 三高千恵子, A case of cervical hemorrhage resulting in tracheal intubation after cerebral endovascular surgery, 第 48 回日本集中治療医学会学術集会, Web 開催, 2021 年 2 月 12-14 日
- 14. 米本周平, 久米村正輝, 拡張型心筋症による重度慢性心不全患者の大腿骨頸部骨折に対して末梢神経ブロックを併用した全身麻酔を行った1例, 第33回日本老年麻酔学会, Web 開催, 2021年2月 20-21日

## 広報活動

1. 岡崎敦, がん緩和ケアの薬物療法と新しい話題, 緩和ケア Web セミナー, 静岡県, 2021 年 3 月 4 日

# 2-19 放射線科

# 業務実績





# 研究活動

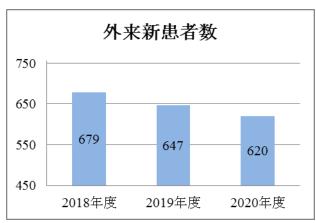
2015 年 日本医学放射線学会秋季臨床大会 silver medal 受賞 : 松波 環

2017年 JJR (日本医学放射線学会雑誌) 論文掲載 : 松波 環

# 2-20 メンタルクリニック

#### 診療実績





# 診療活動

患者数は県内トップクラスの外来患者数を維持しています。新患数でも県内1を維持しています。病棟からのコンサルテーション数も多く、せん妄や抑うつなどを身体科と連携して治療しています。自殺企図患者などを救急科による身体的治療と並行して、必要に応じて地域の精神科病院に転院させるネットワークも構築され、順調に機能しています。他院で受け入れ困難な精神疾患患者の身体疾患も、各科と連携して受け入れています。

児童思春期の患者も引き続き多数来院しており、他院では対応できないケースを受け入れることも多くなっています。児童に限らず、近年は非薬物療法のニーズが高いことに応え、臨床心理士と連携して、ペアレントトレーニング・ソーシャルスキルトレーニング・認知行動療法・遊戯療法などの非薬物療法を充実させてきました。成人の発達障害患者も増加傾向にあり、成人のソーシャルスキルトレーニングはメンバーも増えています。児童の学習障害の治療プログラムも開始しました。

研究では、桐野は functional MRI と脳波の同時測定による functional connectivity の研究を継続しています。児童思春期のメンタルヘルスなどのテーマで講演依頼も多く、地域医療に貢献しています。

#### 研究活動

#### 英文原著

- 1. Usui C, <u>Kirino E</u>, Tanaka S, Inami R, Nakajima T, Nishioka K, Inoue. R: Music intervention reduces the persistent fibromyalgia pain and alters functional connectivity between the insula and default mode network. Pain Medicine, 2020 Aug 1;21(8):1546-1552. doi: 10.1093/pm/pnaa071
- 2. Sudo MM, Mochizuki AA, <u>Kirino E</u>, Itoh K: Effects of coordination exercises on social functioning: Evidence from fMRI and social-ability measures. Juntendo Medical Journal doi: 10.14789/jmj.2020.66.JMJ19-OA21
- 3. Andica C, Kamagata K, <u>Kirino E</u>, Uchida W, Murata S, Aoki S: Neurite orientation dispersion and density imaging reveals white matter microstructural alterations in adults with autism-spectrum disorder. Mol. Autism. 2021 Jun 30;12(1):48. doi: 10.1186/s13229-021-00456-4)

# 和文総説

1. <u>桐野衛二</u>: Default mode networkと統合失調症. (特集 Default mode network). 神経内科 94 (2): 218-224, 2021

# 英文報告

- 1. **Kirino E**, Tanaka S, Nagai Y, Hattori A, Kamagata K, Usui C, Inami R, Inoue R, Aoki S: Functional connectivity in autism spectrum disorder evaluated using rs-fMRI and DKI. Clinical Neurophysiology 131 (10): e244–245 2020 doi:10.1016/j.clinph.2020.04.062
- 2. <u>Kirino E</u>, Tanaka S, Nagai Y, Hattori A, Kamagata K, Usui C, Inami R, Inoue R: Abnormality of functional connectivity in schizophrenia evaluated using simultaneous rs-fMRI and EEG recordings Clinical Neurophysiology 131 (10): e252 2020 doi:10.1016/j.clinph.2020.04.092

# 和文報告

- 1. <u>桐野衛二</u>, 田中 昌司, 福田麻由子, 稲見 理絵, 新井平伊, 井上 令一: 統合失調症の皮質線条体ネットワークのrs-fMRI・脳波同時計測を用いた検討. 令和元年度順天堂精神医学研究所紀要: 1-8, 2020
- 2. Inami R, **Kirino E**: Nicotine Effect on Mismatch Negativity in Patients with Schizophrenia: a horti review. 令和元年度順天堂精神医学研究所紀要: 9-24, 2020
- 3. 永井 康仁, 稲見 理絵, <u>桐野衛二</u>, 井上 令一:成人自閉症スペクトラム障害患者におけるfunctional connectivityのrs-fMRIおよびDKI を用いた検討. 令和元年度順天堂精神医学研究所紀要: 108-113, 2020
- 4. <u>桐野衛二</u>:デフォルトモードネットワークと統合失調症. 令和2年度順天堂精神医学研究所紀要: 1-9, 2021
- 5. 稲見 理絵, <u>桐野衛二</u>, 田中 昌司, 臼井 千恵, 井上 令一: 統合失調症の脳内ネットワーク異常の rs-fMRI・脳波同時計測を用いた検討. 令和2年度順天堂精神医学研究所紀要: 10-18, 2021
- 6. 永井 康仁, 稲見 理絵, <u>桐野衛二</u>, 井上 令一:成人自閉症スペクトラム障害患者におけるfunctional connectivityのrs-fMRIおよびDKI を用いた検討. 令和2年度順天堂精神医学研究所紀要: 84-91, 2021

#### 英文学会発表

1. Kawata Y, <u>Kirino E</u>: Emotion Regulation Influences Sports-Specific Decision Making under Negative Emotion among Baseball Players: An fMRI Study. The International Society of Sport Psychology (ISSP) 15<sup>th</sup> World Congress. Sep 30-Oct 4, 2021

#### 和文学会発表

- 1. 新井貴士,鎌形康司, 内田航, 斎藤勇也, <u>桐野衛二</u>, 青木茂樹: Neurite orientation dispersion and density imagingを用いた自閉症スペクトラム障害における灰白質微細構造変化の評価. 第23回 ヒト脳機能マッピング学会 2021
- 2. 新井貴士,鎌形康司,内田航,クリスティーナ・アンディカ,斎藤勇也,堀正明,<u>桐野衛二</u>,青木 茂樹ほか:成人自閉症スペクトラム障害における灰白質微細構造変化.第49回 日本磁気共鳴医学 会大会 2021

#### 主な競争的資金の獲得状況

- 1. 平成 31-令和 5 年度 基盤研究(C) (研究代表者 <u>桐野衛二</u>) 課題番号 19K08026 fMRI 脳波 拡散 MRI 同時計測による統合失調症 connectivity の検討 Simultaneous fMRI-EEG-DTI Recording of Functional Connectivity in Patients with Schizophrenia. ¥4,290,000 (直接経費¥3,300,000)
- 2. **令和 3 年度-令和 8 年度** 基盤研究(C)(研究代表者 臼井千恵 分担研究者 **桐野衛二** 他)

携帯アプリを用いた慢性疼痛増悪因子の解明及び予防的デジタルメディスン開発の研究

# 2-21 皮膚・アレルギー科

# 診療実績

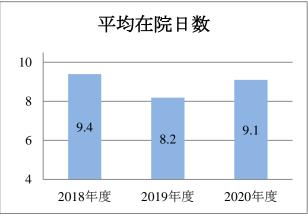


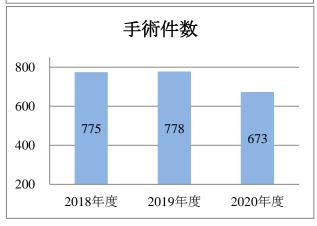












# 研究活動

#### 原著 (英文)

1. Kim J, Hasegawa T, Wada A, Maeda Y, Ikeda S: Keratinocyte-like cells trans-differentiated from human adipose-derived stem cells, facilitate skin wound healing in mice. Ann Dermatol in press

# 原著(和文)

- 1. 住吉泰子, 野口篤, 長谷川敏男, 池田志孝: 炎症性線状疣贅状表皮母斑の 1 例. 皮膚科の臨床 62:350-354,2020
- 2. 高橋美帆,平澤祐輔,長谷川敏男,池田志孝,末原義之: 【これだけは知っておきたい間葉系腫瘍】 両上肢に多発した多中心性脂肪肉腫.皮膚病診療 42:430-433,2020
- 3. 吉村智子,長谷川敏男,清水智子,野口篤,吉池高志,三浦圭子,池田志孝:左前腕に生じた有茎性巨大汗孔腫のまとめ. 臨床皮膚科 74,783-786,2020
- 4. 吉村智子, 平澤祐輔, 長谷川敏男, 池田志孝: 右外陰部に生じた顆粒細胞腫の 1 例. 皮膚科の臨床 62:1754-1755,2020

### 総説 (英文)

1. Hasegawa T: Possible therapeutic application of adipose-derived stem cells for the treatment of recessive epidermalysis bullosa. Juntendo Medical Journal 67: 60-65, 2021

#### 学会発表 (国内)

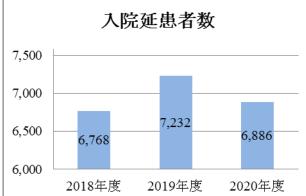
- 1. 鈴木真理恵, 野口篤, 高田佳子, 野々垣香織, 長谷川敏男: 広範囲に多発性の病変を呈した Trichophyton 属による顔面白癬の1 例. 第 119 回日本皮膚科学会総会, 2020, 京都
- 2. 国峯真也, 野口篤, 野々垣香織, 長谷川敏男: 乳頭付近に生じた巨大腫瘤の1例. 第84回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 2020, 山梨
- 3. 細井美都, 国峯真也, 野口篤, 松田真佑香, 上井貴絵, 長谷川敏男: PD-1 阻害薬投与中に発生した lichen planus pemphigoides の 1 例. 第 128 回日本皮膚科学会静岡地方会, 2020, Web
- 4. 上井貴絵, 野口篤, 国峯真也, 松田真佑香, 細井美都, 長谷川敏男: 頭部に生じた巨大な皮膚混合腫瘍の1例. 第128回日本皮膚科学会静岡地方会, 2020, Web
- 5. 松田真佑香, 野口篤, 国峯真也, 上井貴絵, 細井美都, 藤岡功, 細谷英里奈, 長谷川敏男: 診断に難渋 した原発性皮膚 CD8 陽性急速進行性表皮向性細胞障害性 T 細胞リンパ腫の1 例. 第84回日本皮膚 科学会東京支部学術大会, 2020, Web
- 6. 金宗訓, 和田章乃, 長谷川敏男, 小川秀興, 池田志斈: Keratinocyte-like cells trans-differentiated from human adipose-derived stem cells, facilitate skin wound healing in mice. 第 34 回表皮細胞研究会, 2020, 東京
- 7. Kim J, Hasegawa T, Wada A, Maeda Y, Ikeda S: Facilitation of wound healing by keratinocyte-like cells trans-differentiated from human adipose-derived stem cells in mice. The 45<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 2020, Nagoya
- 8. Ikeda Y, Wada A, Hasegawa T, Ikeda S: Identification of melanocyte progeny cells in human subcutaneous adipose tissue: potential to differentiate into mature melanocytes. The 45<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese

Society for Investigative Dermatology, 2020, Nagoya

# 2-22 泌尿器科















## 診療活動

外来患者数、入院患者数、手術件数が増加した。また緊急処置を要する症例が多く他病院から紹介されてきた。膿腎症に対する、ステント留置は、国内でも極めて多い施設である。

前立腺全摘にロボット手術を導入し2年が経過した。膀胱頚部温存および膀胱—尿道吻合での連続吻合がより確実になった。術後の排尿状態も良好で、入院期間も短縮した。

腹腔鏡下に副腎腫瘍,腎癌および腎盂尿管癌、前立腺癌の手術を行っている。褐色細胞腫など難易度の 高い手術も行った。腹腔鏡下腎摘出は後腹膜アプローチが多かった。技術が安定し、合併症が少なかっ た

大きな腎癌に対して開腹で根治的腎摘除術を行っている。4 センチ以下の小径腎癌では開腹による腎部分切除を積極的に行っている。転移性腎癌に対する分子標的薬やオプジーボなどの免疫療法を多く行っている。

前立腺肥大症の手術の HoLEP は多くの手術症例を経験している。出血量、手術時間、術後のカテーテル抜去時間に他の手術に比べ優位性がある。また術後の排尿状態は極めて良好で、失禁もほとんどなかった。

経尿道的尿管結石破砕術においては、細径の尿管鏡によるホルミウムヤグレーザーを用いて破砕している。硬性鏡だけでなく軟性尿管鏡も用いて腎結石の治療を行っている。手術時間の短縮および破砕率が向上した。破砕した結石も、器具で体外に取り出すようにしている。

## 診療実績

(1)腹腔鏡下手術 腹腔鏡下副腎摘除術 5 例 腹腔鏡下腎摘除術 11 例 腹腔鏡下腎尿管全摘除術 3 例 ロボット補助下腹腔鏡下前立腺全摘徐 32 例

(2) 開腹手術 根治的腎摘除術 7 例 腎部分切除術 8 例 腎尿管全摘除術 5 例 膀胱全摘除術 15 例 前立腺全摘除術 0 例 高位精巣摘除 3 例 陰囊水腫根治術 6 例 (3) 内視鏡手術

TUR-Bt 129 例

TUR-P0 例

PVP 0 例

HoLEP 31 例

ESWL 23 例

TUL 71 例

PNL 0 例

尿管ステント留置 391 例

腎瘻造設 6例

# 次年度目標

前立腺のロボット手術の件数を増加させる。膀胱全摘、腎部分切除にロボット手術を導入する。 尿管結石のレーザー手術を増加させる。女性泌尿器科の手術を開始する。 腹腔鏡手術の若手術者を指導する。

# 研究・教育活動

医学部 M4 授業

藤田和彦 尿路感染症、泌尿器救急、外傷

斎藤恵介 排尿障害・尿失禁・前立腺肥大症

保健看護学部 授業

中島晶子 泌尿器総論

中島晶子 泌尿器非腫瘍性疾患

中島晶子 泌尿器腫瘍性疾患

2020年 業績

総説

遊走腎 (腎下垂)

藤田和彦

今日の治療指針 2020

医学書院、東京

# 学会発表

1. 当院における進行性尿路上皮癌に対するペンブロリズマブ療法の初期経験 宇井万里子ほか

第108回 日本泌尿器科学会総会

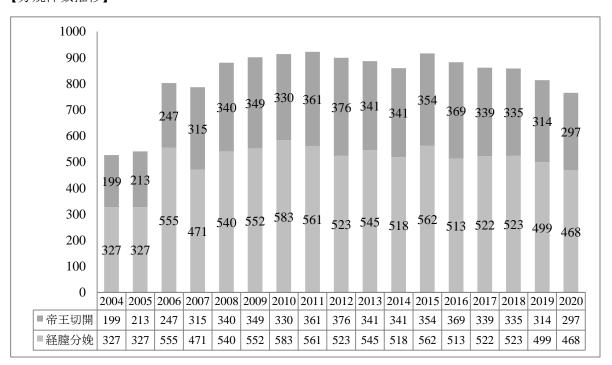
- 2. 血中亜鉛濃度の低下が引き起こす症状・内分泌学的変化の検討 三好悠斗ほか 108 回日本泌尿器科学会総会
- 3. 静岡県東部地区泌尿器科疾患懇話会 斎藤恵介 当院における HoLEP について
- 4. 静岡県東部地区泌尿器科疾患懇話会 藤田和彦 座長 前立腺がん最新トピック 演者 藤井靖久 (東京医科歯科大学)

# 2-23 産婦人科・総合周産期母子医療センター

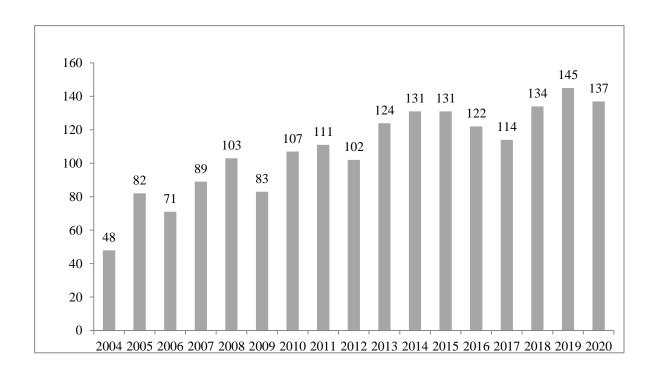
# 診療実績

【手術件数】		2015	2016	2017	2018	2019	2020
腹腔鏡	卵巣	59	65	83	79	80	90
	子宮	1	0	1	1	0	0
	子宮外妊娠	12	21	15	26	11	16
	その他	1	0	0	0	2	3
開腹手術	帝王切開術	354	369	334	330	314	297
	良性	199	309	341	265	229	172
	悪性	88	78	72	70	68	72
悪性手術内訳	子宮頚癌	20	15	5	12	6	7
	子宮体癌	39	36	39	32	29	26
	卵巣癌	20	25	23	25	28	37
	その他	9	2	5	1	5	2
腟式手術	円錐切除	16	36	34	30	30	24
	頚管縫縮術	13	14	16	21	8	3
	子宮脱根治術	5	13	9	9	6	7
	腟閉鎖術	14	24	10	9	4	1
	その他	9	8	13	8	9	13
合計		859	937	928	848	753	695

# 【分娩件数推移】



# 【母体搬送数推移】



# 研究活動

#### 原著 (英文)

 Kobayashi T, Tanaka T, Kawata M, Oguma K, Ito S, Matsuzawa N, Murase Y, Yata S, Tanaka S, Kaneda H: Intrauterine gauze or balloon tamponade for the management of postpartum hemorrhage due to uterine atony during maternal transportation. Hypertensioon research in pregnancy. 2020; 8: 57-60

#### 原著(和文)

1. 卵巣温存した若年子宮腺肉腫の1例 柳原康穂,金田容秀,小熊響子,小林徹,伊藤早紀,松澤奈々,鵜野しほり,村瀬佳子, 田中里美,矢田昌太郎,田中利隆,三橋直樹 静岡産科婦人科学会雑誌,2020;9:15-21

# 学会発表 (国内)

- A case of perinatal lethal hypophosphatasia which was prenatally suspected and treated with enzyme-replacement therapy after birth
   Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital
  - Tanaka Toshitaka, Tanaka Satomi, Masaoka Ryu, Kawata Misato, Oguma Kyoko, Ito Saki, Kobayashi Toru, Matsuzawa Nana, Murase Yoshiko, Yata Shotaro, Kaneda Hiroshi
  - 第72回日本産科婦人科学会学術講演会 Web 開催 2020.4.23~28
- Analysis of gynecological tumors in adolescent and young adult generation and iatrogenic menopause
   Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital

Kaneda Hiroshi, Masaoka Ryu, Kawata Misato, Oguma Kyoko, Ito Saki, Kobayashi Toru, Matsuzawa Nana, Murase Yoshiko, Tanaka Satomi, Yata Shotaro, Tanaka Toshitaka

第72回日本産科婦人科学会学術講演会 Web 開催 2020.4.23~28

3. Utero-vaginal packing with gauze for control severe postpartum hemorrhage during maternal transport

Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital

Kobayashi Toru, Tanaka Satomi, Masaoka Ryu, Kawata Misato, Oguma Kyoko, Ito Saki, Kobayashi Toru, Matsuzawa Nana, Murase Yoshiko, Yata Shotaro, Kaneda Hiroshi, Tanaka Toshitaka

第72回日本産科婦人科学会学術講演会 Web 開催 2020.4.23~28

4. 低用量ピル内服中止後に腹腔内出血を来した子宮内膜症の一例

順天堂大学医学部附属静岡病院 產婦人科

小熊響子、松澤奈々、正岡龍、川田美里、伊藤早紀、小林徹、村瀬佳子、田中里美、矢田昌太郎、金田容秀、田中利隆

第72回日本産科婦人科学会学術講演会 Web 開催 2020.4.23~28

5. 妊娠中に診断・治療した直腸癌の一例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

正岡龍、田中里美、川田美里、小熊響子、小林徹、伊藤早紀、松澤奈々、村瀬佳子、矢田昌太郎、金田容秀、田中利隆

第 139 回関東連合産科婦人科学会学術集会 Web 開催 2019.6.23

6. 当院における過去 4 年間の 18trisomy 9 症例の転帰と生存例の検討

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

牧野祐也、田中利隆

第61回日本母性衛生学会総会・学術集会 浜松 2020.10.9

7. 切迫早産の周産期管理

順天堂大学医学部附属静岡病院 產婦人科

矢田昌太郎、田中利隆

第 43 回静岡県東部周産期研究会 Web 開催 2020.11.26

8. 院外発生した心肺停止妊婦の一例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

川田美里、田中里美、瀬川将史、牧野祐也、加藤雅也、伊藤早紀、保田歩、石田ゆり、村瀬佳子、 矢田昌太郎、金田容秀、田中利隆

第 140 回関東連合産科婦人科学会学術集会 Web 開催 2020.11.12~11.18

9. 当院における子宮仮性動脈瘤の検討

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

瀬川将史、田中里美、牧野祐也、加藤雅也、伊藤早紀、保田歩、石田ゆり、村瀬佳子、矢田昌太郎、 金田容秀、田中利隆

令和2年度静岡産科婦人科学会秋季学術集会 静岡 2020.11.8

10. 周産期における COVID-19 感染症対策の現状と課題

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

保田歩、田中利隆

第 44 回静岡県東部周産期研究会 Web 開催 2021.3.4

# 講演

- 不育症の基礎知識と最近の話題 順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科 田中利隆 沼津産婦人科医会講演会 Web 開催 2020.10.16
- 2. わが国における帝王切開の現状 順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科 田中利隆 静岡県周産期 WEB セミナー 2020.12.8

# 2-24 救急診療科

# 診療実績













研究・教育活動

#### 英文論文

2020 年実績

1. Nagasawa H, Omori K, Nojiri S, Muramatsu K, Kushida Y, Takeuchi I, Jitsuiki K, Shitara J, Ohsaka H, Oode Y, Yanagawa Y. The fibrin/fibrinogen degradation product level on arrival in trauma patients is a better

- predictor of a fatal outcome than physiological or anatomical severity: A retrospective chart review. SAGE Trauma November 19, 2020 https://doi.org/10.1177/1460408620975704
- 2. Yanagawa Y, Omori K, Muramatsu KI, Kushida Y, Ikegami S, Nagasawa H, Nishio R, Takeuchi I, Jitsuiki K, Ohsaka H, Oode Y. Prognostic Factors in Trauma Patients Transported by Physician-Staffed Helicopter in Japan: An Investigation Based on the Japan Trauma Data Bank. Air Med J. 2020 Nov-Dec;39(6):494-497.
- 3. Yanagawa Y, Jitsuiki K, Muramatsu KI, Kushida Y, Ikegami S, Nagasawa H, Takeuchi I, Ohsaka H, Omori K, Oode Y. Clinical Investigation of Burn Patients Transported by Helicopter Based on the Japan Trauma Data Bank. Air Med J. 2020 Nov-Dec;39(6):464-467.
- 4. Yanagawa Y. Pneumothorax induced by the incorrect insertion of a nasogastric tube. Acute Med Surg. 2020 Nov 7;7(1):e590.
- 5. Sakurai M, Nagasawa H, Takeuchi I, Yanagawa Y. A Case of an 80-Year-Old Man with Empyema and Psoas Abscess. Case Rep Emerg Med. 2020 Oct 24;2020:8895785.
- 6. Kushida Y, Jitsuiki K, Muramatsu KI, Ikegami S, Nagasawa H, Takeuchi I, Ohsaka H, Oode Y, Omori K, Yanagawa Y. A comparison of physician-staffed helicopters and ground ambulances transport for the outcome of severe thoracic trauma patients. Am J Emerg Med. 2020 Sep 16:S0735-6757(20)30782-8.
- 7. Muramatsu KI, Omori K, Kushida Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Shitara J, Ohsaka H, Oode Y, Yanagawa Y. Clinical significance of the level of fibrin degradation products in drowning patients without cardiac arrest. J Rural Med. 2020 Oct;15(4):201-203.
- 8. Nagasawa H, Muramatsu KI, Takeuchi I, Kushida Y, Jitsuiki K, Shitara J, Ohsaka H, Omori K, Oode Y, Yanagawa Y. A case of iliopsoas hematoma as a complication of tetanus in a patient who did not receive anticoagulant therapy. BMC Infect Dis. 2020 Oct 7;20(1):731.
- Yanagawa Y, Jitsuiki K, Muramatsu KI, Ikegami S, Kushida Y, Nagasawa H, Nishio R, Takeuchi I, Ohsaka H,
  Oode Y, Omori K. Survey of trauma patients injured by falling or flying objects in Japan based on the Japan
  Trauma Data Bank. Eur J Trauma Emerg Surg. 2020 Oct 7.
- 10. Jitsuiki K, Ohsaka H, Shitara J, Ishibashi M, Suzuki M, Nozawa Y, Yanagawa Y. Reaction of Juntendo Shizuoka Hospital at Izu Peninsula to Typhoon Hagibis (2019) and an Analysis of Twitter Concerning Izunokuni City. Disaster Med Public Health Prep. 2020 Sep 22:1-6.
- 11. Ikegami S, Jitsuiki K, Nagasawa H, Nishio R, Yanagawa Y. Suspected Virus-Inducing Severe Acute Respiratory Distress Syndrome Treated by Multimodal Therapy Including Extracorporeal Membrane Oxygenation and Immune Modulation Therapy. Cureus. 2020 Jun 22;12(6):e8768.
- 12. Suzuki M, Yanagawa Y, Sakamoto A, Sugiyama H, Nozawa Y. Prevalence and risk factors for post-traumatic stress disorder in Japanese relatives of out-of-hospital cardiac arrest patients after receiving a pamphlet concerning the grieving process. Acute Med Surg. 2020 Jul 17;7(1):e544.
- 13. De Bus L, Depuydt P, Steen J, Dhaese S, De Smet K, Tabah A, Akova M, Cotta MO, De Pascale G, Dimopoulos G, Fujitani S, Garnacho-Montero J, Leone M, Lipman J, Ostermann M, Paiva JA, Schouten J, Sjövall F, Timsit JF, Roberts JA, Zahar JR, Zand F, Zirpe K, De Waele JJ; DIANA study group. Antimicrobial de-escalation in the critically ill patient and assessment of clinical cure: the DIANA study. Intensive Care Med. 2020 Jul;46(7):1404-1417.
- 14. Muramatsu KI, Nagasawa H, Murai Y, Sakurada M, Jitsuiki K, Yanagawa Y. Non-tuberculosis cold abscess. Am J Emerg Med. 2020 May 7:S0735-6757(20)30345-4.

- 15. Ohsaka H, Omori K, Takeuchi I, Yanagawa Y. Impalement Injury Diagnosed at the Scene by a Portable X-Ray System Transported by a Physician-Staffed Helicopter. J Emerg Trauma Shock. 2020 Jan-Mar;13(1):101-102.
- 16. Muramatsu KI, Nagasawa H, Takeuchi I, Yanagawa Y. Transient Left Hemiparesis Due to Aortic Dissection. J Emerg Trauma Shock. 2020 Jan-Mar;13(1):99-100.
- 17. Takeuchi I, Muramatsu KI, Nagasawa H, Yanagawa Y. A Case of Triphasic Anaphylaxis. J Emerg Trauma Shock. 2020 Jan-Mar;13(1):98-99.
- 18. Nagasawa H, Omori K, Takeuchi I, Yanagawa Y. Increase in Fibrinogen Degradation Product Levels 5 Days after a Traumatic Insult. J Emerg Trauma Shock. 2020 Jan-Mar;13(1):45-49.
- 19. Muramatsu KI, Omori K, Kushida Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Shitara J, Ohsaka H, Oode Y, Yanagawa Y. An analysis of patients with acute aortic dissection who were transported by physician-staffed helicopter. Am J Emerg Med. 2020 Apr 15:S0735-6757(20)30264-3.
- 20. Madokoro S, Yanagawa Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Oode Y. Damage Control Management for Thoracic Trauma with Cardiac Arrest Complicated by Emphysematous Gastritis and Cystitis. Cureus. 2020 Feb 25;12(2):e7102.
- 21. Yatsu S, Yanagawa Y, Nagasawa H, Tambara K, Suwa S. Successful Treatment of Cardiac Tamponade due to Rupture of the Heart Performing an Open-chest Pericardiotomy. Cureus. 2020 Feb 25;12(2):e7101.
- 22. Omori K, Muramatsu KI, Nagasawa H, Takeuchi I, Kushida Y, Ohsaka H, Jitsuiki K, Oode Y, Yanagawa Y. Experience of the Usage of a Portable X-ray System. Air Med J. 2020 Jan Feb;39(1):14-17.
- 23. Yanagawa Y. Preparedness, Including Preparation of a Physician-Staffed Helicopter, for the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games in Shizuoka Prefecture. Juntendo Med J. 2020;66: S53-S57.
- 24. Jitsuiki, K, Muramatsu K, Shoda S, Yanagawa Y. Lightning Injury Caused by a Side Flash. Am J Med Case Rep. 2020, 8(12), 538-540.
- 25. Yanagawa Y, Takahashi R, Takeuchi I, Itoi A. The Traumatic Vacuum Phenomenon at the Anterior Portion of the Spine: A Clue to Extensive Spinal Fracture. Am J Med Case Rep. 2020, 8(12), 451-452.
- 26. Ikegami S, Yanagawa Y, Komai K, Ishikawa K, Oode Y, Omori K. Occupant Restraint Systems do not Completely Prevent Injury at the Cranio-cervical Junction in a High-energy Accident. Am J Med Case Rep. 2020, 8(12), 481-482.
- 27. Nishio R, Muramatsu K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Yanagawa Y. A Case of Cardiac Arrest Soon after Receiving a Sting from a Wasp. Am J Med Case Rep. 2020, 8(12), 491-493.
- 28. Muramatsu K, Omori K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Oode Y, Yanagawa Y. Pneumomediastinum after Convulsion and Vomiting. Am J Med Case Rep. 2020, 8(12), 512-514.
- 29. Muramatsu, K, Omori K, Yanagawa Y. Refractory Buttock Pain: A Possible Sign of Severe Soft Tissue Infection. Am J Med Case Rep. 2020, 8(11), 418-420.
- 30. Ikegami S, Jitsuiki K, Muramatsu K, Nagasawa H, Takeuchi I, Yanagawa Y. Acute Infectious Purpura Fulminans Complicated with Multiple Erosions. Am J Med Case Rep. 2020, 8(11), 421-423.
- 31. Yanagawa Y, Suzuki Y. A Case of Lung Edema and Methemoglobinemia after Attempted Suicide by Charcoal Burning. OSP Journal of Case Reports 2020;2(4):1-3.
- 32. Takeuchi I, Jitsuiki K, Muramatsu K, Kushida Y, Nagasawa H, Shitara J, Ohsaka H, Oode Y, Omori K, Yanagawa Y. ST-Segment Elevation in Lead aVR in the Setting of Acute Thromboembolic. Acta Scientific

- Gastrointestinal Disorders in press
- 33. Goto C, Watanabe A, Yanagawa Y. Acute Subdural Hematoma with Negative Fibrin/Fibrinogen Degradation Product Findings. Am J Med Case Rep. 2021;9(1):22-23.
- 34. Suzuki H, Yanagawa Y. A Case of Sepsis and Acute Kidney Injury Caused by Uterine Prolapse. American Journal of Medical Case Reports, 2021, Vol. 9, No. 2, 92-94
- 35. Takeuchi I, Jitsuiki K, Yanagawa Y. Favorable Course after a Second Infusion of Antivenin Using Premedication. American Journal of Medical Case Reports, 2021, 9(2), 137-139.
- 36. Jitsuiki K, Kushida Y, Nishio R, Yanagawa Y. Gas in Joints After Diving: Computed Tomography May Be Useful for Diagnosing Decompression Sickness. Wilderness Environ Med. 2020 Dec 10:S1080-6032(20)30172-1.
- 37. Takeuchi I, Yanagawa Y, Takeuchi M, Suwa S. Electric Shock for a Patient with Ventricular Fibrillation during Air Evacuation Using a Helicopter. J Emerg Trauma Shock. 2020 Jul-Sep;13(3):224-226.

#### 和文報告

- 1. 八木貴志,長澤宏樹,串田好宏,竹内郁人,日域佳,大坂裕通,大出靖将,大森一彦,柳川洋一. 救急外来に自家用車で来院し,待合室で心停止となった敗血症の一例. 日本救急医学会中部地方会誌 2020:16:1-3.
- 2. 長澤宏樹, 大森一彦, 竹内郁人, 日域佳, 谷津翔一朗, 大坂裕通, 大出靖将, 柳川洋一. 著明な血小板減少症を呈した Fusobacterium necrophorum の 1 例. 日本救急医学会中部地方会誌 2020;16:1-3.
- 3. 柳川洋一. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会. 静岡県における自転車競技の Venue Medical Officer に関して. 田方医師会報 2020; 2071.

#### 学会発表

- 1. 柳川洋一 2019 年台風 19 号 (Hagibis) が伊豆半島上陸時の当院での対応と、social networking service (Twitter®) 内容の検討 災害医学プログレスミーティング 当院 1月17日
- 2. 村松賢一 一過性片麻痺を呈した大動脈解離の一例 日本脳神経外科救急学会 川越プリンスホテル 2月7日
- 3. 柳川洋一 心筋炎疑いの一例 静岡プライマリケアフォーラム 静岡駅前会議室 2月1日
- 4. 柳川洋一 静岡県東部地区救命救急医学研修会 座長 沼津北消防 2月12日
- 5. 柳川洋一 伊豆箱根鉄道「修善寺駅」で開催されたテロ対策訓練 発表並びに座長 日本災害医学 会 神戸国際会議場 2月21日
- 6. 野口正意 外来で突然呼吸停止を来した椎骨動脈閉塞の1例 日本脳神経外傷学会 湯本富士屋ホ テル 3月7日 紙面発表
- 7. 柳川洋一 救命救急センターに入院となった患者の低 Na 血症とホルモンの関連 日本集中治療医 学会学術集会 3月8日 名古屋国際会議場 紙面発表
- 8. 柳川 洋一、日域 佳、村松 賢一、串田 好宏、池上 さや、長澤 宏樹、竹内 郁人、大坂 裕通、大 出 靖将、大森 一彦.ドクターヘリ患者搬送中の深部温持続モニタリングシステムの使用経験. 第 23 回 日本救急医学会中部地方会
- 9. 髙田 隆治、池上 さや、村松 賢一、串田 好宏、長澤 宏樹、竹内 郁人、大坂 裕通、日域 佳、大 出 靖将、大森 一彦、柳川 洋一. 門脈ガスを伴う気腫性胃炎の一例. 第23回 日本救急医学会中部 地方会
- 10. 桐山 雅通、柳川 洋一、村松 賢一、池上 さや、長澤 宏樹、竹内 郁人、串田 好宏、日域 佳、大森 一彦、大坂 裕通、大出 靖将. 腎損傷、後腹膜血腫後に膵炎を合併した一例. 第 23 回 日本救急 医学会中部地方会
- 11. 柳川 洋一, 関井 肇, 村松 賢一, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 日域 佳, 大坂 裕通, 大森 一彦, 大出 靖 将, 杉田 学. 一酸化炭素中毒症例におけるメトヘモグロビン値の検討. 中毒研究 2020;33(2):160.
- 12. 村松 賢一, 大森 一彦, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 串田 好宏, 日域 佳, 設樂 準, 大坂 裕通, 大出 靖 将, 柳川 洋一. 有機リン中毒に合併した麻痺性イレウスの一例. 中毒研究 2020;33(2):152.
- 13. 柳川 洋一,村松 賢一, 池上 さや, 串田 好宏, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 日域 佳, 大坂 裕通, 大森 一彦, 大出 靖将. 外傷による背部痛で CT で骨折が明らかでなくても、疼痛で立位困難な場合、脊椎 損傷(骨挫傷)として対応すべきである. 第48回 日本救急医学会総会 2020
- 14. 八木 貴志, 柳川 洋一, 大森 一彦, 大坂 裕通, 日域 佳, 竹内 郁人, 串田 好宏, 長澤 宏樹. 救急外来に自家用車で来院し, 待合室で心停止となった敗血症の一例. 第48回 日本救急医学会総会 2020

- 15. 串田 好宏, 池上 さや, 長澤 宏樹, 西尾 亮太, 竹内 郁人, 日域 佳, 大森 一彦, 大坂 裕通, 大出 靖将, 金田 容秀, 柳川 洋一. 貧血を契機に見つかった卵巣嚢腫感染症の 1 例. 第 48 回 日本救急 医学会総会 2020
- 16. 大坂 裕通, 竹内 郁人, 村松 賢一, 池上 さや, 長澤 宏樹, 串田 好宏, 日域 佳, 大森 一彦, 大出 靖将, 柳川 洋一. 嚥下障害が先行した頭頸部型破傷風の一例. 第48回 日本救急医学会総会 2020
- 17. 日域 佳, 村松 賢一, 池上 さや, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 串田 好宏, 大森 一彦, 大坂 裕通, 大出 靖将, 柳川 洋一. 死戦期帝王切開術の症例経験から考える静岡県東部の産科救急システムの現状 と展望. 第48回 日本救急医学会総会 2020
- 18. 大森 一彦, 村松 賢一, 池上 さや, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 串田 好宏, 日域 佳, 大坂 裕通, 大出 将靖, 柳川 洋一. ドクターヘリ運航に救急医の存在は大きい. 第48回 日本救急医学会総会 2020
- 19. 村松 賢一, 池上 さや, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 西尾 亮太, 串田 好宏, 日域 佳, 大坂 裕通, 大森 一彦, 大出 靖将, 柳川 洋一. 窒息触れ込みであったがクモ膜下出血であった一例. 第 48 回 日本 救急医学会総会 2020
- 20. 大出 靖将, 柳川 洋一, 岡本 健, 田中 裕. CIRP はマウス敗血症モデルにおいて、活性酸素産生や NETs 形成に寄与する ICAM-1+好中球を誘導する. 第 48 回 日本救急医学会総会 2020
- 21. 長澤 宏樹, 村松 賢一, 竹内 郁人, 池上 さや, 串田 好宏, 日域 佳, 大森 一彦, 大坂 裕通, 大出 靖将, 柳川 洋一. 腸腰筋血腫を合併した全身型破傷風の一例. 第48回 日本救急医学会総会 2020
- 22. 竹内 郁人, 村松 賢一, 長澤 宏樹, 池上 さや, 串田 好宏, 日域 佳, 大森 一彦, 大坂 裕通, 大出 靖将, 柳川 洋一. 36 週妊婦の多発外傷、死亡胎児に対して帝王切開を行ったが母体救命し得なかった 1 例. 第 48 回 日本救急医学会総会 2020
- 23. 村松 賢一, 他. MRI でわかる骨損傷の意義. 第34回日本外傷学会総会2020
- 24. 大森 一彦, 他. 当院での外傷患者への緊急輸血の取り組み. 第34回日本外傷学会総会2020
- 25. 長澤 宏樹, 他. プール飛び込みにより頸髄損傷と溺水から心肺停止となった一例. 第 34 回日本外 傷学会総会 2020
- 26. 大森一彦, 他. Metra を使用した全てのフライトスタッフへの教育. 第 27 回日本航空医療学会総会 2020
- 27. 日域佳, 他. 現場活動動画を用いた院内症例検討会の運用. 第27回日本航空医療学会総会 2020
- 28. 大坂裕通, 他. ドクターヘリ、ドクターカーが早期にどこまで現場に迫れるか?第 27 回日本航空医療学会総会 2020
- 29. 長澤宏樹, 他. ドクターヘリを活用した病院外輸血の実施について. 第27回日本航空医療学会総会 2020

#### TV 放映

- 1. 日域佳 NHK 1月21日 さらめし
- 2. 日域佳 NHK 12月20日 さらめし 再放送
- 3. 柳川洋一 テレビ静岡 3月11日 東日本大震災から9年 復興計画・医療体制

#### 講演

- 1. 加来浩器 教授 防衛医科大学校 輸入感染症 当院 1月26日
- 2. 竹内郁人 「ヘビに咬まれた時・ハチに刺された時、あなたはどうしますか?」当院 2月14日

3. 田村格 自衛隊佐世保病院副院長 COVID-19 自衛隊中央病院での経験から得られた教訓. 当院

#### 院外会議

- 1. 柳川洋一 日本高気圧環境学会関東地方会理事会 1月10日
- 2. 柳川洋一 静岡県病院協会図上訓練 伊豆の国市役所 1月23日
- 3. 柳川洋一 東部地区救急医学研修会 沼津北消防署 2月12日
- 4. 柳川洋一, 大坂裕通, 日域佳 災害医療地域図上訓練 伊豆の国市市役所 2月13日
- 5. 柳川洋一 日本救急医学会評議委員会 東京 2月27日
- 6. 柳川洋一 駿東田方 MC 協議会 沼津北消防署 3月9日
- 7. 柳川洋一, 日域佳 賀茂 MC 協議会 下田消防 3月12日
- 8. 柳川洋一 静岡県 MC 会議 8月20日 Web 上
- 9. 柳川洋一 賀茂 MC 協議会 11 月 11 日 Web 上
- 10. 柳川洋一 第1回駿東田方地域MC協議会運営委員会 12月11日 Web 上

#### オスキー

柳川洋一 MCLS 田方中消防署 1月25日

大出靖将, 日域佳 ICLS 当院 8月1日

大出靖将, 日域佳 ICLS 当院 8月29日

大出靖将, 日域佳 ICLS 当院 9月5日

柳川洋一, 大坂裕通 JMECC 当院 10月24日

柳川洋一 JMECC 沼津市立病院 11月14日

柳川洋一 ISLS 当院 11月28日

海外留学生受け入れ

COVID-19流行のため、未実施

# 2-25 病理診断科

# 診療実績

2020年度

(2020年4月~2021年3月)

組織診断: 6,349 例 細胞診断: 7,915 例 病理解剖断: 10 例

#### 研究 • 教育活動

#### 【英文原著】

- 1. Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yoshikawa A, Tanaka K, Kubo S, <u>Wada R</u>, Ikeda K: Tracheal stenosis and recurrent nerve paralysis due to thyroid malignant lymphoma with huge chronic thyroiditis. Clin Pract. 2020 Oct 16;10(4):1276.
- 2. Amano N, Ikeda Y, Hayashida S, Takahashi S, Sato S, Murata A, Tsuzura H, Sato S, Shimada Y, Iijima K, <u>Wada R</u>, Nagahara A, Genda T: Prognostic significance of serum tyrosine concentration in patients with primary biliary cholangitis under ursodeoxycholic acid therapy. Hepatol Res. 50:214-223, 2020.
- 3. Tomishima K, Fujisawa T, Sato S, Amano N, Murata A, Tsuzura H, Sato S, Matsumoto K, Shimada Y , Wada R, Genda T, Isayama H: Successful Management of Hemosuccus Pancreaticus due to Pancreatic Adenocarcinoma by Chemoradiotherapy. Intern Med.4372-19, 2020
- Nagase S, Ogura K, Ashizawa K, Sakaguchi A, <u>Wada R</u>, Matsumoto T: Hydrocele of the Canal of Nuck with Endometriosis: Right-Side Dominance Confirmed by Literature Review and Statistical Analysis. Case Rep Pathol. 2020
- 5. Yanai Y, Saito T, Hayashi T, Akazawa Y, Yatagai N, Tsuyama S, Tomita S, Hirai S, Ogura K, Matsumoto T, Wada R, Yao T: Molecular and clinicopathological features of appendiceal mucinous neoplasms. Virchows Arch. 2020

#### 【和文著書】

1. <u>和田 了</u>、福村由紀:膵臓. カラーアトラス 病理組織の見方と鑑別診断 第7版. 医歯薬出版, 東京, p.295-304, 2020

# 2-26 リハビリテーション科

# 業務実績



# 研究•教育活動

#### 論文

1. Tanuma A.

Cancer rehabilitation: an update Juntendo Med J 67(1); 17-23, 2021

#### 著書

- 村岡香織,田沼明
   肺がん.がんのリハビリテーションベストプラクティス第2版,金原出版,2020,pp26-34
- 村岡香織,田沼明
   消化器がん.がんのリハビリテーションベストプラクティス第2版,金原出版,2020,pp36-40
- 3. 村岡香織,田沼明 前立腺がん. がんのリハビリテーションベストプラクティス第2版,金原出版,2020,pp42-47
- 4. 田沼明, 阿部恭子, 村岡香織 乳がん・婦人科がん. がんのリハビリテーションベストプラクティス第 2 版, 金原出版, 2020, pp102-134
- 5. 岡阿沙子,田沼明 喉頭がん (喉頭全摘出術による音声喪失).「言葉をつくる・声を出す」を助ける!コミュニケーションサポートブック. 医歯薬出版,2020,pp122-124
- 6. 岡阿沙子,田沼明 転移性脳腫瘍.「言葉をつくる・声を出す」を助ける!コミュニケーションサポートブック. 医歯薬 出版,2020,pp125-127

## 発表、報告

1. 田沼明

がんのリハビリテーション up to date

第 350 回順天堂医学会学術集会, 東京, 2020/9/10

2. 田沼明

乳がん術後の外来リハビリテーションの有効性に関する研究について 第9回日本がんリハビリテーション研究会, Web, 2021/1/9-31

3. 海東健太

球症状を呈した重症筋無力症例に対して頸部等尺性収縮手技を実施した1例 第21回日本言語聴覚学会 誌上開催 2020/6/19-20

4. 上野嘉穂、鈴木健宏、田沼明

脳腫瘍患者に対して急性期より生活行為向上マネジメントを使用した一例 - 生活の質・向上を目指して -

第 33 回静岡県作業療法学会 沼津 2020/6/20-21

5. 鳥屋優太、塩澤知之、田沼明、諏訪哲、谷津翔一朗、渡邊大輔、森尾眞衣、河原一剛、阿妻伸幸、 宮下春紀、杉下美久、福田由貴、小島吾子

早期離床を目的とした心不全パスの導入は ADL 向上に寄与するか

第 26 回日本心臓リハビリテーション学術集会 オンライン開催 2020/7/18-19

6. 石井啓太、渡邊 舞、森尾 眞衣、下島 健斗、若尾 房美、大熊 泰之、野田 和幸、田沼 明 当院における LSVT BIG®実施の現状

第 61 回日本神経学会学術大会 岡山 2020/8/31-9/2

# 2-27 臨床検査科

(特任教授 田内一民)

# 診療実績

- 1. 日本医師会精度管理調査での点数 97.8 点、
- 2. 静岡県医師会精度管理調査は全て A ランクで問題点なし。
- 3. 日臨技精度管理調査ではすべて(A)評価で問題点なし。
- 4. 臨床検査技師を対象に勉強会「知得会」を開催(第70~74回)。
- 5. 院内の検査データの意義、検査結果の考え方について作成した検査説明パンフレット「検査結果の 見方・考え方」を改訂(2021.3 改訂版)。採血室・受付等に配布。
- 6. パニック値の検討 (報告値について 6 病院で統一。2020.8 より実施)
- 7. ALP.LD 測定法変更 (IFCC 法)。3 か月併記後 2021. 1 より変更。

# 研究•教育活動

- 1. 第37回 静岡県臨床検査精度管理調査報告書、2020.10
- 2. 日本総合健診医学会第48年次(2020) 臨床検査精度管理報告書、2021.3
- 3. 日本総合健診医学会施設調査票集計結果報告(2019 年度)、日本総合健診医学会誌 47(6)2020 681~705
- 4. 会員施設の実地審査に対するアンケート結果報告、日本総合健診医学会誌 48(2) 2021 254~256

# 3. 部門報告



## 3-1 薬剤科

### 業務実績

薬剤師:32名うちGCPセンター(調剤業務兼務)に3名、薬剤管理指導業務担当7名、手術室業務1名、 注射薬払い出しおよび無菌製剤業務1名、外来および入院調剤業務17名、外来・入院化学療法2名、 医薬品情報室1名にて業務をおこなっている。(2021年3月31日現在)

1. 業務内容

①調剤 外来・入院調剤

②製剤 約束処方·院内特殊製剤

③注射薬の取り揃え 入院一般注射薬・化学療法用注射薬(外来・入院とも)

④注射薬の無菌製剤 中心静脈栄養・化学療法(外来・入院とも)

⑤薬品管理 薬品発注・在庫管理・麻薬管理

⑥医薬品情報提供 院内医薬品集(昨年度より電子化)の発行・新規採用薬中止薬の案内・

副作用情報等の収集・提供

⑦薬剤管理指導業務 科ごとに薬剤師を担当させているが、ICU・CCU は持参薬管理のみ

プレアボイド報告

⑧ 手術室業務 麻酔薬の準備・使用後の確認など麻酔科医業務支援および麻薬管理

その他 学会発表など

#### ① 調剤業務

処方内容については、調剤監査システムにて相互作用、重複投与等のチェックを行った後処方せんを発行し調剤を実施している。外来および退院処方については「薬剤情報提供書(あなたのおくすり)」を添付して患者への医薬品情報提供を実施している。合わせて、お薬手帳用薬剤一覧も毎回発行・配布している。外来処方せんは院内にて調剤を行い、院外処方せんについては希望者のみとしている。本年度から調剤室内のレイアウトと調剤方法を変更し待ち時間短縮を図っている。

#### ●2020 年度調剤業務(処方せん枚数)

	4 月	5 月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月
外来	26,014	20,786	23,340	26,350	25,709	26,244	27,310	22,018	23,916	22,397	21,513	26,177
入院	13,032	12,799	13,428	13,882	13,235	12,537	13,705	12,689	12,991	12,893	11,832	12,928
合計	39,046	33,585	36,768	40,232	38,944	38,781	41,015	34,707	36,907	35,290	33,355	39,105
院外	735	518	656	748	670	742	793	766	785	720	757	901

#### ② 製剤

院内製剤は点眼薬、点鼻薬、点耳薬、軟膏、処置薬などを調製している無菌的な操作の必要なものはクリーンベンチ内で調製している。

#### ③ 注射薬の取り揃え

入院一般注射薬:前日までにオーダーされている注射薬を個人別にセットし、専用カートにて各病棟に 払い出す。金曜日は土曜日・日曜日分を、土曜日は月曜日分のセットをしている。

#### ●2020 年度注射薬処方箋枚数

	4月	5 月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3 月
外来	2,508	2,424	2,777	2,878	3,078	2,942	2,900	2,258	2,840	2,683	2,573	2,814
入院	17,205	18,701	18,690	18,465	19,551	18,187	18,379	16,235	16,952	17,219	14,947	17,041

#### ④ 注射薬の無菌製剤

外来・入院化学療法:前日までにオーダーされている外来化学療法の注射薬を個人別にセットし、担当者がレジメン内容の監査を行なう。

実施日当日は治療続行の指示に従って、がん治療センターの安全キャビネット内で直前に混注業務を行っている。

中心静脈栄養 (IVH): 当日 13:00 まで (土曜及び休日は8:00) にオーダーされたものを、クリーンベンチ内で調製し病棟に払い出している。

#### ●2020 年度無菌製剤件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11 月	12月	1月	2月	3 月
外来化学療法	655	608	588	638	582	626	624	588	604	699	603	732
入院化学療法	190	161	217	213	191	201	172	163	149	195	187	195
IVH	123	128	125	58	54	65	60	43	86	52	41	28

#### ⑤ 薬品管理

採用薬は 2021 年 3 月 31 日時点で内服薬:944 品目・注射薬:512 品目、合計 1456 品目である。

#### ⑥ 医薬品情報提供業務

医薬品の安全かつ、適正使用のための情報収集および情報提供を実施。

院内医薬品集(電子版)の作成(毎月更新)・新規採用薬、採用中止薬、包装・剤形変更の情報は薬剤科からのお知らせにて院内配布(電子版も併せ)。

#### ⑦ 薬剤管理指導業務

内科、外科、脳外科、産婦人科、眼科、耳鼻科、整形外科、泌尿器科、神経内科、呼吸器外科、形成外 科に、科ごとに配置している。持参薬の検索、服薬指導、薬歴から相互作用、併用禁忌などの薬学的管 理を行なっている。

医療安全対策のひとつとしてプレアボイド報告(薬学的ケアの実施によって、副作用・相互作用・治療効果不十分などを回避あるいは軽減した事例の報告)を行っており 2020 年度は 1656 件(前年比 122%)の報告を行った。

#### ●2020 年度薬剤管理指導算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11 月	12 月	1月	2月	3月
算定件数	1,002	867	1, 106	1, 069	1, 092	1, 069	1,070	904	1, 035	1,012	984	1, 131

#### その他

#### 学会発表

- 1. 当院におけるミロガバリンの使用状況と副作用に関する調査
- ○星野剛史、木下史一、菅尾高裕

順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科

### 論文

- 1. Evaluation of Hygiene in Dry Powder Steroid Drug Inhalers Used by Elderly Asthma Patients YAKUGAKU ZASSHI (Journal of the Pharmaceutical Society of Japan) 140(6): 789-798, 2020. Takuya Uematsu, Toru Matsuura, Fuhito Suzuki, Suzuka Aoki, Misako Suzuki, Yukiko Goto
- 2. クロスオーバー試験によるロキソプロフェンナトリウム水和物の先発医薬品と後発医薬品を比較 した慢性疼痛患者 5 例における臨床的効果の検討

2020年9月 第46巻9号 医療薬学

植松 卓也1)、芹澤 健1)、鈴木 富仁1)、松浦 亨1)、堀井 一輝1)、小池 道明2)

1) 順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科 2) 順天堂大学医学部附属静岡病院血液内科

#### 2021 年度の目標

- 研究活動の充実と臨床スキル(薬学的管理)の向上
   6病院合同研究会の開催 人事交流によるキャリアパスの取得など。
- 2. 改正薬剤師法に準拠した医薬品適正使用および医療安全への貢献(継続)
- 3. 調剤のロボット化、IT 化をすすめる。(継続)

## 3-2 栄養科

### 業務実績

#### (1) 栄養管理業務

- ① 医師の指示のもとに、外来患者および入院患者への栄養食事指導を実施した。 糖尿病の教育入院(2週間)が毎週定期的にあり、入院中には患者に寄り添った栄養食事指導を 行い、退院後も定期的にフォローアップを行った。糖尿病療養指導士の習得は3名である。 栄養指導実施件数は2018年度3,484件、2019年度3,593件2020年度3,668件であった。 2020年度より新設された栄養情報提供加算及び個別栄養食事管理加算算定を行う為の体制 を作った。
- ② 栄養サポートチーム (NST) を中心に患者の栄養状態改善を図る為、毎週木曜日に NST 回診を実施した。管理栄養士が活動をまとめる中で NST リンクナースに指導を行い、低栄養患者に対して NST 介入できるよう見直しを行った。NST 専任要件を満たす医師 3 名、NST 専門療法士習得者は、管理栄養士 2 名、看護師 2 名、薬剤師 1 名となり、それぞれの立場から専門性を発揮し連携を深めた。
- ③ 摂食嚥下支援チームの活動として当院スタッフに向けて「つばめ NewsLetter」を 2 回発行した。 また、摂食機能療法が複数の病棟で算定できるよう、2021 年度に向けて体制を整えた。

#### (2) 給食管理業務

- ① 適時適温給食の実施、安心で安全な食事の提供を行なった。
- ② 医師の指示に従い、また患者の状態に寄り添った個々人の対応を行なった。
- ③ 年4回の嗜好調査により患者の希望を捉え、献立作成に生かした。
- ④ 選択メニューを実施し、患者満足度を向上させた。

<u>①給食実施場</u>	<b>弋況</b> (単	単位:食)
区分	食種名	食数
	常食	158,325
	授乳食	8,035
	お祝い膳	771
_	学童食	961
般	小児食	1,911
食	離乳食	624
	軟食	61,922
	流動食	4,459
	小計	237,008
	エネルギー塩分食	30,929
	蛋白コントロール食	21,224
	糖質調整食	62,479
	胃腸病食	8,026
特	脂質制限食	19,677
別	低残渣食	4,137
食	無菌食	805
	注腸食	40
	濃厚流動食	47,227
	ミルク	25,737
	小計	220,281
	患者合計	457,289
	職員合計	75,569
	付添い合計	1,829
	おやつ合計	1,973
	5回食合計	1,330

②栄養食事	<u> 指導実施状況</u>	(単	鱼位:件)	
区分	指導名	入院	外来	合計
	糖尿病食	502	940	1442
	腎臓病食	122	75	197
	減塩食	796	62	858
	肝臓病食	70	31	101
個	胃腸病食	371	16	387
人	肥満食	3	19	22
指	脂質異常食	9	61	70
導	痛風食	0	1	1
	貧血食	0	0	0
	高血圧食	2	0	2
	その他	346	79	425
	小計	2221	1284	3505
<u>#</u>	指導名	回数	人数	
集団指導	糖尿病教室	22	93	
	心臓病教室	17	70	
	糖尿病会食	0	0	
77	母親教室	0	0	

③NST介入延べ人数(各科別)

診療科	延べ人数
膠原病内科	8
消化器内科	59
呼吸器内科	66
血液内科	65
腎臓内科	39
糖尿·内分泌内科	0
外科	110
脳神経外科	80
循環器科	78
心臓血管外科	55
呼吸器外科	2
脳神経内科	39
整形外科	35
形成外科	17
救急診療科	93
小児科	0
眼科	0
耳鼻咽喉科	12
産婦人科	12
皮膚科	6
泌尿器科	39
メンタルクリニック	0
合計	815

## 3-3 放射線室

放射線室は、診療放射線技師 30 名と、事務員 5 名にて放射線発生装置 27 機を運用し、画像診断、血管 内治療、放射線治療と幅広く 24 時間体制にて運用している。

#### (基本方針)

- 1. 安心安全で質の高い信頼性が得られる医療情報(画像)を提供する。
- 2. 高度先進医療の実践を目指す。
- 3. チーム医療に貢献し 患者に選ばれるような環境をめざす。
- 4. 人間性豊かな倫理観を持った診療放射線技師を目指す。

#### (目 標)

- 1. 患者、医療従事者への被曝低減
- 2. "患者確認"、"検査説明"、"同意"の徹底
- 3. 画像情報の重要性を再確認し、単純ミスをなくす。
- 4. 医療機器の有効利用をめざす。

## 業務実績

(機器構成 : 2020 年度)

機器名	設置台数
一般撮影装置	4 台
移動型X線装置	6 台
骨密度測定器	1台
乳房撮影装置	1台
X線TV装置	3 台
血管撮影装置	2 台
CT 装置	3 台
MRI 装置	3 台
ガンマーカメラ	1台
PET-CT	1台
放射線治療装置 (リニアック)	1台
放射線治療計画用CT装置	1 台

業務実績(患者数)

	2019 年度	2020 年度
単純	78,188	71,790
ポータ	30,256	30,823
骨密度	1,652	1,670
マンモ	1,538	1,288
造影	3,660	3,652
Angio	2,423	2,014
СТ	43,465	41,480
MR I	15,605	14,258
RI検査	1,016	870
PET/CT	840	824
放射線治療	5,601	5,664
合 計	184,244	174,333

前期と比較し約95%実績であった。理由としては、COVIDにより、検査予約が減少した。特に、4.5月、11月に顕著に現れたが、後半より、回復した。

#### (機器構成将来展望)

多くの装置で、更新時期が迫っており更新の為に手続きを開始した。

#### (勤務体制)

3 交代制を組み、救急診療に素早く対応できる体制作りと同時に高額医療機器の効率的運用の為に、勤 務体制にフレックス制を導入し、機器稼働時間を延長。

また、時間外業務の縮小及び日祭日の人的資源の有効利用も含め、検討し実施した。

#### (放射線教育への貢献)

日本救急撮影技師認定機構の指定実地研修施設として、研修者の受け入れを可能としている。今年度は、 諸事情(COVID)により、受け入れは、停止。次年度開始予定。

順天堂大学保健医療学部診療放射線学科の実習病院として、長期間準備を行い、次年度より受け入れが 可能となり、実施準備が前進した。

### (自己点検と評価)

各種認定取得を進め、知識、技術の向上にて安全確保し自己研鑽にて意識の向上を図った。

#### 2020年 認定資格保有者

医学物理士	1名
第一種放射線取扱主任者	3名
日本血管撮影 IVR 専門診療放射線技師	4名
磁気共鳴専門技術者	1名
放射線治療専門放射線技師	2名
放射線治療品質管理師	1名
救急撮影認定技師	3名
マンモグラフィー技術認定資格者	5名
X線CT認定技師	6名
第一種作業環境測定士	2名
臨床実習指導者	2名
放射線機器管理士	3名
放射線管理士	3名
災害支援認定診療放射線技師	1名
放射線管理師	2名
医療画像情報精度管理士	1名
画像等手術支援認定放射線技師	3名
修士課程 修了者	3名

## (機器更新、新設予定 経過)

新棟完成時の機器移動、新設等が計画され、現在までの計画、進捗情報を示す。

## 【更新機器】

対象機器	理由	設置場所	備考
X線TV装置	・12 年経過し、修理部品欠品。故障多発。	新棟2階	7月決定
(11)	最新機へ、更新	利17米 乙 酉	7月沃定
血管撮影装置	・老朽化が激しく修理不可。画像劣化	<b>本</b>	8月決定
(頭頸部)	最新血管内治療専用機へ更新	新棟地下	▶8月伏足

## 【移設機器】

移設対象	理由	設置場所	備考
X 線 TV 装置	・12.13番 X-TV 装置は、6年使用。 故障も少ないので、移設利用	新棟2階	8月決定
血管撮影装置	・心臓専用機は、設置後2年の為 引き続き、移設使用	新棟地下	8月決定

## 【増設機器】

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
増設対象	理由	設置場所	備考
一般撮影装置	・ 救急外来部門に設置	新棟1階	7月決定
一放取於表則	専用機として使用	材  作 1   作	7月伏足
CT 装置	・救急外来部門に設置	新棟1階	7月決定
CI 表国	専用機として使用	材17米 1 P百	7月沃定
血管撮影装置	・心血管治療、特殊検査の増加に伴い	新棟地下	7月決定
皿 目 取 彩 表 但	増設	初1宋地下	7月沃定
ハイブリット OPE	・手術の多様化に伴い新規設置	新棟手術室	7月決定
室	・地区最初配備、高レベル機器	初次十州主	7月伏足

## 3-4 検査室

業務実績

2020 年度検査件数

	₩ <b>₩</b>	病理検査数	生理検査数	拉 岳 14 米	<del>不</del> 到	₩₩
	検体検査数	細胞診数	腹部エコ-数	採血件数	委託検査数	総検査数
4 月	345,448	1,039	4,063	8,838	12,298	371,686
5 月	329,063	960	4,077	8,135	13,778	35,6013
6月	399,566	1,341	5,246	9,263	13,515	42,8931
7月	381,370	1,294	4,495	9,527	13,093	409,779
8月	373,265	1,216	4,174	9,066	14,282	402,003
9月	372,385	1,254	4,450	9,736	12,563	400,388
10 月	387,106	1,382	4,995	9,926	15,335	418,744
11月	320,314	994	3,447	7,491	11,378	343,624
12 月	362,699	1,254	4,159	9,299	13,934	391,345
1月	358,286	1,155	4,125	8,781	12,896	385,243
2 月	329,276	1,051	3,778	8,230	11,770	354,105
3 月	398,835	1,327	4,960	10,280	14,448	429,850
計	4,357,613	14,267	51,969	108,572	159,290	4,691,711
平均	363,134	1,189	4,331	9,048	13,274	390,976

## 検体検査数の内訳

	生化学	在法	ńД	輸血検査	血液	<b>∞</b> □ <del>   </del>	⇒I.
	生化子	血清	一般	血型	凝固	細菌	計
4 月	255,722	32,755	8,745	3,141	44,901	5,535	361,447
5月	241,873	31,026	8,787	32,49	44,128	5,734	334,797
6月	276,758	36,519	9,303	3,619	49,784	5,977	393,589
7月	280,023	37,358	9,826	3,706	50,459	6,049	378,419
8月	272,959	36,262	9,249	3,812	50,985	6,820	380,085
9月	273,886	36,571	9,154	3,554	49,220	5,937	367,052
10 月	284,804	38,092	9,519	3,935	50,730	5,859	392,965
11月	234,969	30,845	7,975	2,962	43,563	5,326	325,640
12 月	267,508	35,403	8,655	3,357	47,785	5,777	368,485
1月	259,373	34,330	13,340	3,404	46,725	6,231	358,286
2 月	238,305	31,371	12,628	3,030	42,756	5,286	329,276
3 月	288,470	38,567	15,111	3,842	51,310	5,985	398,835
計	3,174,650	419,099	122,292	38,362	572,346	70,516	4,388,876
平均	264,554	34,925	10,191	3,487	47,696	5,876	365,740

## 研究活動

- 1. 順天堂6病院技師長会、各分科会において業務の標準化を進める
- 2. 毎月1回の検査室内勉強会(知得会)の開催 若手技師のプレゼンテーション
- 3. 日本臨床検査標準協議会より精度保証施設認定

## 資格取得状況

1.	二級臨床検査士資格(延べ数)	21 資格
2.	緊急検査士	6名
3.	細胞検査士	4名
4.	超音波認定技師	3名
5.	認定病理検査士	1名
6.	衛生工学衛生管理者	1名
7.	遺伝子分析科学認定士(初級)	1名
8.	認定精度管理検査士	1名

## 3-5 手術室

### 業務実績

#### 1. 手術件数の推移

2020年の年間手術件数 7,813件、定時外も含む稼働率は、72.60%であった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2 月	3月	合計
2018年	705	690	758	742	746	643	744	713	695	636	643	722	8,437
2019年	697	661	668	796	730	699	762	699	739	706	657	741	8,555
2020年	661	537	665	688	672	633	709	579	660	643	598	768	7,813

#### 2. 手術室の有効利用

手術のインターバルは 29 分と短縮でき、手術室の稼働率は良好であった。 今後も各部門と連携し有効利用に努める。

#### 3. 手術室看護師の業務効率化

前年度より引き続き、鋭利物混入の確認や廃棄の補助、機材の同時カウントにより時間短縮を図った。そして、キット内容を再修正したことで、術前準備の短縮ができた。また、病棟との申し送りを麻酔科と協働することで、時間短縮が図れ、そのことが術前訪問・術後訪問件数の増加・術間短縮にもつながっている。さらに、衛生材料を一部既製品での運用に変更したことで、業務の短縮、人員の確保、在庫管理がスムーズかつ簡素化ができ、効率的に業務が行えている。

今後も、業務効率化のために業務の評価、修正や手術キットの見直しを適宜行っていく。また、 定期的に手術室マニュアルの見直し修正を継続する。

#### 4. 手術室看護師の知識と技術向上

手術室では、術前術後訪問を積極的に取り組み、48%(全手術件数)実施している。さらに、緊急手術や患者の状況に合わせて訪問ができている。術前訪問で得られた情報をもとに手術室環境の整備、周手術期の看護に活用している。また、術後訪問の実施により、看護の振り返りにつなげ、他部署との連携により手術看護の質の向上を目指している。さらに入院前に外来での早期介入をはじめ、患者自身が手術に向けて心身の準備ができるように教育的な関わりを行っている。これらを継続し、周術期の安全と術後早期回復に向けて、より安全に安心な手術を受けてもらえる体制作りをしていく。

同時に、サインイン・タイムアウト実施率 100%への取り組みや術中二次障害予防に対して、手術看護師の専門性に特化した看護の質の向上を図るため、手術中の定期的な除圧や正しいポジショニングなどスキルアップに努めていく。

#### 5. コスト削減の推進

各診療科、用度課と連携をとり、手術室内の診療材料、衛生材料などの在庫の見直しを行った。

## 3-6 血液浄化センター

### 業務内容

透析専門医師2名・常勤医師2名・看護師8名・臨床工学技士9名、看護助手1名により運営された。 移動困難な重症例は病室へ出張し、血液浄化療法を施行した。合併症の加療のため入院した維持透析患者の血液透析の管理を行い、他科からの依頼による単純血漿交換・二重濾過血漿分離交換・エンドトキシン吸着・血液吸着・顆粒球吸着などの血液浄化療法および腹水の濃縮還元療法を行った。近年、外科領域・神経内科・膠原病内科などにおけるエンドトキシン吸着・二重濾過膜血漿交換・血液吸着などの件数が増加し、血液浄化療法の適応が拡大している。また、悪性腫瘍の治療中に発症する急性腎障害や末期腎不全へなど Onconephrology 分野の業務が増加している。今年度は、COVID-19 に罹患した患者を受け入れし、

様々な問題点に直面することにより、今後の感染対策に関して学ぶべきことが多い1年であった。

## 診療実績

	HD	ECUM	PMX	PE	DFPP	血漿吸着	血液吸着	CHDF	CART	合計
27 年度	5,136	120	137	56	7	52	90	838	84	6,520
28 年度	6,006	62	136	27	5	29	164	968	58	7,455
29 年度	5,650	80	168	56	31	144	161	1,021	77	7,388
30 年度	5,714	99	131	19	111	61	141	1,017	109	7,402
R1 年度	5,804	123	113	63	40	124	96	1,071	103	7,537
R2 年度	5,451	145	126	39	43	64	109	909	71	6,947

#### 研究・教育活動

#### 和文図書

- 1. 清水芳男 脈拍 診察基本手技マニュアル 第2版 医歯薬出版 2020;53-58 監修:富野康日己
- 2. 清水芳男 血圧 診察基本手技マニュアル 第2版 医歯薬出版 2020; 58-64 監修: 富野康日己

#### 学会発表

- 1. 荻原慶 若林啓一 青木良輔 清水芳男 当院で経験した Nivolumab による急性腎障害に関する 検討 第 56 回 静岡腎不全研究会 静岡市 2020 年 10 月 11 日
- 2. 千葉紀宏 中村一賀 山本亮 若林道郎 大石成省 地引敬枝 鈴木克治 若林良則 若林正 則 清水芳男 大型台風の上陸予想にて透析日を変更 第56回 静岡腎不全研究会 静岡市 2020 年10月11日
- 3. 清水芳男、若林啓一、中田純一郎、鈴木祐介、井尾浩章、濱田千江子、富野康日己 予期しない血

液透析施設変更に伴う QOL の変化 第 65 回日本透析医学会学術集会・総会 2020 年 11 月 2 日-24 日

- 4. 林陽子、清水芳男、濱田千江子、鈴木祐介 伊豆半島における慢性腎臓病 (CKD) 患者の初診時から透析導入に至るまでの経過と性差 第65回日本透析医学会学術集会・総会 2020年11月2日-24日
- 5. 前田拓也、青木良輔、若林啓一、清水芳男、鈴木祐介 胸膜炎にて発症し、膜性腎症を呈した IgG4 関連疾患の一例. 第 50 回日本腎臓学会東部学術大会. 2020 年 9 月 26 日-27 日
- 6. 清水芳男、前田拓也、青木良輔、若林啓一、鈴木祐介 目視による尿沈渣所見が診断の端緒となった Fabry 病の一例. 第50回日本腎臓学会東部学術大会. 2020年9月26日-27日
- 7. 若林啓一、大熊輝之、前田拓也、清水芳男、鈴木祐介 抗 GBM 抗体型急速進行性糸球体腎炎の治療中に可逆性後頭葉白質脳症を発症した 1 例 第 65 回日本透析医学会学術集会・総会 2020 年 11 月 2 日-24 日

## 3-7 臨床工学室

## 業務実績

## 人工心肺装置操作業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3月	合計
業務件数	7	9	10	12	9	3	6	9	4	9	10	9	97

## 高気圧酸素療法業務実績

	4月	5 月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2 月	3月	合計
業務件数	41	30	48	37	54	51	47	28	50	17	42	57	502

## 心臓カテーテル室業務実績

		4月	5 月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3 月	合計
	CAG	22	9	16	23	17	18	15	12	14	17	12	18	193
ポリグラフ	PCI	43	31	53	48	49	34	48	31	48	46	44	50	525
	PPI	5	1	3	1	3	0	0	7	2	1	4	0	27
	PTA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右心カテ	2	0	2	0	1	2	2	3	0	3	2	2	19
	左心カテ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	両心カテ	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	5
	EPS	12	8	15	13	8	15	18	7	9	10	10	12	137
	Abration	12	8	14	13	8	14	18	7	8	10	8	12	132
IV	US	37	28	31	30	27	26	27	23	26	26	26	35	342
FI	₹R	22	13	19	25	26	12	15	14	19	21	12	26	224
O	CT	9	3	26	16	18	11	22	16	23	21	22	15	202
Ro	ota	0	1	1	3	0	2	1	1	0	3	3	2	17
CRO	SSER	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IA	BP	4	5	5	5	3	4	7	4	2	5	0	1	45
PC	CPS	0	1	4	0	1	1	0	3	1	1	0	1	13
D	植え込み	1	11	14	14	7	10	7	3	7	3	8	8	99
Pacemaker	交換	3	1	1	1	1	8	6	3	0	1	2	2	29
ICD	植え込み	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	2	7
ICD	交換	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
CRT	植え込み	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	2	7
CKI	交換	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ループレ	コーダー	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
SIG	CD	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

## 手術室業務実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
圧ライ	ン作成	5	9	9	12	9	3	9	13	3	9	12	11	104
術中	CS	14	13	10	13	17	12	17	6	5	17	19	24	167
術中術	後 CS	14	10	23	20	12	15	16	16	21	13	10	16	186
術後	CS	21	15	28	26	17	21	22	18	26	17	15	22	248
術後	СР	5	7	4	5	7	2	5	3	0	2	0	0	40
MAP	洗浄	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
人工心	肺補助	7	9	10	12	9	3	6	9	4	9	10	9	97
C-a	rm	2	3	5	7	1	4	6	4	5	3	4	4	48
内視	題鏡	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
CU	SA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Tc-MEP	15	17	24	21	14	16	20	16	19	24	17	24	227
	D-MEP	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
神経	SEP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
モニタリング	ABR	2	0	0	1	2	2	0	2	1	2	0	3	15
	AMR	0	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0	2	7
	VEP	1	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	6
NI	M	0	0	0	0	1	0	2	2	0	1	1	0	7
マイ	クロ	10	11	15	15	16	16	20	9	13	22	11	22	180
ナビゲー	-ション	3	3	5	4	2	5	4	2	4	4	4	3	43
Da-V	inch	7	4	3	7	4	4	3	2	4	7	6	7	58

## 血液浄化業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2 月	3月	合計
HD	474	451	459	495	452	465	498	400	454	442	418	433	5,441
ECUM	17	17	22	13	5	14	17	7	22	3	6	2	145
PMX	7	34	11	6	28	13	11	3	7	3	0	3	126
PE	7	1	2	1	4	0	5	1	10	0	1	7	39
DFPP	7	8	1	0	3	0	0	0	0	7	11	6	43
PA	11	6	11	8	1	0	6	5	6	10	0	0	64
НА	6	3	0	6	18	18	11	22	10	7	1	7	109
CHDF	67	118	101	77	79	103	86	39	54	58	48	79	909
CART	3	5	10	1	8	7	2	7	7	4	7	10	71
合計	599	643	617	607	598	620	636	484	570	534	492	547	6,947

## 3-8 輸血室

## 業務実績(2020年度)

年間輸血検査件数

・血液型検査(ABO、Rh) 11,017 件 (時間外 3,496 件)
 ・不規則抗体検査 9,688 件 (時間外 2,891 件)
 ・交差適合試験 10,016 件 (時間外 3,396 件)

・クリオプレシピテート調製 135 件・新生児用輸血小分け調製 22 件・緊急 O 型赤血球輸血対応 75 件

## 年間輸血使用量

赤血球製剤 13,909 単位、自己血 529 単位、新鮮凍結血漿 4,584 単位、 血小板製剤 17,445 単位 クリオプレシピテート 242 単位

## 診療科別輸血使用量

	赤血球製剤	自己血	新鮮凍結血漿	血小板製剤	クリオプレ シピテート
血液内科	3,634	0	122	12,150	0
心臟血管外科	1,776	0	1338	1,890	0
循環器科	640	0	56	70	0
外科	1,194	0	438	640	12
救急診療科	1,381	0	740	560	132
整形外科	802	449	88	130	0
消化器内科	694	0	96	190	0
産婦人科	1,064	74	420	90	0
脳神経外科	752	0	216	180	0
泌尿器科	388	0	8	590	0
腎臓内科	322	0	0	30	0
呼吸器外科	34	0	0	30	0
呼吸器内科	144	0	2	90	0
新生児科	66	0	62	110	0
形成外科	132	0	0	0	0
麻酔科	648	6	702	320	98
膠原病内科	72	0	104	160	0
皮膚科	18	0	0	0	0

耳鼻咽喉科	82	0	0	0	0
小児科	28	0	38	75	0
糖尿病・内分泌内科	20	0	0	70	0
脳神経内科	66	0	154	60	0
眼科	2	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0
メンタルクリニック	0	0	0	0	0
計	13,909	529	4584	17,445	242

廃棄(有効期限切れ、払い出し後の未使用・温度管理不備)

赤血球製剤 22 単位 (廃棄率 0.2 %) 新鮮凍結血漿 24 単位 (廃棄率 0.5 %) 血小板製剤 30 単位 (廃棄率 0.2 %)

## 研究活動

学会発表(国内) なし

第67回 日本輸血・細胞治療学会総会(令和2年 札幌) 新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止

### 論文

「静岡県における大規模災害時の輸血療法に関するアンケート調査の結果から 分かった今後の課題 」 小池 道明、岩尾 憲明、今田 春子、 酒井 寛美、菊地 麻里、土屋 明実

日本輸血細胞治療学会誌 66(3): 598-604, 2020

「学会認定・臨床輸血看護師がさらに活躍するために ~e-News の活動報告から見えてきた現状~」 岩尾 憲明

日本輸血細胞治療学会誌 66(4): 654-657, 2020

## 3-9(1) 看護部

## 【理念】

「仁」の心をもって、患者さんとご家族が満足できる最善の看護を目指す

## 【基本方針】

- 1. 専門職として倫理を遵守し、思いやりのある看護を実践する
- 2. 根拠に基づく安全な看護を提供する
- 3. 教育・実践・研究を通して看護の発展に貢献する
- 4. 他の医療職者と協働し、健全な病院運営に参画する
- 5. 地域と連携した看護を推進する

## 【ビジョン】

看護部は看護部理念・行動指針に基づき、大学附属病院、基幹病院の看護師として看護の質向上を目指す。

### 【2020年度 目標】

- 1. 患者さんの尊厳を守り、安全で質の高い看護を提供する
- 2. 地域と連携し、暮らしに視点をおいた切れ目のない看護を提供する
- 3. 働きがい・働きやすさを感じられる健康で安全な職場環境をつくる

### 【2020年度 目標の評価】

目標1に関しては特に重点的に取り組めるよう、師長のワーキンググループを設け、看護管理会議終了後に活動した。結果として、本年度はCOVID-19の影響が多大であり、直接的な話し合いや現場での活動が実施できない状況であったため、項目に係る現状把握と今までのデータから目標値の設定、及び、今後の活動計画立案をすることで精一杯であった。その指標を基に、2021年度は実際の取り組みを開始していく予定であり、2020年度は基礎作りの1年であったと考える。

目標2に関しても院外医療関係者との合同カンファレンスが実施できず、FAXによる「情報提供シート」の活用や、2021年1月以降に開始できた ZOOM 会議による多職種カンファレンスが主な活動となった。2021年度は入退院支援室の師長を含め、地域連携活動ができるようワーキンググループを設置し、取り組みを強化していく。

目標3に関しては、看護師特定行為研修の受講、修了が滞りなく行え、今後の活動が期待できる。時間外労働時間は病床稼働率低下の影響を受け、大幅に減少できた。また施設基準を満たす看護師配置においては、2020年度は法人許可人数686人を下回る670人(-16人)からのスタートではあったが、全員1年間で1人5日以上の年休を習得することができた。離職率は例年と大きな差はなかった。人材確保の背景には、看護部で実施しているインターシップの実施期間を限定することなくフルオープンにし、部署看護師にも良好な受け入れをしてもらい、成果が出ていると思われる。2021年度は自律した看護師の育成を目標にしたワーキンググループを設け、社会人基礎力の向上と働きがい、働きやすい職場の醸成を目指して取り組んでいく方針である。

## 2020年度 看護部委員会 成果と課題

	一人 一日股际交换		T	
	成果指標	目標値	結果	年間評価
	誤薬発生件数	420件以下	402件	
	転倒転落件数	400件以下	331件	<b>エ</b> 号人の用がピテナかり、よとは、な前型では、5.1、ラビナン
医療安全	3b以上転倒転落率	0.02%以下	0.04‰	委員会の開催ができなかったため、各部署でリンクナースが中心 となってインシデント事例を共有し、対策が確実にできているかモ ニタリング活動を実施した。また、インシデント事例だけではなく、
	リンクナース目標達成度	80%以上	73%	事故を防げた事例についても注目し、スタッフにフィードバックする機会をつくれるよう、優良事例を報告する機会も作った。リンクナー
	転倒転落発生時の環境チェック実施率	100%	52%	スが集まり、情報交換をする機会が持てなかったため、リンクナースによっては計画的に活動することができず、目標達成ができなかった。次年度は院内で発生したインシデント事例を共有し、事故
	優良事例報告件数	月1事例以上	88件	予防ができるように活動するとともに、師長ワーキンググループの活動と協働し、誤薬・転倒事故を防ぐための具体的な対策を実施
	医療安全危機管理委員会参加率	100%	100%	していきたい。
	各部署でのインシデント事例の共有	全部署実施	90%ができたと回答	
	CLA-BSI感染率が改善した部署数	7/14部署	12/14部署	主な活動はリンクナース同士でグループを組み毎月環境ラウンドを
	UTI感染率が改善した部署数	7/14部署	9/14部署	実施した。点滴台、汚物室、共有物品を中心に2回/年実施し、前期後期で改善ができるように取り組んできた。点滴台、汚物室は
	年間活動計画書の点数	80点	76点	以前よりも衛生的な環境が整備できている。しかし、改善必須項目を設けていたが改善に至らなかった部署があった。 サーベイランスについては感染対策室より定期的にフィードバック
感染対	環境監査点数	点08	平均 点滴台: 67点 汚物室: 82点 共有物品: 76点	され、その結果を基に、看護技術の見直しをすべく、マニュアルに沿った技術が提供できているかリンクナースに監査してもらった。 監査点数としては90点台と良好であるが、ホーソン効果が影響しているものと考えられる。今後は監査時でなくても適切な技術が提供できるような仕組み作りが必要である。
策	正しい看護技術の実施	為0点	平均 CLA-BSI:97点 CA-UTI:91点	手指衛生についてはリンクナースが毎月30例を直接観察している。年度初めにICNが監査訓練を個人に対し実施したものの、ICNとの監査結果の乖離があり、リンクナースの監査制度の強化が今
	手指衛生遵守率	50%	39%	後も課題である。2020年度は委員会として集合する機会や発えの機会がなかったことから改善への取り組みがリンクナースにせられていたところがあり、細かく介入できなかったため、来年は対策の進捗状況が確認できるようにコアメンバーで毎月ラウ
	実技テストの合格率	80%	75%	を実施していく予定である。
	褥瘡発生件数	130件以下	198件	
	医療関連機器圧迫創傷発生件数	120件以下	321件	褥瘡発生、MDRPU発生ともに大幅に増加した結果となった。学習  についてはナーシングスキルの視聴100%の実施ができているも
	体位変換介入患者とハイリスクケア患者数の一致率	80%以上	47%	の部署でリンクナースを中心に行った勉強会については実施が徹底して切れず6部署未実施の部署があった。委員会として集合する機会を減らした分のフォローができなかった。またテーマにあげ
褥 瘡 予	病棟ごとテーマにあげた医療関連機器圧 迫創傷の発生数	平均2件以下	平均3件	た医療関連機器の発生数は押さえられたものの他のデバイスで の発生が多く、結果的に増加する結果となった。 褥瘡発生の多く
防 対 策	ポジショニンググローブ・スライディング シートの使用率	平均80%以上	ポ平均51.5%ス7%	の要因はずれがあることがわかっているものの、各部署でのずれ の対策の実施が約50%となっていることから、ずれ対策の徹底が  不十分であったと考えられる。
农	ポジショニンググローブ・スライディング シートの遵守率	平均80%以上	69%	2021年度への課題としてずれの対策の徹底と対策をとるMDRPU のデバイスの選択をデータを元に決定し、減少につなげていくこと である。
	テープの貼り方剥がし方の手技チェックが Aの割合	80%以上	74%	次年度はリンクナースの支援をしていけるように委員会の開催方法を検討していく予定である。
	ナーシングスキル・動画視聴	100%実施	100%実施	
	病棟スタッフリストとマッピングの毎 月更新	毎月期日までに更新できる	毎月更新はできたが、期日 内更新は76%	昨年看護部参集基準を作成し、各病棟のスタッフ名簿の毎月更新 を行ったが、期日までに更新されたものが76%と低く声をかけ更新
災害	スタッフ用のアクションカードの見直 し修正	管理師長アクションカードに即したアク ションカードの作成	達成できず	を促した。項目も案内した内容で記載ができていない部署もあり個別に訂正をお願いした。管理師長のアクションカードの作成がされ、看護管理会議でシミュレーションを行い、周知を図った。アン
対策	日直・夜勤管理師長のアクションカードの活用	シミュレーションを通し管理師長アク ションカードを使用する	達成	ケート等を行わずに評価が得られず次年度は評価を行っていきたい。アクションカードの作成が今年度は進まなかった。次年度は計画通りに行っていきたい。部署の取り組みでテストを行う部署が多
	参集基準、病棟部門の応援要件について知る	部署内における研修会開催	達成	く見られたが、緊急時に規約等が思い出せないことも多く、次年度 は覚えなくとも見ればわかるようなカードの作成も課題とする。
	<b>!</b>	ļ	ļ	<u> </u>

		成果指標	目標値	結果	年間評価		
		パスの使用率	48.50%	44.50%			
		患者パス見直し件数	50件以上	131件	パス使用率は、44.5%と目標達成には至らなかった。covit-19		
	クリ	新規患者パス件数	30件以上	78件	の影響もあるのか定期入院でのパス使用が減少していることが1つ理由としてあげられる。委員会開催も難しく、書面開催が主では		
	ニカル	既存パスの見直し件数	50件以上	131件	あったが、新規パスとともに患者パスの増加および既存パスの見 直しを各診療科と協力し行えていた。見直しにより、さらに現状に 即したパス作成が行われた。またパス大会の開催も見送ることと		
	パス	新規パス件数	20件以上	78件	なり、学習の場が提供できず、目標達成にいたらなかった。2021 年度は、パス修正を行うにあたりDPCについてなどの学習会を行		
		パス検証会	100%実施	100%実施	い、よりパフォーマンスを意識した見直しを行っていく予定である。		
		勉強会開催件数	3回/年	1回			
記録		入院診療計画書と看護計画の連動	80%以上	94%	機体気圧で用よる 7.1 哈砂海社 高幸し 美雄社高の 本乳 い ・		
検討委		診療報酬に関連した看護記録	80%以上	せん妄80%、認知症93%	機能評価で問われる入院診療計画書と看護計画の連動や、診療報酬の算定に必要な記録が適正に記載されるているかを確実に監査できるよう監査用紙の修正を実施した。その結果、各部署ごとの弱点や課題が明らかになり、記録委員を中心に改善計画に取り組むことで、記録内容になる形見られ記録の質の向上に繋がった。これにより組む、との第二年記述の表現といる。		
員会	記	現任研修での看護記録研修	看護記録STEP1、2の開催	7月、10月に開催			
	録	記録監査項目・評価基準の見直し	記録監査用紙の修正	修正済	た。同時に、記録の効率化にも取り組み、各部署で定型文の作成 や重複記録の削減ができ、記録時間の短縮、負担軽減ができ た。外来においても、年々看護記録の記載が増えており、看護計		
		各部署での記録監査の実施	年2回の記録監査実施	7月、12月に実施	画の立案も積極的にでき始めている。次年度も引き続き、必要な 記録が適切に記載できることを目標にしつつ、煩雑になっている - 護計画を系統的にまとめる取り組みも行っていく。		
		記録監査結果の向上	前期と比較して後期の向上	13/14部署が向上	改良     四で木利   ロリーよくログロスグ MIO ア で コープ しゅべっ		
		必要度割合の維持	一般25%・重症70%・ハイケア80%以上	一般34.8%重症 3A83.3%3E4.9%ハイケア98.2%	2020年度、診療報酬改訂に伴い、必要度判定に関する根拠の 記録が不要となり、看護業務負担軽減になった。自部署監査方法		
	必要	自部署監査	3回/年	12回/年	を変更。監査結果から自部所の特徴を把握することができたた め、2021年度各部署で取り組みを行っていき、監査結果向上を目		
	度	院内研修(3時間1時間含む)	評価対象病棟看護師	385/454名受講率85%	指す。正しく必要度評価を行えるようにナーシングスキルを活用して行うことができたが、引き続きナーシングスキルを活用して正し し、証価が行えるようにしていく、原実理などの名職籍の扱わまれ		
		B項目テンプレート見直し	グループワーク検討	達成	り、必要度割合の基準を維持することができた。		
-	7	ご来院の皆様の声 苦情率	苦情率14.22%以下	22.00%	身だしなみにおいては院内ラウンドにてチェックを行った結果、髪		
	<b>`</b>  -	身だしなみ 部署評価	身だしなみ全項目 0.5%		性看護師は明確な基準がなく評価が困難であったため評価項目		
	Ł	品位ある応対 部署評価	品位ある対応全項目 2.09%		の増加を認め、看護師も感情コントロールができていない割合が 高値であり、苦情対応や感染対策に伴う業務の煩雑さが要因の1		
j	<b>E</b>				つとなっていたと考える。院内ラウンド結果だけでなく、他者評価    結果を個々への指導に役立てるなど部署内でも改善へ向けた取		
â	È				音す。正しく必要度評価を行えるようにナーシングスキルを活用して行うことができたが、引き続きナーシングスキルを活用して正しい評価が行えるようにしていく。医事課などの多職種の協力もあり、必要度割合の基準を維持することができた。 身だしなみにおいては院内ラウンドにてチェックを行った結果、髪型に関する基準が守られていない看護師が多く見受けられた。見まていまであったとめ評価項目の改訂を行った。接遇面ではCOVID感染拡大の影響か苦情件費の改訂を行った。接遇面ではCOVID感染拡大の影響か苦情件費の増加を認め、看護師も感情コントロールができていない割合が高値であり、苦情対応や感染対策に伴う業務の煩雑さが要因のとなっていたと考える。院内ラウンド結果だけでなく、他者評価計算を関する必要がある。次年度は社会人としての規範を記した取り組みを行っていく予定である。		
	+ r	現任教育研修評価	受講生の満足度	96%	現任研修の企画運営評価検討を実施したが、例年同様の研修システムから変更はラーニング・短時間、会場の分数は、八け複数		
-	J P	現任教育研修の企画運営	担当主任との調整	80%	回同様の研修とした。その結果として受講生の満足度は96%だった。しかし研修内容によっては、他者の意見を聞き知識を共有する		
ž	開発	研修内容の評価	担当研修の評価修正	80%	事によって学びを得られる研修については、受講生の満足度は高くても知識の習得度を鑑みると変更した研修システムでは、研修 目的を達成することが難しい現状があった。そのため、次年度は		
j		教育に関与する自己研鑽	文献検索や研修会等への参加	70%	研修内容に照らし合わせながら、研修システムを考えていく必要 がある。		
		トリスタイプ といって といっと といっと といっと といっと といっと といっと といっと	5.6月回収分年度末すべて終了	終了	看護部業務基準看護師長業務手順は適宜修正した。看護基準		
<u> </u>		マニュアルの完成	年度末にマニュアル完成	完成終了	は主任会を通し各病棟主任へ依頼し完成した。また、完成した基 準は、院内共有で閲覧ができるようシステム整備ができた。補助		
= JI	手頂	基準手順5項目見直し	年度末にすべて終了	3項目終了 60%	者・事務員業務手順の見直しは、終了した。新規パンフレットの申請は、その都度検討を実施した。運用は継続となり、申請時に対応をしていく。次年度は、看護基準の活用度の調査を行い、看護		
77	Į		毎月実施	<b>与中</b> 世	の質保証に向けた取り組みも検討する。各種手順は、新棟移設に 向けた変更事項も洗い出し見直しを行う。新規パンフレットの検討		
2	È	院内、院外研修参加率	1人1回以上参加 100%	14%	は継続していく。研修に関しては、看護補儒者研修への参加や看護の質に関する研修会への参加を行う。		

## 2020 年度 看護部責任者・他部門看護師責任者の配置

	病棟		病床数	主な診療科		師長	主任	
A棟	3階	3A	20	救命救急センター		佐々木史乃	多田 真也	
	ICU-CCU		ICU · CCU		12 111273		<u>克明</u>	
A棟	5階	5A	33	——————————————————————————————————————		三枝英美	三角百	
		MFICU	6				石井彰子 松岡なつみ・倉田洋美	
A棟	6階	6A	56	脳外・形成・救急診療科		松尾正人	田代	範人
A棟	7階	7A	56	外科•呼吸器外科		鈴木美佐	天野淳∙大	
A棟	8階	8A	52	循環器・心外・血内		山本希	飯田敏秀・	
A棟	9階	9A	36	混合・小児 (全個室)		宮澤初美	望月佳澄・	
B棟	3階	3B	38	耳鼻科・泌尿器・整形・救急		村田文明	三島めぐみ・	
B棟	4階	4B	47	脳内・眼科		田村美紀	田爪千里・	
B棟	5階	5B	46	整形		土屋智洋	石倉美槵子	·松本千加奈
C棟	2階	2C	5	COVID-19		長友節子		
C棟	3階	3C	37	消化器内科・外科		古屋曜子	飯田沙	
C棟	4階	4C	33	呼内•腎内•皮膚科		杉山美和	本間友美	
C棟	5階	5C	44	婦人科・内科系		櫻井操	加藤和歌子	
E棟	2階		12	NICU	_	長谷川智美	大木	
	新生児-		18	GCU			勝又	
<u>E棟</u>	3階	3E	20	救命救急センター 全科	1	鈴木英子	鬼塚	
E棟	3階	3EICU	7	全科 術後ICU		島田奈津美	山﨑裕也·	·土佐谷忍
	病棟合詞	<u></u>	566	16病棟 18看護単位		16	3	0
	外来部	3月	ブロック			師長	主任	
A棟			A	循環器・外科・心外・呼外		間部幸		
				脳外·整形·形成· 脳神経内科			1117 752	
B棟	B棟 2階		В	耳鼻科			造田	千草
				小児科・新生児科			//EH 1 —	
F棟	2	谐		血液浄化センター		土井尚美		
				消内・血内・腎内				
A棟	2	谐	С	呼内・膠内・糖内・麻酔科			稲葉	亜衣
				メンタルクリニック				
E棟	1	谐		眼科				
			D	皮膚アレルギー科		間部幸	一杉あけみ	··增田友香
A棟		階		泌尿器科•産婦人科				
E棟		谐		ドクターヘリ	_		勝間田敏宏	・石田桃子
D棟		下	検査	アンギオ・シネアンギオ	_	加藤清美	山本	優子
F棟	1	谐	部門	回復室·CT室·内視鏡				
A棟	△陛	• 3階	手術・			山口礼	藤本ゆうこ	•内田佳月
八小木	פוד	OPH	滅菌室			шит	小島	恭子
	合計					4	1	1
		<b>元 莊</b>		п <i>Б</i>		±n 88	佐田	<i>→ IT</i>
並7 ⋿	1	没職		氏名	1	部門 医療安全推進センター	師長	主任
部長	総務課		## E	田中ひとみ	1			
	総務課 業務課		課長 課長補佐	矢田みどり	1	感染対策室 医療安全管理室	長富美恵子	
		日 三里		野澤陽子 荻島真弓	ш	医療サービス支援センター	髙橋真紀子	
看護安全管理課 課長			│────────────────────────────────────	他	入退院支援室	山下小夜子	<b>冲</b> 追业 禾	
	外来業務課     課長       看護教育課     課長		課長		部門	八匹阮又饭至	山下小牧士	渡邉光香 渡辺ひとみ
1日 读 9	以月床				1 [	患者·看護相談室		
			師長	杉山希	1			渡邉あつ子
<u>犯</u> 啦=	<b>古数</b> (台	ア=ナノ	7.0			がん治療センター 放射線治療室		公口古幻
			76					谷口真紀
	課長∙課長	文件1在	1-2-3		<u> </u>	化学療法室		菊地麻里
師長			24	(看護部 21 他部門 3)			(0004 Fr # )	
主任			46	(看護部 41 他部門 5)		※赤字:昇格者		
						※緑字∶異動者	(2021年度)	

## 3-9(2) 看護外来業務課

#### 1. 外来

1)「外来」と「病棟」、「外来」と「地域」の連携強化を目的に活動してきた。外来での看護経過が 共有できるように、電子カルテ上で外来看護記録のタイトルを作成し、病棟との連携に活用できる ようにした。退院後初診の患者に関し、退院時の継続看護問題についてや退院指導が活かされてい るか、患者の状態を把握し、病棟と連携して看護できるように記録することが継続して実施されて いる。

病棟との定期的なカンファレンスは、患者の情報共有や業務連携について平均 41 件/月開催され 連携を深めてきた。また病棟-在宅-外来とシームレスな連携を図る目的の、「外来スクリーニング シート」は 76 件/月実施し、入退院支援の必要な患者の情報を入退院支援室と情報共有している。 地域との連携においては、「地域連携シート」発信が 65 件/年、受信が 87 件/年と、「電話相談」発信 件数が 162 件/年、受信が 199 件/年で、特に「地域連携シート」はコロナ渦での連携に有効活用され た。

今後は外来受診患者延べ平均 1,633 人(2020 年度平均)に対し、看護介入や地域と連携した支援が必要かスクリーニングするための簡易ツールを作成し、更なる連携強化に向けて活動する予定である。また新棟移転・外来改修工事後に患者指導をするブースが設置されるため、看護外来の強化を計画している。

2)「外来」と「病棟」の一元化を撤廃後1年間、4ブロックに編成した外来の中で、相互支援ができる体制を整えてきた。急遽の休みや超過勤務に対して、ブロック内での相互支援が定着してきている。また、ブロック内での支援体制が定着してきたことで、今後は検査部門を含め外来全体での相互支援も視野に入れて教育体制を整えていくことを課題としている。

#### 3) 専門分野による看護指導件数

	2019 年度	2020 年度
リンパ浮腫指導件数	58 件	_
骨粗鬆症指導件数	145 件	228 件
間歇導尿指導件数	47 件	29 件
禁煙看護指導件数	73 件	39 件
自己血輸血件数	370 件	284 件
糖尿病療養指導件数	93 件	125 件

- 4) 外来部門各資格者数 (2020 年度 有資格取得者を含む)
  - · 学会認定内視鏡檢查技士(2名)
  - · 学会認定臨床輸血看護師 (1名)
  - · 学会認定自己血輸血看護師(1名)
  - ・快適 CIC 指導士(間歇導尿指導)(2名)

- ・静脈注射造影剤コース院内認定看護師(19名)
- ・日本禁煙学会禁煙認定指導看護師(2名)
- インターベンションエキスパートナース(2名)
- ・日本リウマチ財団 リウマチケア看護師(1名)
- ・肝疾患医療コーディネーター (5名)
- ・特定化学物質作業主任者(6名)
- ·有機溶剤作業主任者(2名)
- ・糖尿病療養指導士(1名)
- ·腎臟病療養指導士(1名)

## 2. 手術室

- 1) 2020 年度の年間手術件数 7,813 件、定時外も含む稼働率は、83.1%であり、コロナ渦で不要不急の手術が控えられたため、昨年度より 742 件/年減少している。
  - 手術室を安全で効率よく運用するために、術前訪問での患者の事前把握、術間清掃内容や人員、部屋準備時の看護補助者業務について委託業者との協力があり、術間のインターバルを 30 分に短縮できている。
- 2) 術間のインターバルを 30 分にして手術を実施しているが、手術室入室時の書類の不備や患者の身体的な準備が整っていないなどの不備による入室の遅れが、15~20 件/月あり定期的に不備状況について注意喚起している。
- 3) 手術が効率的に実施され、術前・術後訪問に行く時間の確保ができたことで、全身麻酔下で手術する患者に加え緊急手術の患者も視野に入れ、患者訪問が実施されている。術前より患者と良好なコミュニケーションをとることで、患者の術前・術中のニーズに対応することができた。また、術後訪問を実施し、手術室環境や手術看護実践の評価を行い、看護師の振り返りにつなげたり、術中看護のみならず、より周術期看護を意識した行動がとれ、看護の質の向上につながっている。
- 4) 手術室での褥瘡発生件数は 2019 年度 7 件から 2020 年度 9 件と増加したが、術中に発赤し重症化した件数は 0 件であった。手術室入室時・退室時の皮膚観察の徹底でスキントラブルの早期発見と迅速な対応に努め、また術中のポジショニングや可能な範囲で除圧の徹底をしている。スキンテアの発生も併せて、術前の皮膚状態を含めた全身状態の把握と術後訪問での検証を実施しトラブルが最小限となるようにケアの検討を重ねていきたい。

#### 3. 滅菌室

株式会社リジョイスカンパニーの業務が安定し、業者からは教育システムの強化、及び T-DOC システムによるバーコード管理の実施が進められ、セット器械・単品器械の 100%バーコード管理が出来るようになった。管理者間での情報共有と問題について検討を行い、問題が生じた際には迅速に対応されており、安全・安心な手術の一役を担っている。

## 3-9(3) 看護教育課

## 業務内容

- I. 2020 年度 現任教育必修研修一覧
- I. 必修集合研修一覧

I. 必付	修集合研修	<b>多一覧</b>					
月	Ħ	研修時間	ラダー	研修名	研修内容(教育要綱参照)	キャリア開発 委員会担当 者	担当者*担当責任者
	14 (木)	16:30~17:30	I	指導者研修STEP1 (エルダー役割)	実地指導者(エルダー)になるための学習	教育課	飯田秀・倉田
5	25(月)	16:30~17:30	п	事例研究STEP2①	研究計画書の書き方・事例研究の進め方	小林	田爪・小林嘉・谷口
	開講なし	16:30~17:30	IV	リーダーシップ研修3①	SWOTを用いた現状分析	開講なし	教育課
	29(金)	16:30~17:30	介護福祉士 ケーススタディ	介護福祉士ケーススタディ	進め方の説明	教育課	教育課
	11(木) 22(月) 23(火)	16:30~18:00	新人看護職員研修	フィジカルアセスメントSTEP1	フィジカルアセスメント	稲葉	石井・森島・一杉・ 土佐谷・鬼塚
6	12(金)	16:30~17:30	п	臨床実習指導者研修(1回目)	実習指導者の役割について	教育課	三角·本間· 松本千
	26(金)	16:30~17:30	介護福祉士・看護補助 者・クラーク	看護補助者技術研修	環境整備·配膳·汚染物処理	内田佳	加藤和·渡邉美· 瀧田
	2(木)	16:30~17:30	IV	看護倫理STEP4①	看護実践に必要な倫理	田村	田村・宮澤・古屋
	6(月)	8:30~16:10	新人看護師以外	学内認定看護師教育課程静脈注射コ	ース(1回目)	佐野ま	松岡·森久美· 菊地·山本·福澤
7	17(金)	16:30~17:30	П	臨床実習指導者研修(2回目)	実習指導案について	教育課	三角·本間·松本千
	10(金)	16:30~17:30	新人看護職員研修	看護記録STEP1	看護記録·看護過程1	古屋	古屋・山崎裕・森み
	14(火)	16:30~17:30	Ш	リーダーシップ研修2①	問題解決技法	土屋智	大木・多田・土屋
				4か月の振り返り	4か月の振り返り		
8	4(火)	16:30~17:30	新人看護職員研修	夜勤独り立ち前研修	夜勤独り立ち前準備	教育課	大川・小島 (鈴木英
	開講なし	16:30~17:30	П	フィジカルアセスメントSTEP2	教育要綱参照	開講なし	土佐谷・倉田)
	3(木)	16:30~17:30	IV	指導者研修STEP3	指導3観について	教育課	教育課
	7(月)	8:30~16:10	新人看護師以外	学内認定看護師教育課程静脈注射コ	ース(2回目)	佐野ま	松岡·森久美· 菊地·山本·福澤
9	18(金)	16:30~17:30	Ш	看護倫理STEP3①	教育要綱参照	田村	田村•宮澤
Ü	10(木)	16:30~17:30	I	看護研究STEP1 事例レポート	事例レポートの書き方	小林	小林嘉·田爪 谷口
	14(月)	16:30~17:30	I	看護研究STEP1 事例レポート	事例レポートの書き方	小林	小林嘉·田爪 谷口
	8(木) 15(木) 22(木)	16:30∼18:00□	新人看護職員研修	救急看護	急変時の対応・机上シュミレーション	稲葉	三島・渡辺あ・藤本・中村・天野
10	22(木)	16:30~17:30	П	看護記録STEP2	記録の監査方法・指導	古屋	森•山崎裕
	1(木) 2(金9 27(火)	16:30~17:30	ш	リーダーシップ研修2②	問題解決技法	土屋智	大木・多田・土屋
	5(木) 12(木)	16:30~17:30	新人看護職員研修	退院支援・連携	退院支援の流れ・スクリーニングシートの書き方	教育課	渡邉光・渡辺ひ
11	20(金)	16:30~17:30	介護福祉士	ケーススタディー発表会	ケーススタディー発表・グループワーク	教育課	教育課
	27(金)	16:30~17:30	П	事例研究STEP2②	事例研究発表	小林	田爪・小林嘉・谷口
	4(金)	16:30~17:30	П	事例研究STEP2②	事例研究発表	小林	田爪・小林嘉・谷口
	開講なし	16:30~17:30	IV	リーダーシップ研修3②	SWOT成果発表	開講なし	(教育課)
	7(月)	16:30~18:00	新人看護師以外	学内認定看護師教育課程静脈注射コ	ース(3回目)	佐野ま	松岡·森久美·菊 地·山本·福澤
12	15(火)	16:30~17:30	Ш	リーダーシップ研修2③	問題解決技法	土屋智	大木・多田・土屋
12	17(木)	16:30~18:00	介護福祉士・看護補助 者・クラーク	看護補助者技術研修	認知症患者の対応 AED 使用を含む救急蘇生法・緊急時対応	内田佳	加藤和・渡邉美・瀧 田・内田
	22(火) 24(木)	16:30~17:30	ш	看護倫理STEP3②	事例発表会	田村	田村・宮澤・古屋
	8(金) 22(金)	16:30~17:30	п	指導者研修STEP2 (メンター役割)	後輩の成長を支援する指導者(メンター)となるために・成人教育とは	鈴木英	増田・内田佳
1	14(木) 19(火) 21(木)	16:30~18:00	I	リーダーシップ研修1	リーダーになるための心構え	鈴木英	飯田紗・石倉
	4(木) 9(火)	16:30~17:30	新人看護職員研修	メンバーシップ研修	メンバーシップ・1年間の振返り	渡邉美	石田·勝間田 望月佳
2	12(金)	16:30~17:30	П	臨床実習指導者研修(3回目)	実習指導実施報告会	教育課	三角・本間・松本千
Ì	25(木)	16:30~18:00	介護福祉士・看護補助 者・クラーク	看護補助者技術研修	ポジショニング・スキンケア	内田佳	加藤和・渡邉美・瀧 田・浦岡

## Ⅱ. 必修課題研修一覧 担当:教育課

	6	10日までに受講申し込み	I	認知症看護	ナースNAVIで受講入力した方に課題を配布、指定した期限内に課題を実施
	11	11日までに受講申し込み	I	看護倫理STEP2(レポート有)	ナースNAVIで受講入力した方に課題を配布、指定した期限内に課題を実施
Ī	12	10日までに受講申し込み	新人看護職員研修	エンゼルケア(レポート有)	ナースNAVIで受講入力した方に課題を配布、指定した期限内に課題を実施

## Ⅱ.2020 年度 キャリアアップ研修計画

【看	藩	敠	杏	Ж	李	◬	1
14	-	4X	П	747 I	71	ᆇ	

月	目	研修時間	ラダー	研修名	研修内容(教育要綱参照)	担当者
11	11/2~30	11/1 5日 mile		看護教育研究会(1回目)	伝達講習・研究・取り組み発表	教育課
2	2/3~3/31	Web視聴	I II VA I.	看護教育研究会(2回目)	伝達講習・研究・取り組み発表	教育課

【中間管理者コース [ /ベーシック】	* 主仟昇格予定者受讚必修研修
【中間食丼者コースⅠ/ペーンツク】	不 七代 并 俗 丁 足 有 '文 满 必 修 妍 修

月	日	研修時間	ラダー	研修名	研修内容	担当者
8	26(水)				組織における看護部の役割・管理者の役割	看護部長
9	9水)				ヘルスケアサービス・医療経済	濱口・野澤
10	14(水)				労務管理・ストレスマネージメント	堀込•宮澤
11	11(水)		ラダーIV・管理 I(主	- 177. 禁理 1 ( )	組織運営と目標管理	櫻井•長友
12	9(水)	16:30~17:30	任)*本年度ファー	中間管理者になるために	リーダーシップとチーム医療	山本・加藤
1	13(水)	16:30~17:30	ストレベル受講予定	中间官理者になるために	キャリア開発と看護実践計画書の書き方	教育課
2	10(水)		者除く		看護倫理	古屋
3	10(水)				医療安全管理	荻島
2021年	F4月計画発表				実践計画発表	教育課
2022年	F2月実践報告				実践報告	教育味

#### 1. ストーマケアベーシック ※全3回 同内容参加はいずれか1回

月	目	研修時間	対象者	研修内容	担当者
8	18(火)	16:30~17:30	新人からすべての	<ul><li>・ストーマケアの基本</li><li>・急性期の起こるストーマトラブルとその予防法</li></ul>	浦岡・間部
11	17(火)	16:30~17:30		・ケア実施時の記録・ストーマ装具交換	(田 町・ 町町

## 2. 褥瘡ケアコース ※全3回出席

月	目	研修時間	対象者	研修内容	担当者
7	2(木)			第1回 講義(外力の管理・脆弱な皮膚のスキンテアと実際)	
9	3(木)	16:30~17:30	ラダー <b>II</b> ~ <b>I</b> V	第2回 演習(褥瘡ケア用品・ポジショニングの実践技術)、グループワーク	浦岡・間部
12	3(木)			第3回 実践事例発表	

#### 3. 入退院支援、連携研修 ※全5回出席

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
9	8月(火)	16:30~17:30		第1回 講義	
10	13(火)	16:30~17:30	各部署にてチーム		山下
	8月中	1日訪門看護実習	リーダーを担うスタッ	第3回 訪問看護実習	渡邉光
11	17(火)	16:30~17:30		第4回 シンポジウム	渡辺ひ
1	19(火)	16:30~17:30		第5回 事例検討発表	

### 4. 認知症患者に対するせん妄予防・看護 ※全2回出席

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
7	16(木)	16:30~17:30	認知症ケア加算算定	第1回 講義	古屋·遠藤· 瀬川楢﨑·
11	5(木)	16:30~17:30	対象研修修了者		勝亦・渡辺

※全3回出席

#### 5. 摂食・嚥下障害看護コース

月	目にち	研修時間	対象者	研修内容	担当者
8	20(木)			①摂食嚥下のしくみ	
9	3(木)	16:30~17:30		②摂食嚥下障害、誤嚥・窒息予防の必要な知識 ③嚥下スクリーニングテスト	小林·大川 福田·沢田梢
1	7(木)			④嚥下スクリーニングテスト演習	品四八四田

### 6. リンパ浮腫予防指導コース ※全3回出席

月	目にち	研修時間	対象者	研修内容	担当者
9	17(木)	16:30~17:30		①リンパの解剖生理・リンパ浮腫について ②日常生活指導内容・セルフリンパドレナージ・圧迫療法・運動療法・スキンケアについて	望月
1	21(木)	16:30~17:30		②リンパ浮腫指導管理料のしくみ・方法・算定書類について	至月

## 7. 認知症看護に関する事例検討会

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
10	1(木)	16:30~17:30	認知症ケア加算算定 対象研修修了者	グループワーク・発表・フリートーク	古屋·遠藤· 瀬川·楢﨑 勝亦·渡辺

### 8. がん看護研修

月	目にち	研修時間	対象者	研修内容	担当者
10	15(木)		ラダーⅡ以上、がん看	①化学療法	谷口·菊地
11	19(木)	16:30~17:30	護に興味のある方は応	②がん放射線療法	中村·高島
12	17(木)		相談で参加可能	③緩和ケア	渡邉美

## 9. 呼吸ケアナースフォローアップ研修

月	目	研修時間	対象者	研修内容	担当者
1	1•12•1月	16:30~17:30	呼吸ケアナース	講義・実技(ジャクソンリースの使用法について)	鈴木英·多田· 石田· 土佐公·宮田

## 10. 自部署の倫理的問題について考えよう

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
2	18(木)	16:30~17:30	STEP3終了ラダーIV 以上	事前課題事例にある倫理的課題を明らかにし、その解決に向けカンファレンスを実施する	宮澤・田村

## Ⅲ. 2020年度 看護教育研究会 開催一覧

第1回 看護教育研究会 11月2日(月)~11月30(月)Web視聴		部署 氏名
〈実践報告〉 入退院を繰り返す高齢患者の退院支援について	8A病棟	内田 千恵子
〈実践報告〉 手術安全チェックリスト遵守率向上にめざして	手術室	藤本 ゆうこ
〈実践報告〉 自部署の感染対策の現状分析と改善策の検討	6A病棟	相磯 昭子
〈研究〉 食欲不振を訴えるCahexia状態にある慢性疾患患者の家族の食事を 持ち込む行動に対する考え	3E病棟	鈴木 英子
〈研究〉 静岡県東部地域において外来通院する高齢者のセルフケア能力の現状と課題 〜独居高齢者と非独居高齢者の比較から〜	教育課	杉山 希

第2回 看護教育研究会 2月3日(水)~3月31(水)Web視聴	部署 氏名
〈実践報告〉 高齢認知機能障害を伴った患者が外来化学療法を継続できる環境調整について の考察	がん治療センター 安藤恵美子
〈研究〉 訪問看護ステーションで働く看護師の個人防護具取り扱いと手指衛生の 課題	2C病棟 平馬知実
〈研究〉 ソーシャルネットワーキングサービスを利用して同病者とコミュニケーションをとる初発乳がん患者の情緒的体験	5C病棟 池田定代
〈実践報告〉 周術期皮膚障害、神経障害予防のための取り組み	手術室 小島恭子
〈実践報告〉 COVID-19隔離病棟における看護実践について	9A病棟 細小路光葉

## IV. 2020 年度 院外教育活動

## 1. 学会・研究会発表

テーマ	発表場所	発表者 (部署)
A Status Survey on the Need for Network Systems that promote	International Nursing	Shino Sasaki(3A)
clenical Practice instructor carees	Conference(ICN)~2020	
	taiwan~	
看護師特定行為研修に係る診療看護師 (NP) の現状について	第6回日本NP学会学術	多田真也(3A)
	集会	
「他職種連携と安全文化の伝承」フライトナース1・座長	第 27 回日本航空医療学	多田真也(3A)
	会	
動画学習によるフライトナース off-JT 教育の効果と課題	日本航空医療学会	鈴木めぐみ(救急外
		来)
救命救急センター集中治療室における療養環境の把握	日本救急医学会中部地	松尾基樹(救急外来)
	区会	
「食道がん術後患者への早期リハビリテーションの介入」	順天堂 6 病院集中ケア	小川晴菜(3 EICU)
	事例検討会	
肝細胞癌患者に対する癌リハビリテーション実施に関する	静岡県看護協会	土屋千晶(3C)
現状と今後の課題	東部地区支部	
認知症高齢者と家族に対する意思決定支援~終末期の医療	静岡県看護協会	斎藤萌子(3C)
の選択を行った一例~	東部地区支部	
高齢患者の身体抑制解除に対する病棟看護師の判断と気づ	日本老年看護学会	古屋曜子(3C)
き	学術集会 (誌上)	
入院後せん妄発症身体抑制を受けていた患者の一例		
ID 第一原理を活用したリーダー看護師育成の事前教育教材	日本教育工学会秋季大	増永恵子(3C)
の開発と今後の課題	会	
マネジメント業務に焦点をあてて		
勤務帯リーダー看護師育成のためのマネジメントに焦点を	日本教育工学会春季大	増永恵子(3C)
当てた事前学習システムの改善点と対策	会	
終戦記喪失体験に対する当院の現状と課題	日本母性衛生学会総会	古谷華菜(5A)
	学術総会	石井彰子(5A)
ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用して同病者	日本がん看護学会	池田定代(5C)
とコミュニケーションを取る初発乳がん患者の情緒的体験		
術前術後訪問による患者サービス向上	第 51 回日本看護学会学	山口礼 (手術室)
	術集会	
手術安全チェックリスト遵守率向上に向けて	第 34 回日本手術学会年	藤本ゆうこ(手術室)
	次大会	
BCP に即した看護部内規の作成による効果	日本看護学会学術集会	野澤陽子(看護部)

動画学習によるフライトナース off-JT 教育	日本航空医療学会総会	野澤陽子(看護部)
フライトナース勉強会報告、アンケート分析	日本航空医療学会総会	野澤陽子(看護部)
	フライトナース委員会	
ローカルエリアにおける慢性病患者の在宅療養を支える総	日本看護科学学会学術	杉山希(看護部)
合看護外来の組織化と実践評価	集会	
外来における病棟および地域との連携強化に向けてのシス	日本看護学会学術集会	杉山希(看護部)
テム構築	看護管理	
外来通院する高齢者のセルフケア能力の現状と課題	日本看護学会学術集会	杉山希(看護部)
	在宅看護	

## 2. 誌上発表

テーマ	書籍・雑誌名	著者 (部署)
LCIG 療法を受ける進行期パーキンソン病患者への看護実践	順天堂保健看護研究	宮澤初美
の一考察		

## 3. 院外での講師としての教育活動

活動内容	活動場所	担当者 (部署)
ICLS インストラクター	保健看護学部	中村沙織(3A)
救命救急看護論	保健看護学部	多田真也(3A)
オンライン公開講座「看護師特定行為研修とは」	保健看護学部	多田真也(3A)
クリティカル特論「航空医療における診療看護師への役割」	愛知医科大学院看護学 研究科	多田真也(3A)
疾病と治療、薬物治療Ⅱ	愛知医科大学院看護学 研究科	多田真也(3A)
講義「診療治療減助技術」	保健看護学部	佐々木史乃(3A)
災害看護研修Ⅱ「ロジスティックを意識した看護」	静岡県看護協会	勝間田敏宏(救急外来)
ICLS インストラクター	保健看護学部	田上佑一(3E)
看護の質向上研修 フィジカルアセスメント 1	静岡県看護協会	古屋曜子(3C)
看護の質向上研修 フィジカルアセスメント 2	静岡県看護協会	古屋曜子(3C)
高齢者看護方法論Ⅱ	保健看護学部	古屋曜子(3C)
看護連盟についてのプレゼンテーション	静岡県看護連盟	坪井隆司(3C)
成人看護方法論慢性期Ⅱ	保健看護学部	田村美紀(4B)
感染看護	保健看護学部	杉山美和(4C)
ICLS コースインストラクター	保健看護学部	松尾正人(6A)

高齢者看護方法論Ⅱ	保健看護学部	宮澤初美(9A)
成人看護方法論Ⅲ	保健看護学部	望月佳澄(9A)
医療と看護管理	保健看護学部	田中ひとみ(看護部)
医療と看護管理	保健看護学部	堀込克代(看護部)
職業人に話を聞く会	韮山中学校	矢田みどり(看護部)
職業講座講師	三島北高校	荻島真弓(看護部)
認定看護管理者教育課程セカンドレベル総合演習コーディ ネーター	静岡県看護協会	荻島真弓(看護部)
救急看護「DMAT の活動と実際」	保健看護学部	野澤陽子(看護部)
介護施設等再就業研修	ナースセンター	杉山希(看護部)
第5回地域づくり会議づくり	伊豆の国市	杉山希(看護部)

## V. 2020 年度 教育活動状況

			<u></u>
	項目	内容	期間
1	順天堂大学	ハイリスク新生児実習	COVID の影響にて中止
	医療看護学部実習	助産分娩実習	8月31日~9月18日
	順天堂大学	①保健医療福祉に携わる職種の	2021年1月13日、20日
	保健看護学部実習	活動見学	
		②基礎看護実習 I	2021年1月12日~22日
		③基礎看護実習Ⅱ	8月24日~9月18日
		④成人看護実習	9月28日~2021年2月24日
		⑤看護総合実習	7月13日~7月22日
	静岡県立看護専門学校	ハイリスク新生児実習	8月25日、26日
	実習	助産分娩実習	9月28日~12月25日
	聖隷クリストファー大	看護管理実習	10月12日~14日、19日
	学大学院実習		
	東海大学実習	救急看護認定看護師教育課程臨	2021年1月6日~2月10日
		地実習	
2	インターンシップ	当院の医療・看護を実際に体験	随時
		し、就職後のリアリティーショ	
		ックを緩和する	

## 3-10 救命救急センター

#### 業務内容

静岡県東部地域の救急医療の「最後の砦」の三次救急医療機関として、院内全診療科と各部門の協力・連携のもと、「断らない救急医療」の実践を継続している。二次救急医療についても駿東田方地域の広域輪番制で対応不能な場合は当センターが対応しており、同様に一次救急医療を担当する休日夜間急患センターなどの対象外地域や診療時間の空白時は、当センターが対応することが多い。

病院前救急医療としては、静岡県東部地域のドクターへリ運航基地病院として、医師及び看護師の現場派遣と迅速な搬送を行うことで、特に伊豆半島と静岡市山間部の救急医療に重要な役割を果たしている。

入院診療では ICU13 床、CCU7 床を含む救急専用病床 40 床を利用し、重症傷病者の診療を行っている。

## 業務実績

2020年度

救急外来受診患者総数11,222 人救急入院患者総数13,068 人救急車搬送件数6,091 件ドクターヘリ運航件数943 件

#### メディカルコントロール活動

消防機関とのメディカルコントロール (MC) 体制を確保・発展するために、当院に搬送された症例を中心に、救急救命士の技術指導を行った。

#### 次年度目標

- ▶ 救急搬送収容業務の円滑化と迅速化のため、救急応答事務員による救急対応体制への移行を順次 実施する。
- 周辺地域における救急医療連携を強化し、医療情報ネットワークを構築する。
- ▶ ドクターへリ活動と研究により積極的に介入し、適正かつ有効なドクターへリ業務を推進する。
- ▶ コロナ感染拡大に伴う救急患者からの院内感染の発生を抑止する。
- ▶ 新救急救命センターへ円滑に業務体制を移行する。

## 3-11 ドクターヘリ運航対策室

### 業務内容

当院は静岡県東部地域のドクターへリ運航基地病院である。当院のフライトドクター及びナースがヘリでいち早く救急現場の傷病者と接触し、トリアージと応急処置を行い、適切な医療施設を選定して、目的地まで安全に搬送できるよう注意深い観察と対応を行っている。平成 16 年の指定以降、出動件数は年々増加傾向であり、当院を中心とする半径 70km の医療圏から年間 700 件以上の重症救急患者の広域へリ搬送を実施し、その約7割の患者を当院の救命救急センターに収容している。

## 次年度目標

- ・ ドクヘリ活動周知、啓発活動の継続
- ・ 消防との更なる連携強化
- ・ 県防災ヘリとの連携強化
- ・ 大規模災害、AACN 等の訓練への参加
- ・ 海上保安庁との連携強化
- 自衛隊との連携強化

## 2020年度ドクターヘリ出動件数・搬送人数

転	帰	人 数	
入	院	527	54.6%
外	来	242	25.1%
転	送	157	16.3%
キャン	セル	40	4.1%
合	計	966	100%

要請内容	件 数
現場搬送	724
現場キャンセル	39
病院間搬送	179
病院間キャンセル	1
合 計	943

令和 2 年/ 令和 3 年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12 月	/1 月	/2 月	/3 月	合計 (人)
入 院	49	42	41	31	60	41	51	43	42	39	46	42	527
外 来	22	19	16	9	34	20	19	11	19	20	27	26	242
転送	11	17	9	10	17	7	15	20	14	12	15	10	157
キャンセル	2	3	3	1	10	3	4	1	3	4	2	4	40
月別合計	84	81	69	51	121	71	89	75	78	75	90	82	966

令和 2 年/ 令和 3 年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	/1 月	/2 月	/3 月	合計 (人)
救急現場	66	58	56	42	88	53	71	56	54	54	69	57	724
転院搬送	13	17	10	7	18	14	12	18	18	16	19	17	179
キャンセル	2	3	3	1	10	3	4	1	3	4	2	4	40
月別合計	81	78	69	50	116	70	87	75	75	74	90	78	943

## 出動実績

## I - 1 (件数)

出動	内 容
現場	763
	(キャンセル 39 件含む)
病院間	180
	(キャンセル 1 件含む)
現場	724
病院間	179
小 計	903
キャンセル	40
合 計	943

## I - 2 (件数)

## (消防本部別)

合 計	151	29	763	943	
消防との合流なし	52	0	0	52	
小 計	99	29	763	891	
その他消防	0	0	1	1	
静岡市消防	1	0	15	16	
富士市消防	4	0	46	50	
富士宮市消防	0	0	41	41	
御殿場市・小山町消防	2	9	81	92	
富士山南東消防	2	1	139	142	
熱海市消防	25	2	25	52	
駿東伊豆消防	17	9	258	284	
下田消防	48	8	157	213	
消防本部名	病院	診療所	現場出動	司	
沙 叶 + 如 每	転 院	搬送	田相川野	計	

## Ⅱ-1 (人数) (診療科別)

診療科名	(人数)
循環器科	195
脳神経外科	106
整形外科	75
外科	21
呼吸器内科	1
小児科	32
膠原病内科	1
呼吸器外科	
腎臓内科	
消化器内科	16
心臟血管外科	16
脳神経内科	7
産婦人科	2
眼科	
泌尿器科	5
形成外科	
耳鼻咽喉科	1
皮膚科	
新生児科	2

- ← 急性心筋梗塞 70 人、心不全 22 人
- ← 脳内出血 29 人

1 11.1 61		
血液内科		1
糖尿病•	内分泌内科	1
救急診療	科	444
合	計	926

/926 ャンセル 40 除く)

※943 件の出動中

3名診療

2名診療 12 件 4件

4 名診療 1 件

Ⅱ-2 (人数) (収容先別)

出 動 別	当 院 <sub>(人数)</sub>	他 院 <sub>(人数)</sub>	合 計 (人数)
現場	560	82	642
病 院 間	112	67	179
小 計	672	149	821
現場のみ	21	84	105
合 計	672	149	926

## 疾患別搬送件数

内因性疾患	件 数	内因性疾患	件数
急性冠症候群	108	肝細胞癌破裂	1
心不全	19	肝不全	1
急性大動脈解離	38	吐血	1
大動脈瘤破裂	2	腹痛	1
完全房室ブロック	6	ショック	1
Ⅱ度房室ブロック	1	腎盂腎炎	1
洞不全症候群	2	尿管結石症	1
心室細動	3	膀胱炎	1
心房細動	4	出産	1
不整脈	4	弛緩出血	1
下肢動脈閉塞症	4	早産児	1
肺血栓塞栓症	1	左心低形成	1
静脈血栓症	1	総肺静脈還流異常症	1
心膜炎	1	創部出血	1
心筋炎	1	感染症	2
大動脈弁狭窄症	1	敗血症	8
心タンポナーデ	1	播種性血管内凝固症候群	1
心臓サルコイドーシス	1	多臓器不全	1
肺高血圧症	1	脱力	1
胸痛	8	高血糖	1
脳内出血	8	低血糖	2

くも膜下出血	7	脱水	1
脳梗塞	20	迷走神経反射	1
脳卒中	67	転換性障害	1
脳血管障害	3	出血性ショック	1
一過性脳虚血発作	4	心肺停止	37
意識障害	16	不明	1
意識消失発作	8		
けいれん発作	25		
脳炎	1		
失神	7		
咽頭炎	1		
食道癌	1		
食道破裂	1		
気胸	1		
呼吸不全	3		
肺炎	2		
食道静脈瘤破裂	1		
幽門狭窄症	1		
腸閉塞	4		
消化管穿孔	2		
消化管出血	14		
胆管炎	1		
腹膜炎	1		
急性腹症	1	内因性疾患 小	計 479

外因性疾患	件数	外因性疾患	件数
交通外傷	6	擦過傷	1
転落外傷	12	頭部外傷	32
頭蓋内出血	8	胸部外傷	9
頭蓋骨骨折	1	外傷性気胸	4
脊椎骨折	12	血気胸	2
鎖骨骨折	6	腹部外傷	4
胸骨骨折	1	多発外傷	22
肋骨骨折	15	動脈損傷	3
骨盤骨折	20	脊髄損傷	30
上肢骨折	10	膵臓損傷	1
肩関節脱臼	1	脾損傷	1
手関節骨折	1	腎損傷	3
手指骨折	6	肝損傷	1

下腿骨骨折	25	腹腔内損傷	3
足部骨折	6	陰茎損傷	1
頚椎捻挫	2	電撃傷	1
頭部打撲	15	出血性ショック	3
肩打撲	2	薬物中毒	1
背部打撲	1	溺水	9
胸部打撲	5	減圧症	6
腹部打撲	5	窒息	13
腰部打撲	4	熱中症	11
上肢打撲	1	アナフィラキシー	31
下腿打撲	1	縊首	1
足部打撲	1	熱傷	16
全身打撲	5	化学損傷	1
頭部挫創	17	低体温	3
上肢挫創	1	誤嚥性肺炎	3
上肢挫滅創	2	心肺停止	5
下肢挫創	11	不明	
手指挫創	3		
脳振盪	8		
肺挫傷	3		
手指切断	30		
頭部切創	1		
顔面裂傷	1		
腹部刺傷	1		
上肢切傷	1		
上肢デグロービング損傷	3		
手指切傷	4		
手指挫滅創	5		
下腿デグロービング損傷	2		
足部切創	1	外因性疾患 小 計	487
擦過傷	1	内・外因性疾患 合 計	966

## 3-12 新生児センター

## 業務実績

#### 総入院数と院内/院外出生の割合

	入院数						
総入院数	422						
院内出生	248						
院外出生	174						

### 在胎週数別の入院数

在胎週数	入院数
22-23	7
24-27	10
28-33	26
34-36	73

### 出生体重別の入院数

	入院数
超低出生体重児	10
(1000g 未満)	18
極低出生体重児	16
(1000g-1500g 未満)	16

### 新生児救急車

	出動件数
総出動件数	263
入院数	182
三角搬送	41

### 研究•教育活動

原著

- 1. Kantake M, Ikeda N, Nakaoka H, Ohkawa N, Tanaka T, Miyabayashi K, Shoji H, Shimizu T. IGF1 gene is epigenetically activated in preterm infants with intrauterine growth restriction. Clin Epigenetics 12:108. 2020
- Kantake M. Commentary of expertise on the epigenetic program during intrauterine development. J Data Mining Genomics Proteomics 11:229.2020
- 3. 粟田健太郎, 齋藤暢知, 宮林和紀, 秋本智史, 淡路敦子, 池田奈帆, 大川夏紀, 福永英生, 東海林 宏道, 寒竹正人, 清水俊明. 乳児期に遺伝子診断された遺伝性 QT 延長症候群(2型)の新生児 2 例. 日本新生児成育医学会雑誌 32:91-97.2020

#### 総説

大川夏紀. 【専攻医と指導医のための新生児診療到達目標】酸素療法. 周産期医学 50(増):437-439.
 2020

#### 学会発表

- 1. 寒竹正人,池田奈帆,大川夏紀,宮林和紀,栗田健太郎,加護祐久,斎藤雪香,東海林宏道,清水俊明. 在胎 32 週未満出生児における IGF1 遺伝子 P2 プロモーター領域メチル化の解析. 第 123 回日本小児科学会学術集会,神戸(Web 開催). 2020.8.21-23.
- 2. 荒井美輝,大川夏紀. 早産児の周産期予後. 第43回東部周産期研究会, Web 開催. 2020.11.26.
- 3. 齋藤雪香,大川夏紀,宮崎萌香,栗田健太郎,加護祐久,宮林和紀,東海林宏道,田久保憲行,寒 竹正人,清水俊明. 日齢0より酵素補充療法を開始出来た周産期重症型低ホスファターゼ症の1例. 第123回日本小児科学会学術集会,神戸(Web 開催). 2020.8.21-23.
- 4. 齋藤雪香,大川夏紀,宮崎萌香,栗田健太郎,加護祐久,宮林和紀,東海林宏道,田久保憲行,寒竹正人,清水俊明. 日齢0より酵素補充療法を開始出来た周産期重症型低ホスファターゼ血症の1 例. 第123回日本小児科学会学術集会,神戸(Web 開催). 2020.8.21-23.

## 3-13 がん治療センター

### 業務実績

【がん治療センター運営委員会】

3回/年

【がん診療委員会(キャンサーボード・レジメン審査)】

9回/年

【周辺機関合同研修会・カンファレンス・連絡会等】

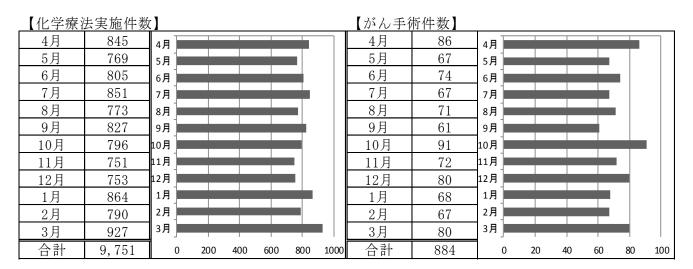
1月17日 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会

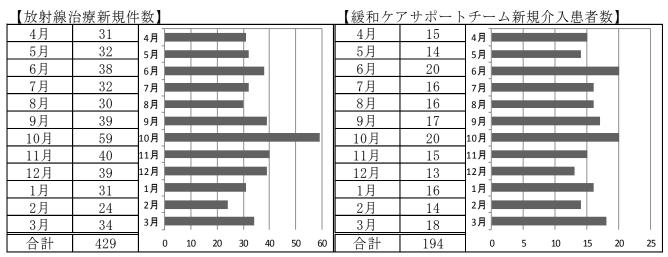
【がん登録件数】(2019.1.1~2019.12.31)

総登録数
1,678

5 大がん内訳

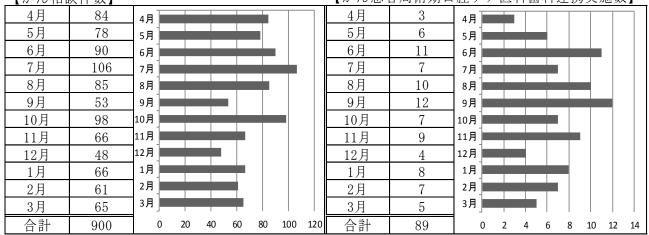
肺がん	147	大腸がん	258	乳がん	106
胃がん	117	肝がん	54		





【がん相談件数】

【がん患者周術期口腔ケア医科歯科連携実施数】



#### 【5大がん地域連携クリティカルパス新規導入件数】

<u>【3人がん</u>	_【3人が心地域圧弱ラッティスルバへ利焼等八件数】							
4月	7	4月	連	携届出施設数				
5月	4	5月	総施設数	126				
6月	9	6月	心旭以数	120				
7月	8	7月	肺がん	93				
8月	4	8月	ДI V - V О	93				
9月	7	9月	胃がん	108				
10月	5	10月	Ħ N³ N	108				
11月	8	11月	大腸がん	104				
12月	5	12月	人版がん	104				
1月	4	1月	肝がん	67				
2月	7	2月	Л N 1 N	07				
3月	5	3月	乳がん	37				
合計	73	0 2 4 6 8 10	北がん	31				

## 3-14 予防医学センター

## (1)人間ドック集計(2020 年度)

(1)-1人間ドック男女別、月集計表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率(%)
日帰り	男	4	0	8	13	11	9	13	5	5	5	5	11	89	62.7%
コ	女	4	0	9	5	3	5	8	5	4	1	2	7	53	37.3%
ス	小計	8	0	17	18	14	14	21	10	9	6	7	18	142	
1 泊 2 日	男	1	0	1	5	4	3	4	1	6	5	3	7	40	72.7%
2 日 コ	女	0	0	0	3	0	2	2	2	2	2	0	2	15	27.3%
ー ス	小計	1	0	1	8	4	5	6	3	8	7	3	9	55	
が	男	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	50.0%
んコー	女	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	50.0%
ス	小計	2	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	8	
P E T	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	1	6	66.7%
C T	女	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	33.3%
コース	小計	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	2	1	9	
脳ド	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
ックコ	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
ス	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

## (1)-2 人間ドック年齢別、男女別集計表

区分	年齢	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	合計	比率(%)
総	男	0	2	14	28	22	17	6	89	41.59%
合 日 帰	女	0	0	10	10	19	14	0	53	24.77%
り コ 	小計	0	2	24	38	41	31	6	142	66.36%
ス	比率(%)	0.00%	0.93%	11.21%	17.76%	19.16%	14.49%	2.80%	66.36%	
総合	男	0	2	3	6	17	11	1	40	18.69%
1 泊 2 日	女	1	0	1	2	11	0	0	15	7.01%
日コ	小計	1	2	4	8	28	11	1	55	25.70%
l ス	比率(%)	0.47%	0.93%	1.87%	3.74%	13.08%	5.14%	0.47%	25.70%	
	男	0	0	2	0	2	0	0	4	1.87%
がんコ	女	0	0	2	0	2	0	0	4	1.87%
コース	小計	0	0	4	0	4	0	0	8	3.74%
	比率(%)	0.00%	0.00%	1.87%	0.00%	1.87%	0.00%	0.00%	3.74%	
P E	男	0	0	0	2	2	2	0	6	2.80%
T       C	女	0	0	0	0	1	2	0	3	1.40%
T ⊐	小計	0	0	0	2	3	4	0	9	4.21%
ス	比率(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.93%	1.40%	1.87%	0.00%	4.21%	
脳	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
ド ッ ク	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
コー	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
ス	比率(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
	男	0	4	19	36	43	30	7	139	65%
合計	女	1	0	13	12	33	16	0	75	35%
計	小計	1	4	32	48	76	46	7	214	100.0%
	比率(%)	0.47%	1.87%	14.95%	22.43%	35.51%	21.50%	3.27%	100.0%	

## (1)-3 年齡別総合判定区分集計

<u></u> 区	分	~35	36~40	41~45	46~50	51~55	56~60	61~65	66~	合計
A:	異常はありません	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	わずかな変化を認めますが 日常生活上心配要りません	0	0	0	0	0	0	1	0	1
C:	経過観察を必要とします	0	5	6	3	1	0	2	0	17
D:	二次検査・精密検査を必要とします	0	1	3	5	5	6	8	4	32
E:	治療を必要とします	0	0	3	3	4	5	7	6	28
F:	治療・経過観察を継続してください	1	0	3	4	12	15	48	53	136
	合 計	1	6	15	15	22	26	66	63	214

## 3-15 GCP センター

## 業務内容

当院では、治験や臨床研究が倫理的にまた安全に実施することができるか審査するために、治験審査 委員会および倫理審査委員会が設けられています。GCP センターではその事務局を兼ねていて、治験の 依頼者である製薬企業、臨床研究の実施者である医師等の相談にも対応しています。

また治験が安全にかつ円滑に実施されるために、治験コーディネーターが配置され実務をサポートしています。

## 業務実績

治 験

#### 新規

治験を行う場合には、治験に参加される方々の安全と人権を守るために、国が定めた「医薬品の臨床 試験の実施の基準(GCP といいます。)」を遵守しなければなりません。この GCP に従って、科学的 および倫理的な観点から、治験の実施や継続について調査・審議するため、順天堂大学医学部附属静岡 病院治験審査委員会を設置しています。本治験審査委員会により内容が審議され、病院長より許可され た治験のみが実施されます。

	件数	予定症例数
治験	5 件	17 症例
製造販売後臨床試験	0 件	0 症例
合計	5 件	17 症例

治験審査委員会 毎月1回(8月休会)、治験の倫理性・安全性・科学的妥当性について審査します。

	安全性 報告	内容変更	継続審査	重篤な 有害事象	逸脱 (除 緊急の 危険回避)	その他の 審議事項	報告事項
治験	69 件	56 件	12 件	2件	8件	14 件	46 件
製造販売後 臨床試験	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
合計	69 件	56 件	12 件	2件	8 件	14 件	46 件

#### 終了

治験審査委員会に、治験が GCP に従って実施され、終了したことが報告されます。

	件数	実施症例数	同意取得数
治験	2件	1 症例	2 症例
製造販売後臨床試験	1件	1 症例	1 症例
合計	3件	2 症例	3 症例

### 監査・モニタリング受け入れ回数

製薬メーカー及びCROのモニターが治験実施施設へ来訪し、治験の進行状況を調査し情報収集する。 治験が治験実施計画書・標準業務手順書(SOP)・GCP 及び適用される規制要件に従って、実施・記録及 び報告されている事を保証する活動。

	4 月	5 月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3 月	合計
治験	0回	0回	6 回	3 回	3 回	8 回	9 回	0回	0 回	7 回	4 回	5 回	45 回
製造販売後 臨床試験	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0 回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
合計	0回	0回	6 回	3 回	3 回	8回	9回	0 回	0回	7 回	4 回	5 回	45 回

#### 製造販売後調査

医薬品が治験後に承認されて販売された後、引き続き医薬品の有効性・安全性について調査します。

新規契約 37 件	使用成績調査・特定使用成績調査	27 件
利观关系 37件	副作用詳細調査	3件

## 倫理審査委員会

病気の原因、病態の理解及び患者さんの生活の質の向上を目的として実施される医学系研究であって、 人を対象とするもの。

8月を除く毎月1回開催されて、倫理性・安全性・科学的妥当性について審査します。

	新規	内容 変更	実施状況	SAE 報告	終了報告	症例 報告	COI	迅速 審査	特定床究告	その 他
倫理審査	56 件	65 件	95 件	2 件	51 件	15 件	20 件	3 件	36 件	14 件

## 3-16 臨床研修センター

#### ■研修内容

#### **<レクチャー>**

今年度は新型コロナコロナウイルス感染防止のため臨床研修医を対象とした、基本的な勉強会である「モーニングレクチャー」の時間を変更し「イブニングレクチャー」として7回、各科長クラスによるレポート提出症例に沿った内容を講義いただく「研修医レクチャー」を13回実施し、救急診療科を研修した研修医から、研修症例をまとめ発表していただく「救急診療科レクチャー」5回実施した。

又、インタラクティブなレクチャーとして、レジデントアワーを実施しており、内容については学会発表を行った研修医数名が、発表した症例を他の研修医に向けレクチャーし、研修医同士でディスカッションを行う。更に学会発表の指導を行った各科医師にご協力いただき、補足等の意見を述べていただくというもので、活発な意見交換がなされた。

### 【イブニングレクチャー】

	日	担当科	担当者		講義名
9月	3	糖尿病内分泌内科	杉本 大介	助教	血糖降下薬の使い分けの仕方
эд	10	血液内科	髙野 弥奈	先任准教授	貧血の鑑別の仕方
10月	1	脳神経内科	星野 泰延	助手	MRIの読み方
10月	8	メンタルクリニック	桐野 衛二	教授	せん妄の治療・対応
2月	4	腎臓内科	池田 有沙	助手	血液浄化療法の種類と特徴
3月	4	呼吸器外科	平山 俊希	助教	呼吸器外科領域の最先端手術 DaVinci surgery
3 Д	11	産婦人科	牧野 祐也	助手	STDについて

### 【研修医レクチャー】

	日	担当科	医師		講義名
6月	15	産婦人科	田中 利隆	准教授	妊娠出産
7月	20	呼吸器内科	原 宗央	准教授	呼吸困難
7.73	27	脳神経外科	渡邉 瑞也	准教授	頭痛
8月	17	小児科	寒竹 正人	准教授	虐待
0Д	24	皮膚・アレルギー科	野口 篤	助教	発疹
9月	28	循環器内科	園田 健人	助手	心停止
10月	19	眼科	土至田 宏	先任准教授	結膜の充血
1075	26	麻酔科	岡崎 敦	教授	ACP
1月	7	血液内科	岩尾 憲明	准教授	輸血の認証方法について
יחו	25	糖尿病·内分泌内科	杉本 大介	助教	糖代謝異常
2月	15	脳神経内科	安藤 真矢	准教授	もの忘れ
2,5	22	救急診療科	柳川 洋一	教授	意識障害•失神
3月	15	メンタルクリニック	桐野 衛二	教授	体重減少・るい痩

### 【救急診療科セミナー】

	日	医師	所属	症例発表名
6月	26	岩本 敬	R1	カラコラミン不応症の敗血性ショックを呈した一例
07	20	鈴木 隆太郎	R1	L4/L5椎体脱臼骨折による引抜き損傷で骨盤内出血を起こし出血性ショックに至った一例
7月	31	田嶋 俊彬	R1	熱中症により肝不全をきたした一例マムシ咬傷Grade II の一例
'7	31	藤井 宗孝	R1	200錠以上の薬剤を服用したOD患者の一例
0.0	00	五島 孝幸	R1	マムシ咬傷~抗毒素投与歴のある症例へ再投与を検討した一例~
8月	28	松本 崇宏	R1	交通事故による脾臓損傷をきたした一例
		岩崎 有馬	R1	経験豊富なダイバーに起きた減圧症の一例
9月	25	阪本 祐史	R1	せん妄とリハビリの関係
		髙田 隆治	R1	門脈ガスを伴う気腫性胃炎の一例
10月	30	立林 優祐	R1	自動車の正面衝突により頚椎脱臼骨折をきたし、椎骨動脈損傷を認めた一例
107	30	宗田 昂己	R1	シートベルト外傷でフレイルチェストをきたした一例

### 【レジデントアワー】

	B	学会発表者	指導医	発表科	内容
	20	野口 正意	柳川 洋一	救急診療科	外傷性クモ膜下出血を合併した外傷性大動脈損傷例
0		西方 芙未	谷津 翔一朗	循環器内科	ST上昇型心筋梗塞を疑ったアニキサスによるkounis症候群の一例
0		吉田 昂平	藤岡 功	血液内科	著明な血小板減少で来院し、抗血小板抗体、Coombs試験、抗好中球抗体が陽性であったITPAINの一例
9	19	西村 周	糸井 陽	整形外科	腰椎椎間板ヘルニアと脊髄終糸症候群を経時的に発症した一例

#### < C P C ・ C R C デスカンファレンス (臨床病理・臨床放射線合同カンファレンス) >

年3回開催した。

実施日	症 例 内 容
10月12日	左下葉肺癌 +両大腿切迫骨折+胸椎腰椎骨折
12月14日	右尿管癌+右水腎症+急性腹症、虚血性腸炎+原発性胆汁性肝硬変
2月8日	両側性の真菌性出血壊死性肺炎+C 型慢性肝炎+溶血性貧血

### <日本救急医学会認定 ICLS コース>

新型コロナの感染防止の観点より8月1日、29日、9月5日の3日間に分散し、臨床研修医1年目全員参加にて実際に即したシミュレーション実習行った。

#### <臨床研修医のための学術集会>

新型コロナウイルスの感染防止の観点より、中止となった。

#### <研修医・指導医のための研修会>

新型コロナウイルスの感染防止の観点より、中止となった。

#### <臨床研修修了証書授与式>

令和 2 年 3 月 17 日 新型コロナウイルスの感染防止の観点より、順天堂大学 4 基幹病院合同で一部 WEB にて行い、修了証書授与式は各附属病院での挙行となった。静岡病院では第一会議室にて研修医 24 名が授与された。

### ■研修管理委員会

新型コロナウイルスの影響にて研修管理委員会は縮小し、令和2年度の研修報告が行われた。

#### ■臨床研修病院合同説明会への参加

令和2年度は新型コロナの影響にてイベント開催が行われなかったため、WEBによる説明会に2回参加した。説明会では、医学生が当院研修医と、気軽に臨床研修について質問、相談できる雰囲気を作り、医学生に参加していただいた。

開	催日	説明会	場所	参加人数
10	0月2日	レジナビ WEB 東日本 Week	院内	26 名
3	月 24 日	レジナビ WEB 東海 Week	院内	19 名

#### ■令和2年度 初期臨床研修医採用について

静岡県東部地域で地域医療の最前線で日々奮闘している順天堂大静岡病院で多くの研修医が研修することには大きな意義がある。しかし、現在の傾向として都会の順天堂の関連病院や母校以外のより優秀な研修医が集まる有名病院で研修する人達が増加してきている。

そうした現状の中で、静岡病院での研修を積極的に希望する研修医がしだいに増加しつつある。

静岡病院の特徴は、静岡県東部地区の基幹病院として、救急車やドクターへリにより連日多くの患者が運ばれ、救急外来、病棟で多くの患者さんの治療を経験することができ、またその際に実践的に実技を習得することができる。科間の垣根が低く、迅速に全身の治療ができることにある。さらに指導医は専任のチューターを中心に、教育に力をいれており、レクチャー、症例発表会なども定期的に行った。その上、静岡病院では、研修医のための宿舎が整備され、部屋は広く、備品も整い、病院に近く、希望者全員が生活しているため、研修医同志の絆が形成し易く、相互に研鑽して有意義な研修生活を送っている。

#### <採用結果>

令和2年度医師臨床研修医は、基本プログラム24名を採用した。(令和2年度採用)

定 員	本 学	他 学	男 子	女 子	合 計	マッチング率
31名	18	4	21	1	22	71.00%

※マッチング決定22名、2次募集にて2名、採用は24名であった。

## 3-17 看護師特定行為研修センター

## ■業務内容

当院では厚生労働省から認可を得て、2020年4月に看護師特定行為研修センターを立ち上げ、特定看護師の育成を開始しました。初年度の取得可能な特定行為は、呼吸器(気道確保に係るもの)関連、呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連、創傷管理関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の5区分11行為となります。

対象となる受講生は当院だけでなく地域の医療機関からも受入を行っておりますが、初年度は院内のみとなりました。本研修センターの開設により、静岡県東部地域の看護師のレベルアップとともにキャリアアップにもつなげていきたいと考えております。

### ■業務実績

受講生数 7名 (院内7名、院外0名)

(上記以外に、県立静岡がんセンターの特定行為研修協力施設として、臨地実習期間のみ 2 名受入ました(当院職員))

修了生 7名(院内7名、院外0名)

看護師特定行為研修管理委員会 年 3 回 (4/13、9/28 (zoom 開催)、3/15 (zoom 開催))

#### ■開講区分

5 区分 11 行為

特定行為区分	特定行為	定員	受講者数
100m 男 (与"芳珠况上发 Z + 办 ) 期 '击	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位		5 人
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	置の調整	5 人	3 人
	侵襲的陽圧換気の設定の変更		
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更		
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の	5 人	5 人
	投与量の調整		
	人工呼吸器からの離脱		
	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊		
創傷管理関連	死組織の除去	3 人	2 人
	創傷に対する陰圧閉鎖療法		
針いかはよっ八七日は	直接動脈穿刺法による採血	5 1	5 I
動脈血液ガス分析関連	橈骨動脈ラインの確保	5 人	5 人
	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	0 1	7.1
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	8人	7人

## ■研修スケジュール

共通科目 4月~9月

区分別科目 10月~3月

開講式 4/13

症例発表会 2/25 (zoom 開催)

修了式 3/15

## ■研修内容

## <共通科目>

研修日	時限	科目	授業 種別	学習内容	学習内容(細)	担当指導者
	1 時限		演習	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(IPW)(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ	(2)チーム医療の事例検討 チームとしての最大を 発揮する 演習	前川
<sup>2 時限</sup> 行為実践		医療安全学/特定 行為実践 実習		2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(IPW)(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ	(5)チーム医療の演習 実習1	前川
4月27日 (月)	3 時限		演習	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(IPW)(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ	(5)チーム医療の演習 演習1【実習の振り返り】	前川
	4 時限		演習	1.薬物動態の理論と演習	薬物動態の演習	勝又
	5 時限	臨床薬理学	演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の 相互作用の理論と演習	精神神経系 演習	野田
	6 時限		演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の 相互作用の理論と演習	心・血管系 演習	水口
	1 時限		演習	2.臨床推論(症候学を含む)の理論と演習	ケーススタディ(1)	岩神 (真)
	2 時限	臨床推論	演習	2.臨床推論(症候学を含む)の理論と演習	ケーススタディ(2)	岩神 (真)
5月14日	3 時限		演習	2.臨床推論(症候学を含む)の理論と演習	ケーススタディ(3)	岩神 (真)
(木)	4 時限		演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の 相互作用の理論と演習	呼吸器系 演習	山口
	5 時限	臨床薬理学	演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の 相互作用の理論と演習	消化器系 演習	杉本
	6 時限		演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の 相互作用の理論と演習	内分泌・代謝系 演習	木下
	1 時限	医療安全学/特定	実習	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(IPW)(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ	(5)チーム医療の演習 実習2	前川
5月25日 (月)	2 時限	行為実践	演習	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(IPW)(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ	(5)チーム医療の演習 演習2【実習の振り返り】	前川
(A)	3 時限		演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の 相互作用の理論と演習	骨·関節系/腎·泌尿器系 演習	小林
	4 時限	臨床薬理学	演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の 相互作用の理論と演習	抗がん薬/抗菌薬 演習	杉本 磯
	5 時限		演習	4.主要薬物の安全管理と処方の理論と演習	主要薬物の安全管理と処方の演習	菅尾
	1 時限 2 時限	臨床推論	演習 実習	3.医療面接の理論と演習・実習 3.医療面接の理論と演習・実習	演習:ロールプレイ(1) 演習:ロールプレイ(2)	中尾中尾
	3 時限	中間 1 上 1 門	実習	3.医療面接の理論と演習・実習	医療面接の実習	中尾
6月5日 (金)	4 時限		演習	3.特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ	(2)特定行為実践に関連する患者への説明と意思 決定支援の理論と演習 演習	前川
(11)	5 時限	医療安全学/特定 行為実践	実習	3.特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ	(2)特定行為実践に関連する患者への説明と意思 決定支援の理論と演習 実習	前川
	6 時限		演習	3.特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ	(2)特定行為実践に関連する患者への説明と意思 決定支援の理論と演習 演習【実習の振り返り】	前川
	1 時限		演習	4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成 し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	(2)手順書の作成演習 ペーパーシミュレーションに よる演習	前川
6月15日	2 時限	医療安全学/特定	実習	4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成 し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	(4)手順書の作成・評価・改良 演習(1) 作成	前川
(月)	3 時限	行為実践	実習	4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成 し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	(4)手順書の作成・評価・改良 演習(2) 評価	前川
	4 時限		実習	4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成 し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	(4)手順書の作成・評価・改良 演習(3) 改良	前川
	1 時限	医療安全学/特定	演習	5.特定行為実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、 検査、	(2)特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検 証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ 演習(1)	前川
6月29日	2 時限	行為実践	演習	5.特定行為実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、 検査、	(2)特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検 証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ 演習(2)	前川
(月)	3 時限 4 時限	臨床病態生理学	演習 演習	4.臨床病態生理学 演習 4.臨床病態生理学 演習	エネルギー 炎症	清水 清水
	5 時限	臨床推論	演習	4.各種臨床検査の理論と演習	各種臨床検査の演習	岩神
	6 時限		演習	5.画像検査の理論と演習	画像検査の演習	大出
	1 時限	疾病・臨床病態概論	演習	主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論	主要疾患の病態と臨床診断・治療の演習1	原
7月17日	2 時限		演習	主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論	主要疾患の病態と臨床診断・治療の演習2	中尾
(金)	4時限	医療安全学/特定	演習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ。	(3)特定行為実践のアウトカム 演習1	前川
	5 時限 6 時限	行為実践 臨床推論	演習演習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ。 6.臨床疫学の理論と演習	(3)特定行為実践のアウトカム 演習2 臨床疫学の演習	前川 大出
7月31日	1 時限		演習	状況に応じた臨床診断・治療	1 教急医療の臨床診断・治療の特性と演習 教急 医療の臨床診断・治療の演習	中尾
(金)	2 時限	疾病・臨床病態概論	演習	状況に応じた臨床診断・治療	2.在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習 .在宅 医療の臨床診断・治療の演習	原

	3 時限		実習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ。	(4)特定行為の実践 実習1	前川
	4 時限	医療安全学/特定	実習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ。	(4)特定行為の実践 実習2	前川
	5 時限	行為実践	演習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ。	(4)特定行為の実践 演習1【実習の振り返り】	前川
	6 時限		演習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ。	(4)特定行為の実践 演習2【実習の振り返り】	前川
9月3日	5 時限	フィジカルアセスメン	演習	5.身体診察基本手技の演習·実習/部位別身体診察手技と 所見の演習·実習	問診	若林
(木)	6 時限	٢	実習	5.身体診察基本手技の演習·実習/部位別身体診察手技と 所見の演習·実習	適切な問診、意識の評価	若林
	4 時限		演習	5.身体診察基本手技の演習·実習/部位別身体診察手技と 所見の演習·実習	全身状態・緊急度の評価	神田
9月4日 (金)	5 時限	フィジカルアセスメン ト	演習	5.身体診察基本手技の演習·実習/部位別身体診察手技と 所見の演習·実習	フィジカルアセスメント	神田
	7 時限		実習	5.身体診察基本手技の演習・実習/部位別身体診察手技と 所見の演習・実習	腹部、胸部のアセスメント	大林
	1 時限	臨床病態生理学	筆記試験	科目修了試験		多田
	2 時限	臨床推論	筆記試験	科目修了試験		多田
0 8 15 0	3 時限	フィジカルアセスメン ト	筆記試験	科目試験		多田
9月15日 (火)	4 時限	臨床薬理学	筆記試験	科目修了試験		多田
(X)	5 時限	疾病•臨床病態概論	筆記試験	科目修了試験		多田
	6 時限	疾病•臨床病態概論	筆記試験	科目修了試験		多田
	7 時限	医療安全学/特定 行為実践	筆記試験	科目修了試験		多田

## <区分別科目>

研修日	時限	領域	科目	授業 種別	学習内容	学習内容(細)	担当指導者
	1 時限		呼吸器(気道確保に 係るもの)関連	筆記試験	(共通)呼吸器(気道確保に係るもの)関 連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田
	2 時限	クリテ ィカル	呼吸器(人工呼吸療 法に係るもの)関連	筆記試験	(共通)呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田
10 月 26 日	3 時限		動脈血液ガス分析関連	筆記試験	(共通)動脈血液ガス分析関連の基礎知 識	基礎知識 修了試験	多田
(月)	4 時限	クリテ ィカル 皮膚排 泄ケア	栄養及び水分管理に 係る薬剤投与関連	筆記試験	(共通)栄養及び水分管理に係る薬剤投 与関連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田
	5 時限	皮膚排 泄ケア	創傷管理関連	筆記試験	(共通)創傷管理関連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田
10月30日	2 時限	クリテ	呼吸器(人工呼吸療	演習	(A)侵襲的陽圧換気の設定の変更	侵襲的陽圧換気の設定の変更(ペーパーペイ シェント)(1)	大出
(金)	3 時限	ィカル	法に係るもの)関連	演習	(A)侵襲的陽圧換気の設定の変更	侵襲的陽圧換気の設定の変更(ペーパーペイ シェント)(2)	大出
	2 時限		動脈血液ガス分析関	演習	(A)直接動脈穿刺法による採血	直接動脈穿刺法による採血 (OSCE 前演習)	大出
	3 時限		連	演習	(B) 橈骨動脈ラインの確保	橈骨動脈ラインの確保 (OSCE 前演習)	大出
11月5日	4 時限	クリテ	呼吸器(人工呼吸療	演習	(B)非侵襲的陽圧換気の設定の変更	非侵襲的陽圧換気の設定の変更(ペーパーペイン・ント)(1)	原
(木)	5 時限	ィカル	法に係るもの)関連	演習	(B)非侵襲的陽圧換気の設定の変更	非侵襲的陽圧換気の設定の変更(ペーパーペイン・ント)(2)	原
	6 時限		呼吸器(気道確保に 係るもの)関連	演習	(A)経口用気管チューブ又は経鼻用気管 チューブの位置の調整	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブ の位置の調整(OSCE 前演習)	岡崎
11月10日 (火)	5 時限 6 時限	皮膚排泄ケア	創傷管理関連	演習	(A)褥瘡又は慢性創傷の治療における 血流のない壊死組織の除去	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない 壊死組織の除去(OSCE 前演習)	長谷川 千田
11月16日	2 時限	クリテ ィカル	栄養及び水分管理に	演習	(A)持続点滴中の高カロリー輸液の投与 量の調整	高カロリー輸液の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む)	前川
(月)	3 時限	皮膚排泄ケア	係る薬剤投与関連	演習	(B)脱水症状に対する輸液による補正	脱水症状に対する輸液による補正の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)	前川
11月17日 (火)	4 時限	皮膚排泄ケア	創傷管理関連	演習	(B)創傷に対する陰圧閉鎖療法	創傷に対する陰圧閉鎖療法	千田
11月18日 (水)	4 時限 5 時限 6 時限	クリテ ィカル	呼吸器(気道確保に 係るもの)関連	OSCE 実技試験 約 40 分/人	(A)経口用気管チューブ又は経鼻用気管 チューブの位置の調整	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブ の位置の調整(OSCE)	岡崎、尾前、 志賀(外部)、 多田
11 月 24 日 (火)	5 時限 6 時限	皮膚排 泄ケア	創傷管理関連	OSCE 実技試験 約 40 分/人	(A)褥瘡又は慢性創傷の治療における 血流のない壊死組織の除去	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない 壊死組織の除去(OSCE)	長谷川、千田、 中川(外部)、 多田
	3 時限			演習	(C)人工呼吸管理がなされている者に対 する鎮静薬の投与量の調整	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静 薬の投与量の調整(ペーパーペイシェント)(1)	岡崎
11月26日	4 時限	クリテ	呼吸器(人工呼吸療	演習	(C)人工呼吸管理がなされている者に対 する鎮静薬の投与量の調整	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静 薬の投与量の調整(ペーパーペイシェント)(2)	岡崎
(木)	5 時限	ィカル	法に係るもの)関連	演習	(D)人工呼吸器からの離脱	人工呼吸器からの離脱(ペーパーペイシェント) (1)	大出
	6 時限			演習	(D)人工呼吸器からの離脱	人工呼吸器からの離脱(ペーパーペイシェント) (2)	大出
12月3日	2 時限 3 時限 4 時限	クリテ	動脈血液ガス分析関	OSCE 実技 試験約 40 分 /人	(A)直接動脈穿刺法による採血	直接動脈穿刺法による採血 (OSCE)	大出、岡崎、神 谷(外部)、多 田
(木)	5 時限 6 時限 7 時限	ィカル	連	OSCE 実技試験 約 30 分/人	(B) 橈骨動脈ラインの確保	橈骨動脈ラインの確保 (OSCE)	大出、岡崎、 神谷(外部)、 多田
	随時	クリテ ィカル	呼吸器(気道確保に 係るもの)関連	実習	(A)経口用気管チューブ又は経鼻用気管 チューブの位置の調整	見学及び 5 症例	岡崎 尾前 多田
2020年11月 30日(月)	随時			実習	(A)侵襲的陽圧換気の設定の変更	見学及び 5 症例	大出、岡崎 原、高橋 多田
~ 2021 年 2 月 5 日(金)	随時	クリテ ィカル	呼吸器(人工呼吸療 法に係るもの)関連	実習	(B)非侵襲的陽圧換気の設定の変更	見学及び 5 症例	大出、岡崎 原、高橋 多田
	随時			実習	(C)人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	見学及び5症例	大出、岡崎 原、高橋 多田
	随時			実習	(D)人工呼吸器からの離脱	見学及び 5 症例	大出、岡崎

Î	I	İ	Ì		]	1	原、高橋					
							多田					
	随時	皮膚排		実習	(A) 褥瘡又は慢性創傷の治療における 血流のない壊死組織の除去	見学及び 5 症例	長谷川 千田 多田					
	随時	泄ケア	創傷管理関連	実習	(B)創傷に対する陰圧閉鎖療法	見学及び 5 症例	長谷川 神田、千田 多田					
2020年12月7日(月)	随時	クリテ	動脈血液ガス分析関	実習	(A)直接動脈穿刺法による採血	見学及び 5 症例	大出 岡崎 多田					
2021年2月 5日(金)	随時	ィカル	連	実習	(B) 橈骨動脈ラインの確保	見学及び5症例	大出 岡崎 多田					
2020年11月 30日(月)	随時	クリテ ィカル	栄養及び水分管理に	実習	(A)持続点滴中の高カロリー輸液の投与 量の調整	見学及び 5 症例	前川 池田 杉本					
2021年2月5日(金)	随時	皮膚排 泄ケア	係る薬剤投与関連	実習	(B)脱水症状に対する輸液による補正	見学及び5症例	前川 池田 杉本					
	1 時限		呼吸器(気道確保に 係るもの)関連	筆記試験	(A)経口用気管チューブ又は経鼻用気管 チューブの位置の調整	科目修了試験	多田					
				筆記試験	(A) 侵襲的陽圧換気の設定の変更	科目修了試験	多田					
			呼吸器(人工呼吸療	筆記試験	(B) 非侵襲的陽圧換気の設定の変更	科目修了試験	多田					
	2 時限	クリテ ィカル						法に係るもの)関連	筆記試験	(C)人工呼吸管理がなされている者に対 する鎮静薬の投与量の調整	科目修了試験	多田
				筆記試験	(D)人工呼吸器からの離脱	科目修了試験	多田					
2021年2月	3 時限		動脈血液ガス分析関	筆記試験	(A)直接動脈穿刺法による採血	科目修了試験	多田					
16 日(火)	3 m手限		連	筆記試験	(B) 橈骨動脈ラインの確保	科目修了試験	多田					
	4 時限	クリテ ィカル	2±11	栄養及び水分管理に	筆記試験	(A)持続点滴中の高カロリー輸液の投与 量の調整	科目修了試験	多田				
	中时限	皮膚排 泄ケア		筆記試験	(B)脱水症状に対する輸液による補正	科目修了試験	多田					
	5 時限	皮膚排泄ケア	雪排 剑传等理题语	筆記試験	(A)褥瘡又は慢性創傷の治療における 血流のない壊死組織の除去	科目修了試験	多田					
		泄ソア		筆記試験	(B)創傷に対する陰圧閉鎖療法	科目修了試験	多田					

### ■広報活動

第28回順天堂大学保健看護学部オンライン公開講座 (WEB 開催)

外科先任准教授 前川 博 「看護師特定行為研修 指導者の立場から」

診療看護師 多田 真也 「看護師特定行為研修とは」

令和 2 年 10 月 3 日 (土) 13:30  $\sim$  15:00

順天堂大学保健看護学部 (三島キャンパス)

### ■次年度受講生募集活動

願書受付 : 2020年10月1日(木) ~ 2020年10月15日(木)

筆記試験 : 2020年12月7日(月)面接 : 2020年12月7日(月)

### ■その他の活動

2020 年度特定行為研修シンポジウム (WEB 開催)

参加:看護教育課 矢田 みどり、診療看護師 多田 真也

令和 3 年 1 月 22 日 (金) 14:30 ~ 16:30

共催:日本看護協会、看護師の特定行為に係る指定研修機関連絡会

## 3-18(1). 地域医療連携室

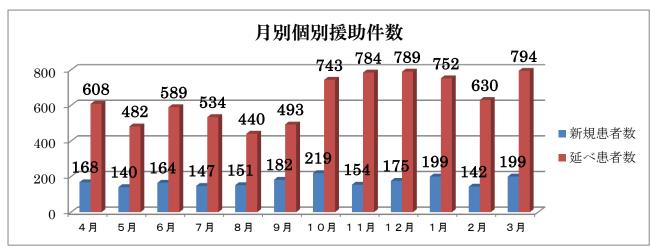
## 地域別紹介患者数

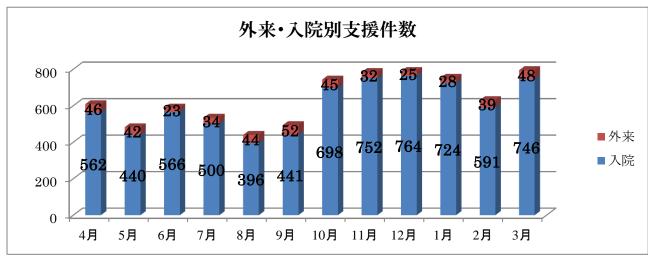
	2 次保健医療圏	市町村	2018年度	2019年度	2020年度
		下田市	618	624	598
		賀茂郡東伊豆町	181	215	193
		賀茂郡河津町	504	465	362
	賀茂	賀茂郡南伊豆町	28	42	44
		賀茂郡松崎町	39	40	33
		賀茂郡西伊豆町	516	453	405
		小計	1,886	1,839	1,635
		熱海市	499	562	538
	熱海伊東	伊東市	2,053	2,024	1,946
		小計	2,552	2,586	2,484
		沼津市	2,403	2,553	2,085
	駿東田方	三島市	2,557	2,824	2,445
静岡県		御殿場市	880	997	866
- 財門外		裾野市	757	761	698
		伊豆市	2,102	2,195	1,792
		伊豆の国市	3,111	3,104	2,794
		田方郡函南町	1,756	1,991	1,652
		駿東郡清水町	706	703	643
		駿東郡長泉町	723	746	663
		駿東郡小山町	46	39	33
		小計	15,041	15,913	13,671
		富士宮市	133	96	93
	富士	富士市	316	320	297
		小計	449	416	390
	その他		376	386	349
		県内合計	20,304	21,140	18,529
		県外	901	955	749
		総計	21,205	22,095	19,278

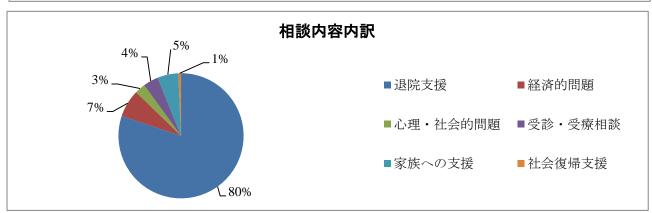
## 3-18(2). 医療福祉相談室 (社会福祉士)

社会福祉士(ソーシャルワーカー)6名にて、入院・外来患者家族・地域に対し相談や調整業務を行っている。入院においては退院支援看護師と社会福祉士で病棟別に担当し対応している。主な業務としては、転院・退院支援(地域連携パス含む)・外来相談、各種福祉制度・社会保障制度の紹介、経済的問題の支援である。心理的・社会的背景や傷病によって生じる生活上の課題を把握し、社会資源を活用しながら個別的に支援を行っている。

## 2020年度業務実績



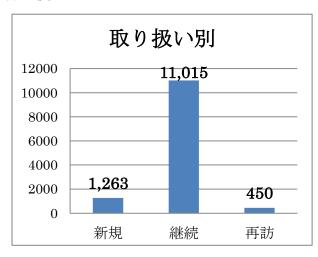




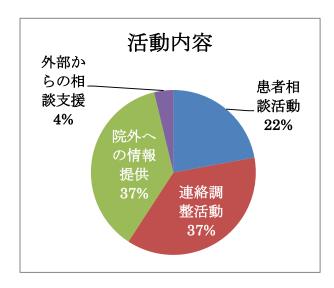
## 3-18(3). 入退院支援室(入退院支援看護師)

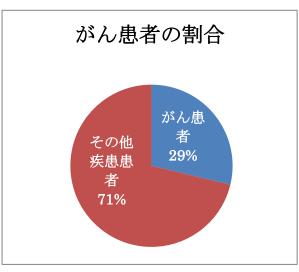
2020年度は、1月に行われた適時調査の講評より、入退院支援看護師は独立した部門として整備することが望ましいとの指摘があり、7月から医療福祉相談室(社会福祉士)と入退院支援室(入退院支援看護師)が区分された。

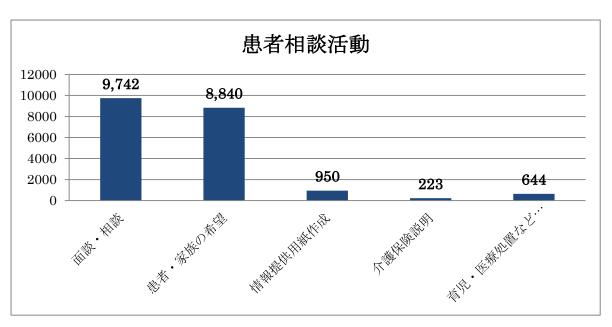
2020年は COVID-19 感染症の影響により、地域連携機関との対面での面談や、家族の面会が制限され 退院調整に苦慮した 1 年であった。地域連携機関との面談制限により介護支援等連携指導件数が 2019年度の 328件から 2020年度 99件と 7割の減少となった。そのため 12 月からビデオ通話(Zoom)を活用したカンファレンスを中心に開催している。2020年1月から「医療機関(外来)と地域の情報連携シート」を活用した情報共有が 110件であったが、コロナ禍となり広域的な活用拡大に向け積極的に取り組んでいる。入院前支援(入院時支援加算 2)については、6 月から全診療科の入院予定患者を対象に実施し、2019年度の 314件から、2020年度 1,080件と 7割の増加となった。2019年 10 月から開始した退院後訪問看護指導は、2020年 10 月までに 22 名に対し 41 回の訪問指導を実施した。(コロナ禍のため 11 月以降中止中)

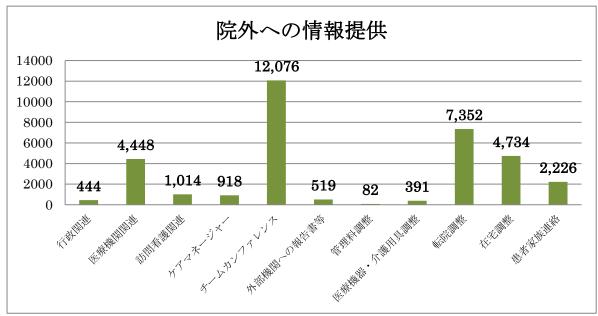


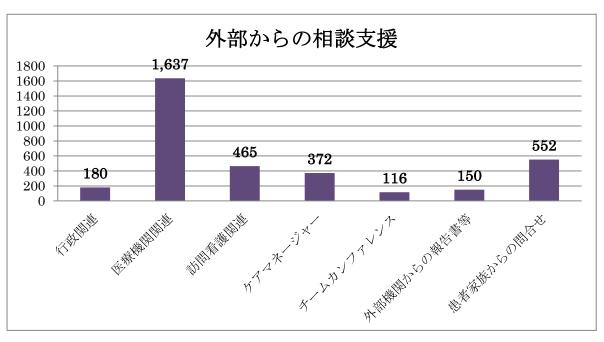






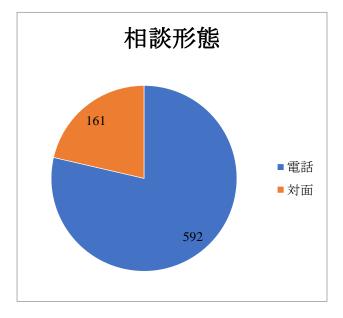


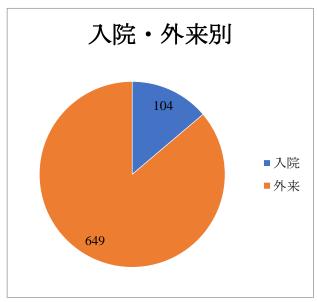




## 3-18(4). 患者•看護相談室







## 3-18(5). 受診相談・総合案内



	内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	受診相談	235	235	319	274	314	303	345	214	272	275	229	290
受	電話相談	127	91	141	127	151	132	155	85	124	118	116	124
診	院内案内	327	235	335	396	342	311	336	222	352	337	271	348
相	面会者対応	264	197	253	259	211	202	166	96	166	148	128	124
談	受付	234	196	284	333	324	322	312	160	262	220	194	258
	その他の相談等	429	330	487	511	533	567	565	356	441	435	394	449
総	院内案内	858	807	1073	978	1001	899	1079	801	894	923	886	1058
合	面会者対応	306	231	319	266	237	232	266	216	245	282	202	331
案	受付	579	654	861	801	789	673	824	500	594	654	612	675
内	その他の相談等	24	16	34	37	16	21	15	21	22	17	12	23

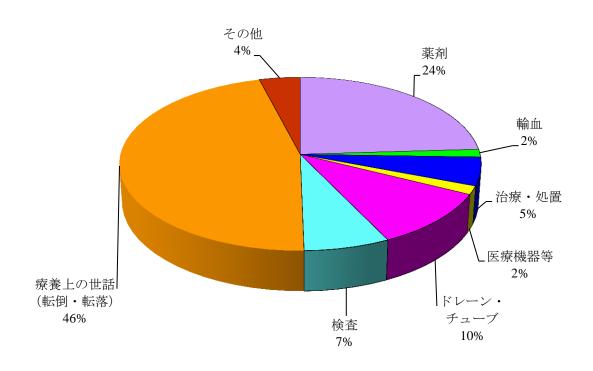
## 3-19. 医療安全管理室

### 主な活動と実績

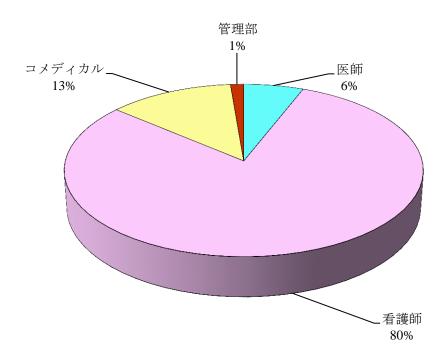
医療安全管理室では、安全で質の高い医療を提供するため医師2名、看護師1名、薬剤師1名、臨床工学技士1名、事務2名を配置し、①医療の安全を確保するための改善方策に関すること ②医療安全管理のための職員への企画・運営および院内広報等の企画・実施 ③医療事故発生時の対応に関すること ④医療安全・危機管理委員会の円滑な運営に関すること ⑤医療安全管理に関する院内の連絡調整 ⑥医療安全に係るカンファレンスを週1回程度開催 ⑦その他医療安全管理に関する業務に取り組んでいる。2020年度の主な実績は新規医療技術の導入について、「患者への侵襲的処置の新規導入にかかる申請手続き取扱要領」を策定して、それまで示されていなかった倫理審査委員会への申請手順などを具体的に明文化し10月より運用を開始した。また、9月に発生した不法侵入事例を受け、当院のセキュリティ体制の見直しを行い、院内への出入りについて体制を強化した。このほか、医療安全危機管理委員会を毎月(10回)、医療安全研修会を7回開催した。なお、コロナ禍のため委員会はWEB方式、研修会はDVD 視聴による研修方式として、感染予防等の安全対策を行ったうえでの開催とした。医療安全に関する院内広報誌(リスクマネージメントニュースレター)を毎月発行し医療場面での注意喚起を行った。苦情・クレーム対応では公平中立な立場で対応し、適正な接遇への指導及び信頼回復に努めた。

#### 2020年度 インシデント・アクシデントレポート報告割合

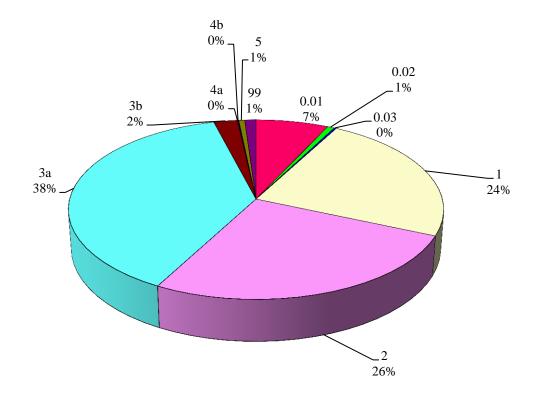
#### 1. 内容分類



## 2. 所属部門



## 3. 影響レベル



## 2020年度 医療安全対策研修会

	, , , , ,		
日時	研修会内容	講師等	対象
5月26日	「採血時の検体取り扱いの注意点	検査室	全職員
	について」	黒木 龍佑	
6月11日	「眠剤と転倒・せん妄の関係性に	メンタルクリニック	全職員
	ついて」	桐野 衛二	
6月29日	「名前からわかるお薬の特性	薬剤科	全職員
	~粉砕情報をふまえて~」	薬剤師 小林 淳司	
7月30日	「医療ガス安全管理について」	関東エアウォーター (株)	全職員
		吉田 佑	
9月29日	「感染症スクリーニングの落と	消化器内科	全職員
	し穴」	玄田 拓哉	
1月5日	「あるある情報セキュリティリ	講師: NEC フィールディング (株)	全職員
	スク」	熊田 治昭	
1月23日	「輸液ポンプ・シリンジポンプの	講師:テルモ(株)静岡支店	全職員
	トラブル事例と対処」	伊藤 正明	

## 3-20 感染対策室

感染対策室では以下のような活動を行っている。

- 1. 患者に対しては安全な医療環境を提供するために、診療上問題となる病原微生物が発生・伝播・拡散することを防ぐ活動。
  - ▶ 病原微生物の感染経路に応じて感染拡大を防止する対策を行う。
  - ▶ 手指衛生モニタリングを行い、アルコールゲルなどの使用状況に応じて各部署に指導を行う。
  - ➤ 耐性菌の発生率を減少させるために、広域抗菌薬や抗MRSA薬の使用に際して適正な使用状況にあるか、週1回程度のラウンドを行う。
  - ▶ 年間計画に沿って院内のいずれかの部署の環境ラウンドを週 1 回程度行い、病原微生物が繁殖する温床がないかチェックを行う。ハイリスク病棟は1回/週、他の病棟も1回/月、ハイリスク部署は1回/2ヶ月の頻度で行う。
  - ➤ 細菌検査室が耐性菌を中心とした報告書を週 1 回感染対策室に提出し、各病棟で問題となる病原 微生物のアウトブレイクがないかチェックを行う。もし、アウトブレイクと判断した場合は、当該部署に 指導を行う。
- 2. 職員を感染曝露から防ぐための活動。
  - ▶ 針刺し、切創、粘膜曝露予防策及び発生時の対応方法を職員に指導している。
  - ➤ 安全衛生管理室と連携して職業感染予防のためのワクチン接種を推進している。
- 院内感染対策の広報活動。
  - ▶ 院内感染対策を職員に浸透させるための定期的な研修会を開催している。
  - ▶ 不定期でニュースレターを発行している。
- 4. 近隣病院・施設との連携。
  - ▶ 連携をしている近隣病院との合同カンファレンスを通して、各施設が抱えている問題点を提示し、それに対する対策に関して意見交換を行う。
  - ▶ 連携病院と相互に院内ラウンドを行い、第三者の目から改善点を指摘しあう。
  - ▶ 静岡県が設置している新型コロナウイルス感染症対策チーム(ふじのくに感染症専門医協働チーム) へ応援要員として参加し、施設等の感染対策に対する指導を実践する。
- 5. COVID-19 感染症への対応

月	日(曜日)					
4 月	1日(水)	新入職員オリエンテーション				
	2日(木)	1年目臨床研修医オリエンテーション				
	22 日(水)23 日(木)	研修医防護具着脱研修				
	24 日(金)	感染対策委員会				
5 月	25 日(月)	東部地区 感染管理対策担当看護師連絡会議				

1		
6月	上旬	COVID-19 病棟配属予定者の防護具着脱研修・N95 マスクフィットテスト
	下旬	研修医 N95 マスクのフィットテスト
	19日(金)	感染対策委員会
7月	31 日(金)	感染対策委員会
8月	8日(土)	私立医科大学病院感染対策協議会(第11回)
	24 日(金)	感染対策委員会
9月	1日(金)	医師事務研修会
	18日(金)	感染対策加算 1・2合同カンファレンス、感染対策委員会
	28日(月)	東部地区 感染管理対策担当看護師連絡会議
10 月	23 日(金)	感染対策委員会
	26 日(月)	東部地区感染対策全体会
11月	13 日(金)	感染対策委員会
12 月	18日(金)	感染対策委員会
	19日(土)	私立医科大学病院感染対策協議会 看護部会
1月	8日(金)	感染対策加算 1・2合同カンファレンス
	15 日(金)	感染対策委員会
2月	19日(金)	感染対策委員会
3 月	3日(水)	順天堂 6 病院感染対策チーム連絡会(J-ICT)
	19日(金)	感染防止対策加算 1・2 合同カンファレンス、感染対策委員会
年間		感染対策研修会・抗菌薬研修会を DVD 等で実施
		地域連携加算相互ラウンドを紙面により実施

### 次年度目標(2020年度の総括と次年度の目標)

#### 1. 2020年度の総括

- ▶ アウトブレイクマニュアルの改訂により、VRE アウトブレイク 1 件、MRSA アウトブレイク 2 件の発生を認め 対応した。また、COVID-19 感染症クラスター2 回の対応を実施した。
- ➤ 抗菌薬ラウンド及び抗菌薬適正使用支援チームの活動を通し、広域抗菌薬や抗 MRSA 薬の使用適正化を進めた。
- ▶ 手指衛生は看護部と連携し、アルコール使用量は 14.98 回/患者/日程度と改善傾向にある。手指衛生実施率・遵守率は医師・看護職員・コメディカルとも変化は見られない。
- ▶ 環境衛生についてはICTラウンドの実施、看護部リンクナースと協働し衛生的な病院環境の提供に努め、 再ラウンド時に改善を確認している。
- ▶ CLA-BSI/CA-UTI サーベイランスでは、ほとんどの部署で感染率が横ばい状態。

#### 2. 2021年度の目標

- ▶ 抗菌薬ラウンドと血液培養陽性症例のラウンドを行い、抗菌薬の適正使用の更なる推進を図る。
- ➤ CLA-BSI/CA-UTI 感染率は 2019 年度データを下回る。
- ▶ 改訂したアウトブレイクマニュアルを活用し、各部署が耐性菌等の対策遵守を自主的に実施できるよう活動を促し、実践能力の向上を目指すための支援を行う。また、耐性菌のアウトブレイクや COVID-19 感染症を始めとした新興感染症等のクラスターの発生を未然に防ぐための広報活動を実施する。

## 3-21 安全衛生管理室

2020年度 安全衛生管理室行事

年 月	日	曜日	行 事				
2020年	1	水	新入職員オリエンテーション				
4月	3	金	雇い入れ時健康診断				
	27~29	月~水	B型肝炎ワクチン接種				
5 月	25~27	月~水	B 型肝炎ワクチン接種				
	中旬~下旬	月~金	新入職員面談				
6月	上旬	月~金	新入職員面談				
	1~5	月~金	胃検診(胃透視検査)				
	30~	火~	春季健康診断、ストレスチェック				
7月	~10	~金	春季健康診断、ストレスチェック				
	22	水~金	安全衛生委員会				
	27~29	月~水	麻疹・風疹ワクチン接種				
8月	24~26	月~水	麻疹・風疹ワクチン接種				
	26	水	安全衛生委員会				
9月	23	水	安全衛生委員会				
	28~30	月~水	B 型肝炎ワクチン接種				
10 月							
11 月	11	水	校医会•法人安全衛生委員会				
	16~18	月~水	インフルエンザ予防接種				
	30~	月~	秋季健康診断				
12 月	~10	~金	秋季健康診断				
	21~23	月~水	ムンプス・水痘ワクチン接種				
	23	水	安全衛生委員会				
2021年	25~27	月~水	ムンプス・水痘ワクチン接種				
1月	27	水	安全衛生委員会				
2 月	24	水	安全衛生委員会				
3 月	24	水	安全衛生委員会				

【月毎定例行事】 飲食物取扱従事者検便《毎月第2火曜日》 ※6月~9月は、第2·4火曜日(月2回)実施 託児所業務従事者検便《毎月第2火曜日》

【随 時】 雇い入れ時健康診断

## 業務実績

定期健康診断受診率

		春 季			秋 季					
実施期日	2020年6月30日	~7月10日		2020年11月30日~12月10日						
実施項目	身体測定、血液力検査、聴力核 胃透視検査(40		查、胸部X線、		液検査、尿検査 力検査、内科診察					
	全 体	1,306/1,306	(100.0%)	全 体	812/812	(100.0%)				
	医 師	270/270	(100.0%)	医 師	218/218	(100.0%)				
受診率	コメディカル	192/192	(100.0%)	コメディカル	61/61	(100.0%)				
	看護部	723/723	(100.0%)	看護部	530/530	(100.0%)				
	事務部	121/121	(100.0%)	事務部	3/3	(100.0%)				

# 4. 統計



## 4-1 病床利用率

		_	/	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度
病	床	ŧ	数	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577
病	床利	川 用	率	91.4%	88.8%	94.8%	95.1%	95.4%	92.5%	94.8%	91.0%	90.7%	88.9%	89.5%	90.0%	98.8%

## 4-2 在院日数

(単位:日)

												(単	位:日)
診療科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度
内 科	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	_	-
膠 原 病 内 科 ・ リ ウ マ チ 科	12.3	13.7	12.8	10.2	10.8	10.8	13.9	31.5	13.3	12.1	11.5	7.3	12.4
血 液 内 科	23.6	29.1	28.2	25.4	25.1	21.8	24.6	28.6	20.9	15.7	25.1	19.3	23.6
消化器内科	10.3	11.7	8.8	10.4	10.6	12.1	9.7	9.3	9.9	9.9	9.1	10.0	10.1
呼吸器内科	13.5	21.1	19.3	18.5	19.8	14.4	18.4	14.2	17.5	18.8	20.9	17.9	17.6
腎 臓 内 科	17.8	17.9	15.4	16.7	15.4	18.2	20.7	25.3	14.0	24.6	23.8	13.6	18.0
糖 尿 病 ・ 内 分 泌 内 科	11.5	14.3	10.0	13.0	12.5	13.5	17.3	15.2	13.6	16.0	13.8	10.1	13.1
循 環 器 内 科	8.5	10.0	8.2	8.0	8.1	8.8	8.4	9.8	9.0	10.5	8.0	8.6	8.8
小 児 科	8.2	6.3	7.1	7.0	5.8	7.9	5.8	7.3	5.7	4.8	5.3	5.2	6.3
新生児科	28.6	34.7	23.8	20.4	23.1	19.5	17.9	17.4	14.4	15.4	18.1	18.7	20.3
外科	9.6	10.9	10.6	9.0	10.9	10.8	9.9	12.2	10.4	9.5	9.5	10.5	10.3
脳神経外科	19.6	21.1	18.2	18.5	18.6	16.9	18.3	23.8	17.0	21.4	20.0	17.9	19.2
整 形 外 科	18.9	18.9	16.6	16.8	15.8	18.6	19.2	22.0	15.7	17.1	16.7	16.3	17.5
脳 神 経 内 科	19.8	18.4	13.3	17.1	18.9	16.1	21.5	28.4	22.6	19.7	15.4	14.6	18.4
心臟血管外科	21.2	21.3	18.6	21.1	17.3	17.6	14.6	31.1	16.8	23.9	40.4	17.7	20.9
呼 吸 器 外 科	15.0	13.5	12.5	11.5	10.3	13.3	9.4	9.7	10.4	12.9	13.3	10.3	11.7
形 成 外 科	19.1	25.0	14.8	15.7	12.7	24.0	17.3	37.1	14.4	16.5	15.8	29.2	18.7
眼 科	5.9	7.4	6.4	7.6	6.2	6.6	6.3	6.5	7.2	6.6	7.0	6.5	6.6
耳 鼻 咽 喉 科	7.6	10.1	9.1	8.0	8.3	13.1	13.1	13.0	12.3	10.4	12.1	11.3	10.6
麻 酔 科 ・ ペインクリニック	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放 射 線 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メ ン タ ル ク リ ニ ッ ク 皮 膚		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮 膚 ・アレルギー科	9.8	13.1	7.4	8.6	10.3	7.5	9.2	8.8	7.3	12.3	11.0	7.8	9.1
泌 尿 器 科	7.9	9.2	7.1	10.1	9.5	8.1	8.3	7.7	8.1	8.4	9.8	10.6	8.7
産 婦 人 科	7.6	9.1	7.8	8.3	8.0	7.9	7.4	7.2	7.1	6.6	7.5	7.5	7.7
救 急 診 療 科		9.2	9.0	9.7	7.8	10.2	8.7	9.6	7.2	10.0	11.1	8.1	9.0
リ ハ ビ リ テーション科		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計		13.2	11.2	11.5	11.2	11.8	11.6	13.0	11.1	11.9	11.7	11.3	11.7
\\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\					4.7	1 = n				4.1			

## 4-3 診療科別延患者数(外来)

(単位:人)

診療科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月 平均	当年度 計	前年度計	前年比
内科	_	_	_	-	-	-	-	-	_	-	-	-		— HI	— HI	_
膠 原 病 内 科 ・ リ ウ マ チ 科	1,383	1,146	1,322	1,471	1,324	1,338	1,511	1,172	1,280	1,217	1,153	1,469	1,316	15,786	16,400	96.3%
血液内科	1,234	1,113	1,177	1,291	1,296	1,236	1,346	1,135	1,242	1,157	1,025	1,308	1,213	14,560	14,597	99.7%
消 化 器 内 科	1,722	1,378	1,885	2,073	1,920	2,162	2,164	1,586	1,870	1,655	1,605	1,916	1,828	21,936	23,517	93.3%
呼 吸 器 内 科	1,593	1,331	1,582	1,843	1,644	1,836	1,861	1,569	1,587	1,664	1,453	1,965	1,661	19,928	22,410	88.9%
腎 臓 内 科	1,056	944	977	1,114	1,066	1,081	1,071	953	993	921	882	1,047	1,009	12,105	13,662	88.6%
糖尿病・内分泌内科	2,261	1,676	1,758	2,145	2,175	2,246	2,315	1,991	1,945	1,767	1,782	2,159	2,018	24,220	25,978	93.2%
循 環 器 科	4,039	2,992	3,556	3,776	3,917	3,942	4,232	3,402	3,528	3,138	2,954	3,777	3,604	43,253	47,641	90.8%
小 児 科	942	923	1,142	1,260	1,323	1,236	1,352	948	1,278	1,244	1,158	1,381	1,182	14,187	16,652	85.2%
新 生 児 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
外科	1,985	1,678	2,184	2,362	2,167	2,391	2,380	1,864	1,989	1,903	1,779	2,170	2,071	24,852	28,231	88.0%
脳 神 経 外 科	1,959	1,570	1,665	2,039	2,034	2,135	2,157	1,710	1,699	1,777	1,717	2,162	1,885	22,624	25,653	88.2%
整 形 外 科	2,391	2,016	2,693	2,817	2,804	2,943	2,862	1,847	2,375	2,415	2,383	2,930	2,540	30,476	34,206	89.1%
脳 神 経 内 科	1,976	1,651	1,954	2,074	1,950	2,058	2,224	1,618	1,977	1,823	1,667	2,060	1,919	23,032	24,397	94.4%
心臟血管外科	414	277	359	394	345	379	412	323	345	323	294	411	356	4,276	4,888	87.5%
呼 吸 器 外 科	225	255	245	274	250	211	292	214	252	229	206	240	241	2,893	3,084	93.8%
形 成 外 科	345	274	388	374	420	365	368	279	316	324	303	387	345	4,143	4,810	86.1%
眼科	2,594	2,304	2,884	2,805	2,713	2,731	2,871	2,105	2,690	2,578	2,386	3,141	2,650	31,802	34,644	91.8%
耳 鼻 咽 喉 科	1,060	869	1,210	1,242	1,276	1,224	1,369	921	1,173	1,053	1,100	1,428	1,160	13,925	16,831	82.7%
麻 酔 科	148	126	145	176	172	183	177	144	154	173	152	180	161	1,930	2,023	95.4%
放射線科	351	196	209	220	236	307	360	355	250	172	168	201	252	3,025	3,647	82.9%
メンタルクリニック	2,098	1,896	2,133	2,407	2,289	2,388	2,494	1,946	2,248	2,158	2,069	2,529	2,221	26,655	27,524	96.8%
皮膚・アレルギー科	2,126	2,019	2,379	2,555	2,527	2,491	2,581	1,815	2,232	2,050	2,049	2,454	2,273	27,278	29,414	92.7%
泌 尿 器 科	1,650	1,483	1,574	1,816	1,731	1,742	1,876	1,558	1,640	1,717	1,498	1,823	1,676	20,108	22,358	89.9%
産 婦 人 科	2,352	2,205	2,679	2,672	2,425	2,558	2,611	2,047	2,447	2,363	2,106	2,750	2,435	29,215	30,597	95.5%
救 急 診 療 科	76	76	73	67	97	92	105	82	67	75	53	93	80	956	1,308	73.1%
リハビリテーション 科	27	24	30	38	36	57	57	28	32	28	36	63	38	456	431	105.8%
合 計	36,007	30,422	36,203	39,305	38,137	39,332	41,048	31,612	35,609	33,924	31,978	40,044	36,135	433,621	465,796	93.1%

## 4-4 診療科別延患者数(入院)

(単位:人)

_															(	ユ・ノヘ)
診療科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月 平均	当年度計	前年度 計	前年比
<ul><li>膠 原 病 内 和</li><li>・ リ ウ マ チ 和</li></ul>		228	214	158	196	141	193	212	214	191	181	145	190	2,281	2,276	100.2%
血液内和		634	599	595	601	544	593	578	487	447	509	497	552	6,624	5,856	113.1%
消化器内和	930	790	761	972	1,009	1,083	1,052	944	911	925	816	1,012	934	11,205	11,383	98.4%
呼 吸 器 内 和	571	606	756	775	707	661	670	759	767	910	662	696	712	8,540	8,734	97.8%
腎 臓 内 和	397	322	401	424	410	384	454	434	411	423	213	226	375	4,499	4,923	91.4%
糖尿病・内分泌内和	149	182	175	189	163	209	210	178	183	93	147	144	169	2,022	2,125	95.2%
循 環 器 和	1,288	1,306	1,333	1,415	1,335	1,359	1,475	1,433	1,430	1,578	1,166	1,336	1,371	16,454	18,145	90.7%
小 児 和	327	275	303	342	335	358	315	154	258	208	262	266	284	3,403	4,484	75.9%
新 生 児 和	934	856	870	772	794	753	649	791	767	521	570	805	757	9,082	10,390	87.4%
外	1,679	1,997	2,066	1,849	2,227	1,948	2,021	1,904	1,953	1,601	1,513	1,745	1,875	22,503	23,880	94.2%
脳 神 経 外 和	1,696	1,731	1,687	1,740	1,486	1,694	1,784	1,818	1,809	2,090	1,887	1,965	1,782	21,387	21,248	100.7%
整形外和	1,768	1,543	1,562	1,760	1,795	1,596	1,992	1,452	1,809	1,724	1,511	1,818	1,694	20,330	23,623	86.1%
脳 神 経 内 和	637	659	653	765	728	691	777	839	711	711	518	601	691	8,290	9,272	89.4%
心臓血管外科	426	390	438	422	295	197	271	337	215	384	435	414	352	4,224	5,702	74.1%
呼 吸 器 外 和	233	234	129	160	255	139	177	164	214	227	166	129	186	2,227	3,109	71.6%
形 成 外 和	301	291	267	244	215	298	276	212	163	147	201	227	237	2,842	3,119	91.1%
眼	647	521	682	669	771	692	695	622	727	628	644	715	668	8,013	8,764	91.4%
耳 鼻 咽 喉 和	230	244	355	359	401	441	522	481	384	329	284	345	365	4,375	4,528	96.6%
麻酔和	4 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
放 射 線 和	4 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
メンタルクリニッ:	7 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
皮膚・アレルギー和	220	294	311	318	274	229	276	197	245	251	189	193	250	2,997	3,017	99.3%
泌 尿 器 和	613	588	551	572	575	531	553	465	540	582	580	736	574	6,886	7,232	95.2%
産 婦 人 私	1,600	1,632	1,725	1,779	1,633	1,374	1,364	1,160	1,420	1,282	1,460	1,517	1,496	17,946	20,558	87.3%
救 急 診 療 和	427	559	565	729	864	687	636	626	602	653	546	572	622	7,466	6,350	117.6%
リハビリテー ション 和	4 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
合	15,821	15,882	16,403	17,008	17,069	16,009	16,955	15,760	16,220	15,905	14,460	16,104	16,133	193,596	209,853	92.3%

## 4-5 新患者数(外来)

(単位:人)

月     4     5     6     7     8     9     10     11     12     1     2     3     月 平均     当年度前年,計計       内     科     - <th>- 89.2% 2 80.2% 3 84.3% 2 101.4%</th>	- 89.2% 2 80.2% 3 84.3% 2 101.4%
膠 原 病 內 科 27     35     49     49     25     35     43     22     32     31     27     40     35     415     4       血 液 內 科 41     46     64     51     57     53     56     36     41     57     24     37     47     563     76       消 化 器 內 科 61     76     94     98     103     108     132     41     92     81     75     79     87     1,040     1,22	5 89.2% 2 80.2% 3 84.3% 2 101.4%
血液内科41 46 64 51 57 53 56 36 41 57 24 37 47 563 76 11 化器内科61 76 94 98 103 108 132 41 92 81 75 79 87 1,040 1,2	2 80.2% 3 84.3% 2 101.4%
消化器内科 61 76 94 98 103 108 132 41 92 81 75 79 87 1,040 1,2	3 84.3% 2 101.4%
	2 101.4%
呼吸器內科 40 43 41 56 46 57 82 54 46 116 82 262 77 925 9	
腎 臓 内 科 20 22 31 30 52 33 38 32 31 34 28 40 33 391 56	69.6%
糖 尿 病 : 内 分 泌 内 科 36 26 27 24 39 37 28 19 21 26 33 47 30 363 5	9 68.6%
循 環 器 科 79 75 93 79 91 92 105 48 73 81 68 92 81 976 1,1	8 84.3%
小 児 科 70 91 110 120 127 115 110 51 88 74 76 116 96 1,148 1,94	60.1%
新生児科 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	o –
外 科 61 65 93 101 103 98 91 55 74 77 70 75 80 963 1,2	3 75.1%
脳神経外科 77 63 87 96 91 84 98 65 80 96 80 90 84 1,007 1,2	3 78.5%
整 形 外 科 120 193 228 186 233 219 205 76 180 180 165 234 185 2,219 2,9	3 74.6%
脳神経内科 44 38 55 62 56 70 66 22 33 47 40 67 50 600 8.	2 70.4%
心臓血管外科 7 9 9 14 10 18 19 11 12 14 12 7 12 142 17	9 79.3%
呼吸器外科 10 5 8 9 4 4 7 2 2 2 7 8 6 68	2 109.7%
形成外科 30 19 48 37 37 32 31 21 32 25 22 39 31 373 55	71.7%
眼 科 70 80 119 124 141 142 135 68 95 97 89 110 106 1,270 1,58	5 82.2%
耳鼻咽喉科 63 79 109 109 112 102 94 46 77 77 86 94 87 1,048 1,4	6 70.1%
麻 酔 科 7 3 2 5 5 7 4 3 4 3 2 5 4 50 3	128.2%
放射線科791021151622912148111315420	76.6%
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	95.8%
皮 ・アレルギー科 94 102 139 140 155 145 114 48 86 76 85 111 108 1,295 1,60	6 80.6%
泌 尿 器 科 41 57 54 80 61 68 73 32 39 48 54 55 55 662 8.	2 80.5%
産 婦 人 科 110 107 163 144 142 161 148 117 134 109 118 138 133 1,591 1,7	92.6%
救急診療科 38 35 38 34 57 43 53 36 32 46 34 49 41 495 7.	8 67.1%
リ ハ ビ リ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	O –
合 計 1,191 1,313 1,746 1,746 1,817 1,815 1,808 946 1,352 1,456 1,323 1,865 1,532 18,378 23,4.	4 78.4%

## 4-6 新患者数(入院)

(単位:人)

																		(	位:人)
診療	<b>~</b>	\	月 /	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月 平均	当年度計	前年 度 計	前年比
内			科	_		_	-		_				_		-	_			_
膠・!	原 <sub>担</sub> J ウ	病 マ チ	科科	14	15	16	13	15	13	13	6	15	14	14	17	14	165	153	107.8%
<u>ш</u> .	液	内	科	22	19	21	21	22	26	18	19	16	30	20	24	22	258	224	115.2%
消	化岩	器 内	科	84	57	79	91	88	83	95	92	79	90	79	93	84	1,010	975	103.6%
呼	吸 岩	器内	科	34	28	41	35	34	44	35	50	43	48	26	40	38	458	499	91.8%
腎	臓	内	科	19	16	24	25	25	19	22	16	22	16	6	15	19	225	262	85.9%
糖内	尿 分 ½	病必 内	• 科	13	13	17	13	11	16	12	11	12	6	11	13	12	148	165	89.7%
循	環	器	科	134	119	151	160	145	144	160	130	145	140	127	148	142	1,703	2,076	82.0%
小	J.	尼	科	34	37	39	45	49	41	42	18	40	35	44	43	39	467	715	65.3%
新	生	児	科	30	24	34	35	35	30	38	44	47	28	33	42	35	420	345	121.7%
外			科	165	169	176	182	188	162	185	142	166	147	145	158	165	1,985	2,158	92.0%
脳	神糸	圣 外	科	84	79	94	78	81	102	90	80	95	101	86	103	89	1,073	1,132	94.8%
整	形	外	科	78	76	84	94	106	83	88	58	99	94	81	105	87	1,046	1,257	83.2%
脳	神糸	译 内	科	29	35	43	45	35	41	34	28	26	37	29	37	35	419	441	95.0%
心	臓 血	管 外	科	15	18	25	16	14	9	19	10	10	18	10	20	15	184	255	72.2%
呼	吸岩	器 外	科	14	14	9	16	21	6	17	17	16	18	10	12	14	170	210	81.0%
形	成	外	科	16	6	18	13	13	14	14	3	9	10	12	7	11	135	191	70.7%
眼			科	92	60	96	82	104	94	89	84	89	83	79	100	88	1,052	1,168	90.1%
耳	鼻叩	因喉	科	25	22	38	41	41	35	36	36	24	31	25	27	32	381	446	85.4%
麻	酉	幹	科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	_	_	_
放	射	線	科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	_	_	_
	ン リ =	タニ ツ	ルク		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	_	_	_
皮 ・ア	゛レル	ノギー	膚科	21	24	40	31	22	31	26	18	29	20	14	23	25	299	331	90.3%
泌	尿	器	科	67	55	67	55	56	54	63	50	55	68	53	67	59	710	812	87.4%
産	婦	人	科	180	163	202	184	185	140	166	144	162	185	171	170	171	2,052	2,336	87.8%
		診 療	科	51	65	63	79	108	65	73	64	84	63	50	69	70	834	699	119.3%
		ビョン	リ 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
合			計	1,221	1,114	1,377	1,354	1,398	1,252	1,335	1,120	1,283	1,282	1,125	1,333	1,266	15,194	16,850	90.2%

## 4-7 退院患者数

															(単	位:人)
診療科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月 平均	当年度計	前年度計	前年比
内 科	_	-	-	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_		_
膠 原 病 内 科 ・リウマチ科	17	16	15	15	18	11	13	7	15	15	15	18	15	175	159	110.1%
血液内科	22	23	20	24	24	22	28	20	28	24	19	25	23	279	233	119.7%
消化器内科	81	66	77	81	86	82	101	92	87	80	82	91	84	1,006	964	104.4%
呼吸器内科	44	27	34	44	34	42	34	50	40	44	34	34	38	461	490	94.1%
腎 臓 内 科	23	18	25	23	25	21	20	17	32	17	11	16	21	248	275	90.2%
糖 尿 病 · 内 分 泌 内 科	11	11	15	14	13	13	11	11	13	5	9	13	12	139	154	90.3%
循 環 器 科	137	119	139	154	147	135	154	135	141	135	133	133	139	1,662	2,027	82.0%
小 児 科	37	38	36	41	50	40	50	19	37	37	40	43	39	468	718	65.2%
新 生 児 科	33	24	36	37	31	43	31	42	52	35	27	40	36	431	342	126.0%
外科	154	168	179	187	186	167	187	147	177	156	144	147	167	1,999	2,182	91.6%
脳神経外科	81	78	82	99	71	88	95	67	106	86	93	105	88	1,051	1,124	93.5%
整 形 外 科	99	79	93	103	108	80	108	68	117	96	89	105	95	1,145	1,329	86.2%
脳神経内科	32	33	48	40	38	40	35	29	34	32	34	40	36	435	458	95.0%
心臟血管外科	23	17	20	22	18	12	16	11	14	13	11	24	17	201	268	75.0%
呼吸器外科	15	18	10	10	24	13	17	14	21	15	13	11	15	181	227	79.7%
形 成 外 科	14	16	16	16	18	10	16	8	12	7	12	8	13	153	214	71.5%
眼科	95	64	89	74	110	88	100	83	88	82	82	91	87	1,046	1,169	89.5%
耳鼻咽喉科	28	22	33	39	45	28	38	33	33	27	19	29	31	374	446	83.9%
麻 酔 科	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
放射線科	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_
メ ン タ ル ク リ ニ ッ ク	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
皮 膚・アレルギー科	20	18	35	35	26	24	28	22	30	18	17	21	25	294	326	90.2%
泌 尿 器 科	71	60	69	49	54	62	57	56	63	57	54	61	59	713	808	88.2%
産 婦 人 科	192	160	192	197	178	165	161	140	185	158	172	186	174	2,086	2,324	89.8%
救急診療科	42	46	51	59	91	58	59	55	65	56	41	58	57	681	584	116.6%
リ ハ ビ リ テーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
合 計	1,271	1,121	1,314	1,363	1,395	1,244	1,359	1,126	1,390	1,195	1,151	1,299	1,269	15,228	16,821	90.5%

## 4-8年齡別延患者数(外来)

(単位:人)

																\	<u> 中世・ハハ</u>
年齢	月/	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度 計	前年度 計	前年比
0	歳	341	349	409	508	445	433	455	332	441	457	380	417	414	4,967	5,206	95.4%
1-6	歳	476	515	639	650	661	621	644	422	567	546	528	672	578	6,941	9,111	76.2%
0-9	歳	999	1,060	1,280	1,418	1,403	1,279	1,371	918	1,233	1,221	1,080	1,338	1,217	14,600	17,452	83.7%
10-19	歳	723	660	883	999	1,309	1,093	1,174	804	1,082	950	961	1,304	995	11,942	13,307	89.7%
20-29	歳	1,397	1,293	1,432	1,628	1,635	1,641	1,644	1,214	1,426	1,455	1,389	1,899	1,504	18,053	18,764	96.2%
30-39	歳	2,306	2,043	2,345	2,447	2,319	2,380	2,455	1,862	2,182	2,249	2,128	2,585	2,275	27,301	29,418	92.8%
40-49	歳	3,288	2,980	3,408	3,636	3,613	3,727	3,881	2,979	3,422	3,228	3,062	3,670	3,408	40,894	44,720	91.4%
50-59	歳	4,278	3,603	4,303	4,630	4,426	4,673	4,778	3,747	4,169	3,954	3,956	4,801	4,277	51,318	53,688	95.6%
60-64	歳	2,596	2,163	2,484	2,703	2,622	2,695	2,831	2,135	2,320	2,302	2,158	2,706	2,476	29,715	33,485	88.7%
65-74	歳	9,301	7,383	8,904	9,793	9,443	10,046	10,328	8,238	9,042	8,339	7,935	9,873	9,052	108,625	118,665	91.5%
75 歳	以上	11,119	9,237	11,164	12,051	11,367	11,798	12,586	9,715	10,733	10,226	9,309	11,868	10,931	131,173	145,404	90.2%
合	計	36,007	30,422	36,203	39,305	38,137	39,332	41,048	31,612	35,609	33,924	31,978	40,044	36,135	433,621	474,903	91.3%

## 4-9年齡別延患者数(入院)

(単位:人)

年齢	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度 計	前年度 計	前年比
0	歳	1,082	981	1,032	934	930	927	776	842	877	618	702	880	882	10,581	12,046	87.8%
1-6	歳	182	139	156	177	170	124	166	88	146	112	107	152	143	1,719	2,693	63.8%
0-9	歳	1,306	1,148	1,212	1,171	1,182	1,143	1,009	975	1,033	737	829	1,056	1,067	12,801	15,255	83.9%
10-19	歳	161	199	197	196	282	153	158	124	180	126	185	196	180	2,157	2,625	82.2%
20-29	歳	445	442	684	803	701	476	543	443	427	470	497	574	542	6,505	7,515	86.6%
30-39	歳	962	862	893	1,000	949	960	1,053	910	755	711	660	782	875	10,497	11,702	89.7%
40-49	歳	939	992	927	1,015	1,074	865	812	840	1,072	972	938	1,027	956	11,473	12,759	89.9%
50-59	歳	1,326	1,484	1,406	1,732	1,841	1,648	1,482	1,289	1,540	1,513	1,371	1,603	1,520	18,235	18,399	99.1%
60-64	歳	912	906	1,047	1,214	1,051	922	1,056	952	822	984	988	1,107	997	11,961	13,631	87.7%
65-74	歳	3,877	3,859	3,739	3,765	3,917	3,844	4,460	4,131	4,127	3,932	3,374	4,035	3,922	47,060	50,609	93.0%
75 歳	以上	5,893	5,990	6,298	6,112	6,072	5,998	6,382	6,096	6,264	6,460	5,618	5,724	6,076	72,907	76,223	95.6%
合	計	15,821	15,882	16,403	17,008	17,069	16,009	16,955	15,760	16,220	15,905	14,460	16,104	16,133	193,596	208,718	92.8%

## 4-10 地区別延患者数(外来)

(単位:人)

_									1								•	\ 1	-   -   -   -   -   -   -   -   -   -
市町	—— 村	<u>_</u>	月 ————————————————————————————————————	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度 計	前年度 計	前年比
下		田	र्ग	ī 764	674	879	912	894	943	964	761	881	819	747	928	847	10,166	11,652	87.2%
東	伊		豆町	661	501	693	686	696	687	753	584	651	647	595	732	657	7,886	8,643	91.2%
河		津	町	462	382	467	482	442	489	539	392	396	423	345	479	442	5,298	5,907	89.7%
南	伊		豆町	392	291	441	379	399	443	442	314	353	336	317	401	376	4,508	5,016	89.9%
松		崎	町	267	254	321	367	325	366	389	224	292	269	237	349	305	3,660	4,399	83.2%
西	伊		豆町	613	506	638	615	671	618	719	479	539	481	516	609	584	7,004	8,443	83.0%
熱		海	市	ī 794	661	871	886	828	875	936	757	860	748	685	921	819	9,822	11,007	89.2%
伊		東	市	i 3,211	2,671	3,268	3,634	3,414	3,432	3,677	2,811	3,168	3,047	2,787	3,530	3,221	38,650	41,812	92.4%
沼		津	市	ī 3,848	3,379	3,876	4,307	4,102	4,278	4,403	3,299	3,744	3,637	3,418	4,356	3,887	46,647	51,537	90.5%
三		島	市	ī 3,999	3,488	3,895	4,287	4,099	4,216	4,358	3,312	3,632	3,650	3,440	4,316	3,891	46,692	51,897	90.0%
御	殿		場 †	ī 996	862	1,004	1,047	1,023	1,079	1,129	898	1,042	959	893	1,132	1,005	12,064	13,237	91.1%
裾		野	Ħ	ī 833	666	806	938	854	833	911	672	820	747	735	917	811	9,732	10,245	95.0%
伊		豆	Ħ	i 4,085	3,401	4,083	4,373	4,230	4,486	4,592	3,645	4,156	3,879	3,661	4,478	4,089	49,069	52,766	93.0%
伊	豆	0)	国市	ī 8,342	6,975	8,312	8,980	8,958	9,237	9,694	7,651	8,521	7,944	7,555	9,175	8,445	101,344	110,348	91.8%
函		南	町	3,231	2,585	3,125	3,522	3,387	3,389	3,544	2,670	3,009	2,860	2,746	3,466	3,128	37,534	41,261	91.0%
清		水	町	740	633	700	902	871	857	901	674	728	688	653	812	763	9,159	10,054	91.1%
長		泉	町	691	646	724	788	762	767	765	546	655	687	609	755	700	8,395	8,842	94.9%
小		Щ	町	191	166	182	200	228	210	230	177	230	173	208	208	200	2,403	2,293	104.8%
富	士		宮市	ī 188	172	216	204	195	199	221	163	212	197	164	240	198	2,371	2,939	80.7%
富		士	Ħ	i 437	430	438	497	510	558	508	432	434	429	406	537	468	5,616	6,110	91.9%
県	内	そ	の 他	327	314	355	407	358	366	395	302	373	333	352	409	358	4,291	3,849	111.5%
県			夕	935	765	909	892	891	1,004	978	849	913	971	909	1,294	943	11,310	12,646	89.4%
合			計	36,007	30,422	36,203	39,305	38,137	39,332	41,048	31,612	35,609	33,924	31,978	40,044	36,135	433,621	474,903	91.3%

## 4-11 地区別延患者数(入院)

(単位:人)

市町	—— 村	_	Į.	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度 計	前年比
下		田	ī	ī 390	396	472	597	490	453	678	644	583	581	462	587	528	6,333	7,307	86.7%
東	伊		豆	304	410	374	320	404	355	368	366	340	225	280	313	338	4,059	4,694	86.5%
河		津	田	7 228	311	263	188	110	156	186	278	189	167	160	165	200	2,401	3,000	80.0%
南	伊		豆	202	306	283	194	175	184	277	278	274	183	129	221	226	2,706	2,534	106.8%
松		崎	田	7 261	259	171	161	157	137	243	184	182	145	193	155	187	2,248	2,276	98.8%
西	伊		豆	T 196	189	133	275	388	430	434	405	277	354	360	342	315	3,783	4,041	93.6%
熱		海	Ħ	ī 356	363	393	258	209	269	260	284	323	390	440	350	325	3,895	4,581	85.0%
伊		東	ī	ī 1,659	1,566	1,822	1,846	1,616	1,500	1,619	1,471	1,626	1,368	1,265	1,526	1,574	18,884	21,133	89.4%
沼		津	Ħ	ī 1,938	1,862	1,945	2,150	1,965	1,695	1,856	1,926	2,092	2,114	1,773	2,173	1,957	23,489	23,930	98.2%
三		島	Ħ	ī 1,445	1,473	1,478	1,777	1,700	1,753	1,734	1,627	1,792	1,673	1,228	1,560	1,603	19,240	21,011	91.6%
御	殿		場「	ī 553	897	633	650	610	603	846	750	684	813	782	817	720	8,638	9,111	94.8%
裾		野	Ħ	ī 431	455	340	594	508	386	482	472	281	371	333	429	424	5,082	5,082	100.0%
伊		豆	Ħ	ī 1,586	1,393	1,832	1,584	1,740	1,774	1,746	1,586	1,558	1,355	1,244	1,524	1,577	18,922	19,737	95.9%
伊	豆	の	国市	ī 2,803	2,871	2,579	2,816	2,944	2,738	2,659	2,614	2,936	3,112	2,655	2,875	2,800	33,602	36,602	91.8%
函		南	田	1,448	1,274	1,318	1,248	1,564	1,351	1,439	1,236	1,273	1,245	1,431	1,246	1,339	16,073	16,954	94.8%
清		水	田	520	288	344	436	543	431	438	271	293	454	330	224	381	4,572	4,019	113.8%
長		泉	田	7 245	287	524	489	454	388	275	224	384	246	209	381	342	4,106	4,520	90.8%
小		山	田	T 136	108	90	110	154	107	113	70	128	147	51	130	112	1,344	1,880	71.5%
富	士		宮市	ī 181	175	236	122	168	212	77	86	165	127	194	183	161	1,926	2,240	86.0%
富		士	Ħ	ī 243	178	253	319	192	232	198	154	214	309	368	292	246	2,952	3,888	75.9%
県	内	そ	の 他	221	194	215	232	241	244	285	254	130	187	151	155	209	2,509	2,276	110.2%
県			夕	475	627	705	642	737	611	742	580	496	339	422	456	569	6,832	7,902	86.5%
合			言	15,821	15,882	16,403	17,008	17,069	16,009	16,955	15,760	16,220	15,905	14,460	16,104	16,133	193,596	208,718	92.8%